

資料2

**高齢者要望等実態調査
概要報告書**

佐賀中部広域連合

【第7期】第1回策定委員会資料

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査票配布数	1
(4) 調査の内容	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査基準日	1
3 回収結果	1
(1) 調査票配布数	1
(2) 調査票回収数	1
(3) 有効回収率	1
4 調査対象	2
5 調査の方法等	2
6 地域包括支援センターの圏域ごとの回収状況	3
II 回答者の基本属性	5
1 性別・年齢構成	5
2 介護の状態	5
3 住宅の状況	5
4 世帯の構成	5
III 調査結果の概要	6
1 機能	6
2 日常生活	7
3 健康・疾病	8
(1) 現在治療中、又は後遺症のある病気	8
(2) 認知機能の障害程度	8
IV 評価項目別の結果	9
1 機能	9
(1) 運動器	9
(2) 閉じこもり	11
(3) 転倒	13
(4) 栄養	15
(5) 口腔	17
(6) 認知症予防	19
(7) 認知機能	219
(8) うつ予防	23
(9) 虚弱①	25
(10) 虚弱②	27

2	日常生活	29
(1)	日常生活動作 (ADL)	29
(2)	手段的自立度 (IADL)	31
(3)	生活機能総合評価	33
(4)	知的能動性	35
(5)	社会的役割	37
V	健康・疾病	39
1	疾病	39
(1)	高血圧	39
(2)	脳卒中	41
(3)	心臓病	43
(4)	糖尿病	45
(5)	筋骨格系疾患	47
(6)	がん (新生物)	49
2	自分の健康感	51
VI	介護	53
1	介護・介助状態になった主な原因	53
(1)	脳卒中	53
(2)	認知症	55
(3)	骨折等	57
2	介護の状況	59
(1)	介護の必要性	59
(2)	介護者 (主にどなたの介護・介助を受けているか)	61
(3)	利用している在宅サービス	63
(4)	介護・介助をする上で困っていること【要支援者・要介護者のみ】	65
(5)	もっと介護サービスを利用したいができない状況【要支援者・要介護者のみ】	67
VII	普段の生活	69
1	自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい	69
2	将来の生活を安心して営むときに必要な支援	71
3	現在お住まいの住居で使いにくいところ	73
4	日用品の買い物をしたいとき欲しい援助	75
5	通院したいとき欲しい援助	77
VIII	介護予防【一般高齢者・二次予防対象者のみ】	79
1	生きがいがある生活を送るために必要な気持ち	79
2	生きがいがある生活を送るために参加したいもの	81
3	参加するために必要なところ	83
IX	災害時の対応【要支援者・要介護者のみ】	85
1	火災等が起きた場合の避難の仕方	85
2	台風が近づいてきた場合の対応	87
3	台風などの災害で避難が必要な場合の場所	89
4	台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方	91
X	資料編	93
	○用語説明	93
	○資料説明	94

I 調査の概要

1 調査目的

介護保険事業運営の基本計画となる「介護保険事業計画」は、介護保険法により3年ごとに見直すこととされており、また、市町村高齢者福祉施策の基本計画である「老人福祉計画」についても、介護保険事業計画との整合性を図る必要があることから、同時期に見直すこととなっている。この調査は、地域包括支援センターの圏域（日常生活圏域と同一）における高齢者の地域生活の課題を探り、それらの課題を踏まえた次期計画を策定することが求められている。

課題の抽出調査及びデータの分析手法等については、国のモデル事業による調査結果を基本にして、第7期介護保険事業計画（平成30年度～32年度）の適切な作成に向けた指針に係る基礎情報を得ることを目的として、佐賀中部広域連合下において統一内容で実施した。

2 調査概要

(1) 調査地域

佐賀中部広域連合を構成する、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町

※なお、この調査は佐賀県介護保険制度推進協議会を構成する、佐賀中部広域連合、鳥栖地区広域市町村圏組合、杵藤地区広域市町村圏組合、唐津市、伊万里市、玄海町、有田町の7保険者の20市町で、同じ調査票（高齢者要望等実態調査）を使って行った。

(2) 調査対象者 65歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を含む。）

(3) 調査票配布数 16,822人（佐賀中部広域連合を構成する4市1町）

(4) 調査の内容

- | | | |
|----------|-----------|-----|
| ①家族・生活状況 | ②運動・閉じこもり | |
| ③転倒 | ④口腔・栄養 | |
| ⑤認知機能 | ⑥日常生活 | |
| ⑦社会参加 | ⑧健康 | ⑨介護 |

(5) 調査方法

一般高齢者は郵送による配布・回収、在宅要支援者は地域包括支援センター（おたっしや本舗）職員、在宅要介護者は介護支援専門員、施設入所者は施設の職員が訪問調査を実施。

(6) 調査基準日 平成28年10月1日

3 回収結果

(1) 調査票配布数 16,822人（佐賀中部広域連合を構成する4市1町）

(2) 調査票回収数 11,398人

(3) 有効回収率 67.8%

4 調査対象

(住民登録・介護認定抽出の基準日：平成28年10月1日)

対象者区分		抽出条件
A	サービス利用者 要支援1・2	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 認定満了日H28.10.1以降(区分変更申請中を除く。) 平成28年4～6月に施設・居住サービス無し 平成28年6月に介護・介護予防サービスの実績有り
B	サービス利用者 要介護1～5	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 認定満了日H28.10.1以降(区分変更申請中を除く。) 平成28年4～6月に施設・居住サービス無し 平成28年6月に介護・介護予防サービスの実績有り
C	施設入所者 (介護3施設、認知症GH、特定施設)要介護5まで	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 認定満了日H28.10.1以降(区分変更申請中を除く。) 平成28年4～6月に施設・居住サービスあり 平成28年4～6月に介護・介護予防サービスの実績無し
D1	サービス未利用者 要支援1・2	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 認定開始日H28.7.31以前 認定満了日H28.10.1以降(区分変更申請中を除く。) 給付実績・償還払いが過去に全くない
D2	サービス未利用者 要介護1～5	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 認定開始日H28.7.31以前 認定満了日H28.10.1以降(区分変更申請中を除く。) 給付実績・償還払いが過去に全くない
E	一般高齢者	第1号被保険者資格有り(住所地特例者を除く。) 特定高齢者の有無はみていない 過去に一度も認定無し

5 調査の方法等

(ケアマネ登録事業者抽出の基準日：平成28年10月1日)

対象者区分	配布数	調査方法
A	1,672件	佐賀中部広域連合にケアマネ登録している事業者による訪問調査 (地域包括支援センターが委託している場合は、委託先事業者) (地域密着型小規模多機能事業者が9月1日で登録がある場合は、当該小規模多機能事業者)
B	2,605件	広域連合にケアマネ登録している事業者による訪問調査 (地域密着型小規模多機能事業者が9月1日で登録がある場合は、当該小規模多機能事業者)
C	1,597件	平成28年6月の給付実績がある居住系サービス事業者による訪問調査
D1	1,494件	郵便による送付・回収
D2	825件	
E	8,629件	

6 地域包括支援センターの圏域ごとの回収状況

	調査種別	配布数	介護サービス 未利用者 (左記の内訳)	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
佐賀中部広域連合全体	一般高齢者	8,629		5,041	58.4%	5,041	58.4%
	在宅要支援高齢者	3,166	1,494	2,308	72.9%	2,308	72.9%
	在宅要介護高齢者	3,430	825	2,617	76.3%	2,617	76.3%
	施設入所高齢者	1,597		1,432	89.7%	1,432	89.7%
	合計	16,822		11,398	67.8%	11,398	67.8%
おたっしや本舗 佐賀 (佐賀市地域包括支援センター)	一般高齢者	413		229	55.4%	229	55.4%
	在宅要支援高齢者	173	93	124	71.7%	124	71.7%
	在宅要介護高齢者	166	41	121	72.9%	121	72.9%
	施設入所高齢者	77		67	87.0%	67	87.0%
	合計	829		541	65.3%	541	65.3%
おたっしや本舗 城南 (佐賀市城南地域包括支援センター)	一般高齢者	522		338	64.8%	338	64.8%
	在宅要支援高齢者	227	126	168	74.0%	168	74.0%
	在宅要介護高齢者	206	49	157	76.2%	157	76.2%
	施設入所高齢者	96		85	88.5%	85	88.5%
	合計	1,051		748	71.2%	748	71.2%
おたっしや本舗 昭栄 (佐賀市昭栄地域包括支援センター)	一般高齢者	574		350	61.0%	350	61.0%
	在宅要支援高齢者	223	112	157	70.4%	157	70.4%
	在宅要介護高齢者	234	62	169	72.2%	169	72.2%
	施設入所高齢者	107		71	66.4%	71	66.4%
	合計	1,138		747	65.6%	747	65.6%
おたっしや本舗 城東 (佐賀市城東地域包括支援センター)	一般高齢者	579		351	60.6%	351	60.6%
	在宅要支援高齢者	212	100	152	71.7%	152	71.7%
	在宅要介護高齢者	233	59	170	73.0%	170	73.0%
	施設入所高齢者	106		97	91.5%	97	91.5%
	合計	1,130		770	68.1%	770	68.1%
おたっしや本舗 城西 (佐賀市城西地域包括支援センター)	一般高齢者	426		253	59.4%	253	59.4%
	在宅要支援高齢者	167	84	117	70.1%	117	70.1%
	在宅要介護高齢者	177	49	138	78.0%	138	78.0%
	施設入所高齢者	79		57	72.2%	57	72.2%
	合計	849		565	66.5%	565	66.5%
おたっしや本舗 佐賀 城北 (佐賀市城北地域包括支援センター)	一般高齢者	558		342	61.3%	342	61.3%
	在宅要支援高齢者	201	94	150	74.6%	150	74.6%
	在宅要介護高齢者	222	55	163	73.4%	163	73.4%
	施設入所高齢者	104		94	90.4%	94	90.4%
	合計	1,085		749	69.0%	749	69.0%
おたっしや本舗 金泉 (佐賀市金泉地域包括支援センター)	一般高齢者	259		139	53.7%	139	53.7%
	在宅要支援高齢者	88	38	57	64.8%	57	64.8%
	在宅要介護高齢者	108	30	77	71.3%	77	71.3%
	施設入所高齢者	48		44	91.7%	44	91.7%
	合計	503		317	63.0%	317	63.0%
おたっしや本舗 鍋島 (佐賀市鍋島地域包括支援センター)	一般高齢者	432		276	63.9%	276	63.9%
	在宅要支援高齢者	151	67	114	75.5%	114	75.5%
	在宅要介護高齢者	173	42	132	76.3%	132	76.3%
	施設入所高齢者	80		72	90.0%	72	90.0%
	合計	836		594	71.1%	594	71.1%
おたっしや本舗 諸富・蓮池 (佐賀市諸富・蓮池地域包括支援センター)	一般高齢者	367		203	55.3%	203	55.3%
	在宅要支援高齢者	133	62	96	72.2%	96	72.2%
	在宅要介護高齢者	144	33	109	75.7%	109	75.7%
	施設入所高齢者	68		62	91.2%	62	91.2%
	合計	712		470	66.0%	470	66.0%
おたっしや本舗 大和 (佐賀市大和地域包括支援センター)	一般高齢者	547		318	58.1%	318	58.1%
	在宅要支援高齢者	192	86	148	77.1%	148	77.1%
	在宅要介護高齢者	210	44	166	79.0%	166	79.0%
	施設入所高齢者	102		92	90.2%	92	90.2%
	合計	1,051		724	68.9%	724	68.9%
おたっしや本舗 富士 (佐賀市富士地域包括支援センター)	一般高齢者	141		72	51.1%	72	51.1%
	在宅要支援高齢者	46	19	32	69.6%	32	69.6%
	在宅要介護高齢者	61	18	38	62.3%	38	62.3%
	施設入所高齢者	26		24	92.3%	24	92.3%
	合計	274		166	60.6%	166	60.6%

	調査種別	配布数	介護サービス 未利用者 (左記の内訳)	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
おたっしや本舗 三瀬 (佐賀市三瀬地域包括支援センター)	一般高齢者	44		18	40.9%	18	40.9%
	在宅要支援高齢者	17	8	9	52.9%	9	52.9%
	在宅要介護高齢者	16	2	11	68.8%	11	68.8%
	施設入所高齢者	8		7	87.5%	7	87.5%
	合計	85		45	52.9%	45	52.9%
おたっしや本舗 川副 (佐賀市川副地域包括支援センター)	一般高齢者	484		272	56.2%	272	56.2%
	在宅要支援高齢者	190	96	126	66.3%	126	66.3%
	在宅要介護高齢者	187	40	138	73.8%	138	73.8%
	施設入所高齢者	90		82	91.1%	82	91.1%
	合計	951		618	65.0%	618	65.0%
おたっしや本舗 東与賀 (佐賀市東与賀地域包括支援センター)	一般高齢者	191		112	58.6%	112	58.6%
	在宅要支援高齢者	80	43	66	82.5%	66	82.5%
	在宅要介護高齢者	73	15	57	78.1%	57	78.1%
	施設入所高齢者	35		31	88.6%	31	88.6%
	合計	379		266	70.2%	266	70.2%
おたっしや本舗 久保田 (佐賀市久保田地域包括支援センター)	一般高齢者	188		116	61.7%	116	61.7%
	在宅要支援高齢者	77	41	52	67.5%	52	67.5%
	在宅要介護高齢者	79	22	57	72.2%	57	72.2%
	施設入所高齢者	35		31	88.6%	31	88.6%
	合計	379		256	67.5%	256	67.5%
おたっしや本舗 多久 (多久市地域包括支援センター)	一般高齢者	597		310	51.9%	310	51.9%
	在宅要支援高齢者	210	94	158	75.2%	158	75.2%
	在宅要介護高齢者	242	64	177	73.1%	177	73.1%
	施設入所高齢者	111		92	82.9%	92	82.9%
	合計	1,160		737	63.5%	737	63.5%
おたっしや本舗佐賀 小城北 (小城市北部地域包括支援センター)	一般高齢者	684		407	59.5%	407	59.5%
	在宅要支援高齢者	241	108	181	75.1%	181	75.1%
	在宅要介護高齢者	267	59	218	81.6%	218	81.6%
	施設入所高齢者	125		121	96.8%	121	96.8%
	合計	1,317		927	70.4%	927	70.4%
おたっしや本舗 小城南 (小城市南部地域包括支援センター)	一般高齢者	423		246	58.2%	246	58.2%
	在宅要支援高齢者	152	70	109	71.7%	109	71.7%
	在宅要介護高齢者	167	39	131	78.4%	131	78.4%
	施設入所高齢者	76		73	96.1%	73	96.1%
	合計	818		559	68.3%	559	68.3%
おたっしや本舗 神埼 (神崎市地域包括支援センター)	一般高齢者	483		279	57.8%	279	57.8%
	在宅要支援高齢者	154	60	118	76.6%	118	76.6%
	在宅要介護高齢者	186	40	138	74.2%	138	74.2%
	施設入所高齢者	90		74	82.2%	74	82.2%
	合計	913		609	66.7%	609	66.7%
おたっしや本舗 神埼北 (神崎市北部地域包括支援センター)	一般高齢者	57		32	56.1%	32	56.1%
	在宅要支援高齢者	22	11	13	59.1%	13	59.1%
	在宅要介護高齢者	26	8	19	73.1%	19	73.1%
	施設入所高齢者	11		9	81.8%	9	81.8%
	合計	116		73	62.9%	73	62.9%
おたっしや本舗 神埼南 (神崎市南部地域包括支援センター)	一般高齢者	317		185	58.4%	185	58.4%
	在宅要支援高齢者	97	36	65	67.0%	65	67.0%
	在宅要介護高齢者	123	27	98	79.7%	98	79.7%
	施設入所高齢者	59		53	89.8%	53	89.8%
	合計	596		401	67.3%	401	67.3%
おたっしや本舗 吉野ヶ里 (吉野ヶ里町地域包括支援センター)	一般高齢者	343		189	55.1%	189	55.1%
	在宅要支援高齢者	113	46	76	67.3%	76	67.3%
	在宅要介護高齢者	130	27	94	72.3%	94	72.3%
	施設入所高齢者	64		56	87.5%	56	87.5%
	合計	650		415	63.8%	415	63.8%
地域包括支援センター不明	一般高齢者	0		4		4	
	在宅要支援高齢者	0		20		20	
	在宅要介護高齢者	0		39		39	
	施設入所高齢者	0		38		38	
	合計	0		101		101	

Ⅱ 回答者の基本属性

1 性別・年齢構成

(上段:人、下段:%)

性別	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	総数
男性	930	668	714	684	908	0	3,904
	23.8	17.1	18.3	17.5	23.3	0.0	100.0
女性	1,032	886	1,026	1,455	2,994	0	7,393
	14.0	12.0	13.9	19.7	40.5	0.0	100.0
総計	1,962	1,554	1,740	2,139	3,902	101	11,398
	17.2	13.6	15.3	18.8	34.2	0.9	100.0

※回答状況による性別不明者を無回答に分類しています。

2 介護の状態

(上段:人、下段:%)

性別	非認定者	認定者								無回答	総数
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
男性	2,269	1,635	312	272	420	212	217	122	80	0	3,904
	58.1	41.9	8.0	7.0	10.8	5.4	5.6	3.1	2.0	0.0	100.0
女性	2,768	4,625	888	839	1,036	575	543	428	316	0	7,393
	37.4	62.6	12.0	11.3	14.0	7.8	7.3	5.8	4.3	0.0	100.0
総計	5,037	6,260	1,200	1,111	1,456	787	760	550	396	101	11,398
	44.2	54.9	10.5	9.7	12.8	6.9	6.7	4.8	3.5	0.9	100.0

※回答状況により性別不明者を無回答に分類しています。

3 住宅の状況

(上段:人、下段:%)

性別	持家	借家	その他	無回答	総数
男性	2,911	299	418	276	3,904
	74.6	7.7	10.7	7.1	100.0
女性	4,880	565	1,529	419	7,393
	66.0	7.6	20.7	5.7	100.0
総計	7,843	870	1,982	703	11,398
	68.8	7.6	17.4	6.2	100.0

※総計には、男性と女性の合計数に性別不明者の回答数を加えています。

4 世帯の構成

(上段:人、下段:%)

性別	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	同居(三人以上)	その他	無回答	総数
男性	376	1,378	145	1,464	461	80	3,904
	9.6	35.3	3.7	37.5	11.8	2.0	100.0
女性	1,322	1,182	697	2,430	1,609	153	7,393
	17.9	16.0	9.4	32.9	21.8	2.1	100.0
総数	1,718	2,567	849	3,917	2,107	240	11,398
	15.1	22.5	7.4	34.4	18.5	2.1	100.0

※総計には、男性と女性の合計数に性別不明者の回答数を加えています。

Ⅲ 調査結果の概要

※今回の分析は、厚生労働省が示した、国モデル事業（平成22年実施）の分析手法に準拠しています。
 また、制度上では、二次予防事業という概念はなくなっていますが、佐賀中部広域連合では平成28年度までは、同事業を実施していたこと。また、第6期から創設された介護予防・日常生活支援総合事業でも、基本チェックリストを使用するため、国の基準による対象者を「二次予防対象者」として、この概要では示しています。

1 機能

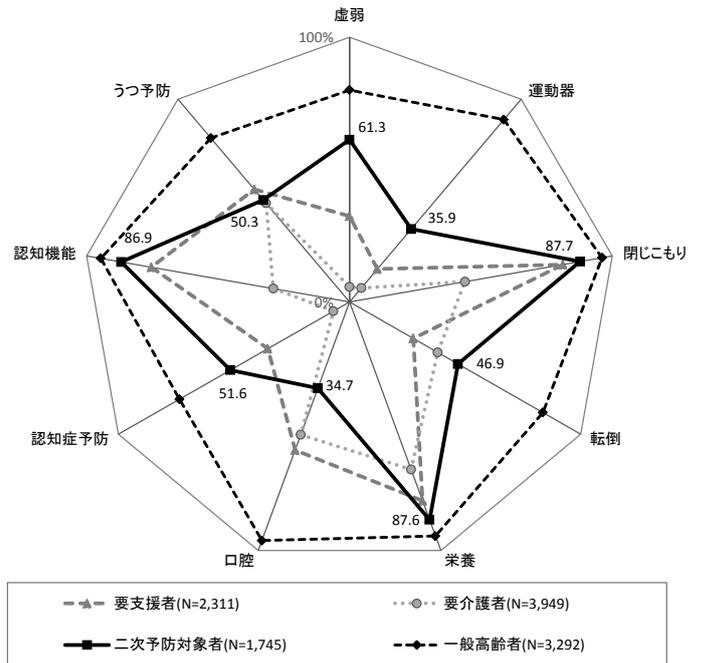
・項目別評価結果

生活機能について、運動器は、一般高齢者と二次予防対象者、要支援者、要介護者とで大きくリスクの差がみられる。

栄養や閉じこもり、認知機能については、一般高齢者から要支援者まで、あまりリスクの差はみられない。

また、認知症予防、虚弱、うつ予防については、一般高齢者の中にもリスクがある者が相当数いることがわかる。

図表 生活機能（非該当・リスクなしの割合）



図表 生活機能（非該当・リスクなしの割合）

	虚弱	運動器	閉じこもり	転倒	栄養	口腔	認知症予防	認知機能	うつ予防
要支援者(N=2,311)	32.4	16.2	81.2	27.6	80.0	59.6	35.4	75.4	55.5
要介護者(N=3,949)	5.7	6.9	43.9	38.1	67.4	53.4	7.0	29.0	48.6
二次予防対象者(N=1,745)	61.3	35.9	87.7	46.9	87.6	34.7	51.6	86.9	50.3
一般高齢者(N=3,292)	80.0	89.9	96.1	83.6	94.1	96.0	73.6	94.7	80.8

2 日常生活

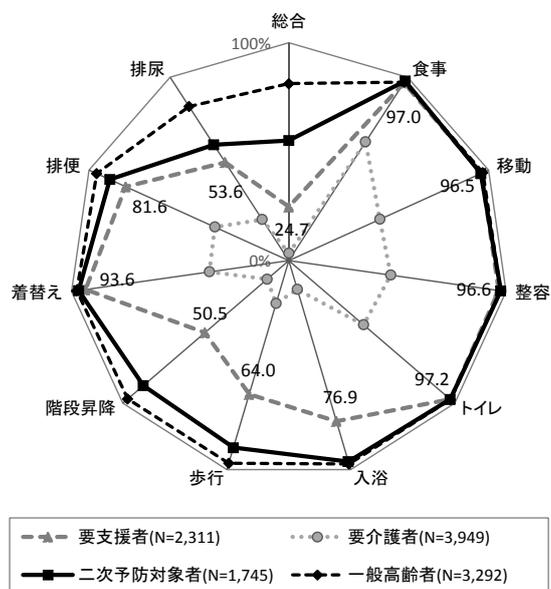
・日常生活動作

日常生活動作をみると、食事、移動、整容、トイレ、着替えについては、いずれも要介護者以外のほとんどの人が自立できているが、要介護者では低くなっている。

また、階段昇降や入浴、歩行などについては、要支援者においても、一般高齢者等に比べ、機能低下者の割合が比較的高くなっている。

なお、評価は日常生活動作（ADL）（資料編用語説明※2、資料説明（注3）参照以下同じ）を用いている。

図表 ADL（自立者の割合）



図表 ADL（自立者の割合）

（単位：％）

	総合	食事	移動	整容	トイレ	入浴	歩行	階段昇降	着替え	排便	排尿
要支援者(N=2,311)	24.7	97.0	96.5	96.6	97.2	76.9	64.0	50.5	93.6	81.6	53.6
要介護者(N=3,949)	3.3	64.7	45.6	46.9	45.0	13.8	20.5	13.1	36.5	37.0	22.4
二次予防対象者(N=1,745)	55.1	98.0	96.2	97.5	97.2	96.2	89.5	87.6	96.7	89.6	63.2
一般高齢者(N=3,292)	81.2	97.4	97.1	97.4	97.4	97.3	97.0	97.0	97.6	96.1	84.0

※総合は、全てに該当する人の割合

3 健康・疾病

(1) 現在治療中、又は後遺症のある病気

現在治療中、又は後遺症のある病気の状況を見ると、要介護状態の原因となる脳卒中、心臓病、筋骨格の病気、外傷、認知症では、非認定者に比べ、認定者で割合が高くなっている。

特に、認知症は要介護者で割合が最も高くなっており、筋骨格の病気は要支援者で割合が最も高い。

図表 現在治療中、又は後遺症のある病気の状況

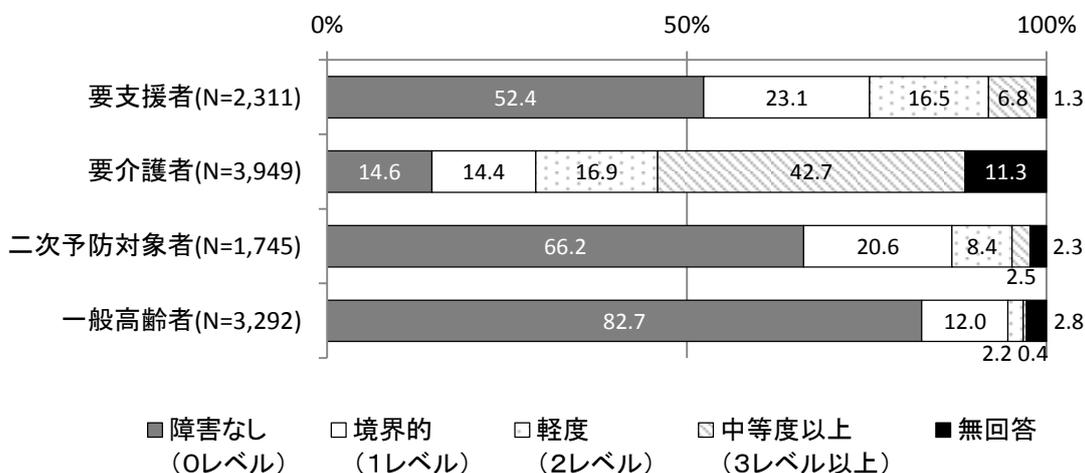
(単位: %)

	非認定者		認定者	
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)
高血圧	39.5	42.0	46.4	37.1
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2.5	4.3	11.1	21.6
心臓病	7.3	12.0	19.3	19.6
糖尿病	12.8	16.8	13.4	12.6
高脂血症(脂質異常)	14.1	10.8	8.3	6.6
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	4.2	7.4	6.7	7.9
胃腸・肝臓・胆のうの病気	8.4	13.2	13.8	9.8
腎臓・前立腺の病気	6.7	10.9	7.1	7.5
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	9.1	19.9	32.9	17.9
外傷(転倒・骨折等)	1.8	6.1	12.1	10.6
がん(悪性新生物)	3.5	6.2	5.5	3.4
血液・免疫の病気	0.8	1.7	1.9	1.5
うつ病	0.9	2.3	2.9	3.9
認知症(アルツハイマー病等)	0.3	1.1	10.5	42.0
パーキンソン病	0.2	0.7	2.0	3.6
目の病気	21.0	30.7	25.1	12.6
耳の病気	4.0	8.1	7.1	2.8
その他	9.1	11.3	14.1	12.6

(2) 認知機能の障害程度

理解力、判断力、計算力といった認知機能に、どの程度の障害がみられるかを判断するための指標であるCPS(資料編 用語説明※4、資料説明(注4)参照以下同じ)で、認知機能の障害程度区分の分布をみてみると、認知機能の障害あり(1レベル以上)と評価される者の割合が最も高いのは要介護者で(74.0%)、次いで要支援者(46.4%)、二次予防対象者(31.5%)、一般高齢者(14.6%)となっている。CPSで認知症の行動・心理症状がみられるのは3レベル以上といわれており、その割合は、要支援者6.8%、要介護者42.7%、二次予防対象者2.5%、一般高齢者0.4%となっている。

図表 認知機能の障害程度別割合(CPS)



IV 評価項目別の結果

1 機能

(1) 運動器

筋肉が衰えていることから、活動が不活発になり、転倒などから寝たきりを招くおそれがあるため、基本チェックリスト（資料編 用語説明※1、資料説明（注1）参照以下同じ）の項目等の下記の設問内容を設定し、運動器の機能低下に対するリスクについて評価を行った。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性42.4%、女性64.0%で女性の該当者割合が21.6ポイント高い。状態別では、要介護者が88.8%で割合が最も高く、次いで要支援者80.7%、二次予防対象者58.2%となっている。

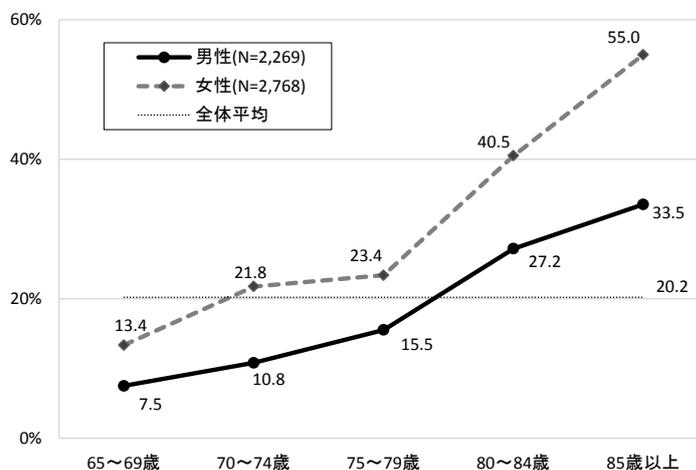
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北63.0%、三瀬62.2%で該当者割合が6割を超えて高く、他圏域はすべて5割台となっている。

【佐賀中部の回答状況】

評価の基礎になった設問に対する回答結果を比較してみると、認定者の該当率が80%を超える設問が2問（問2-Q1・Q2）、非認定者の非該当率が80%を超える設問が1問（問2-Q2）となっている。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)



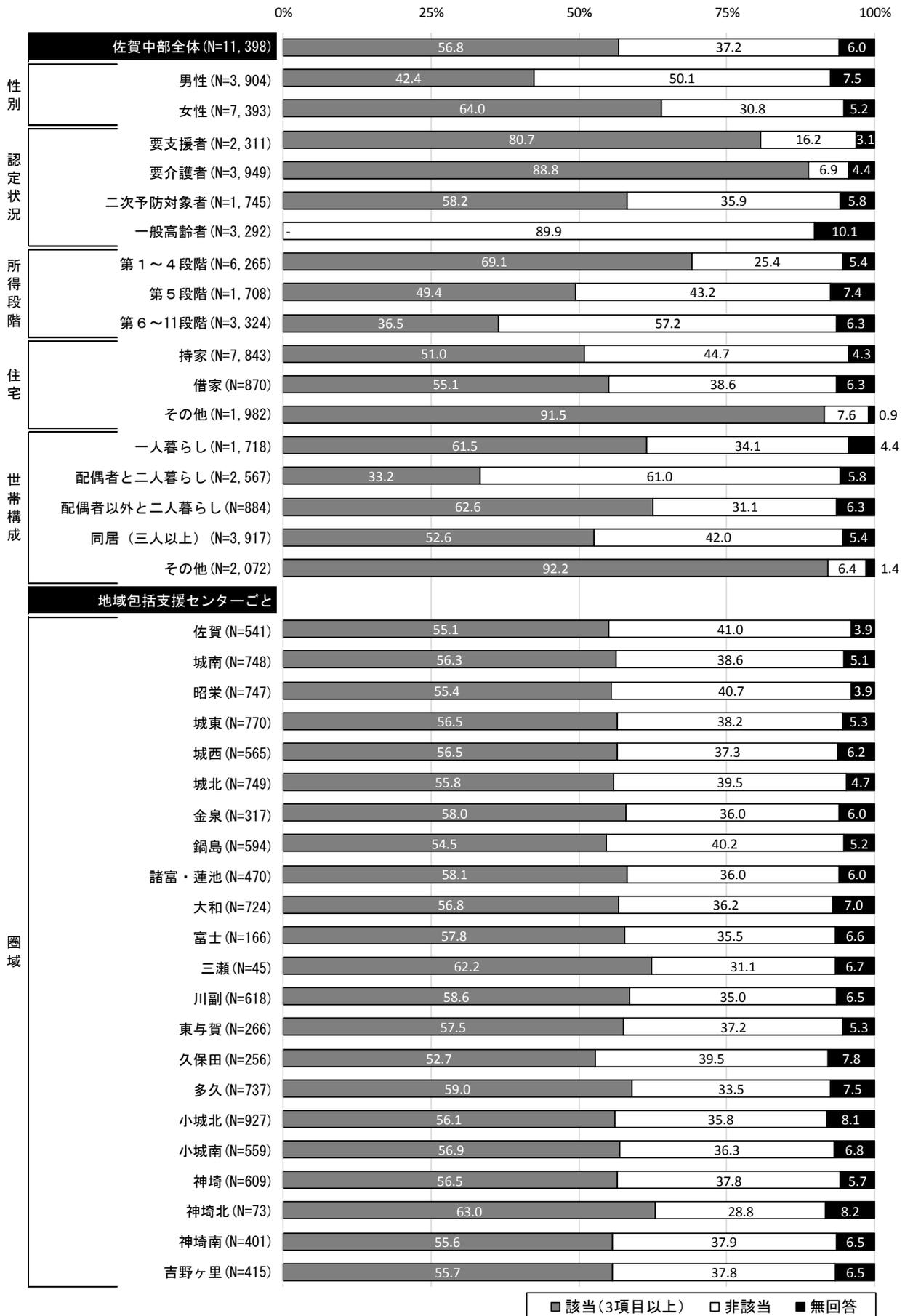
※5問中3つ以上回答が該当者（リスク有り）

(単位:%)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問2-Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか【いいえ】	35.6		88.8		64.4
	20.1	62.1	85.9	90.5	
問2-Q2 いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか【いいえ】	19.7		84.0		80.3
	5.0	43.9	78.7	87.2	
問2-Q3 15分位続けて歩いていますか【いいえ】	20.8		76.1		79.2
	10.2	37.5	62.3	84.1	
問3-Q1 この1年間に転んだことがありますか【はい】	20.8		39.0		79.2
	10.2	40.2	42.4	37.0	
問3-Q2 転倒に対する不安は大きいですか【はい】	42.1		76.3		57.9
	25.6	71.7	85.0	71.2	

※無回答は除いて算出している

図表 運動器の評価についてリスクありの該当者・非該当者



圏域：地域包括支援センターの圏域のことを示しています。以下同様となります。

(2) 閉じこもり

買物や散歩、通院等の外出の機会が減ることから、閉じこもりになるおそれがあるために、基本チェックリストの項目により閉じこもりのリスクについて評価を行い、また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性9.1%、女性12.6%で女性の該当者割合が3.5ポイント高い。状態別では、要介護者が20.8%で割合が最も高く、次いで要支援者13.3%、二次予防対象者7.7%、一般高齢者0.7%と認定の状態により差がみられる。

【佐賀中部内の圏域の現状】

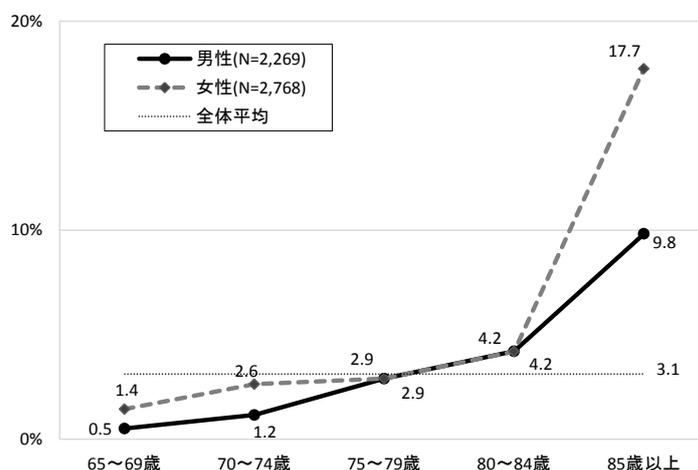
圏域別では、三瀬17.8%、富士17.5%で他圏域より該当者割合がやや高い。

【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体における該当者割合は3.1%となっており、女性の該当者割合が男性より高く、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなっている。評価の基礎になった設問に対する回答結果を非認定者と認定者と比較してみると、認定者の該当率は39.1%、非認定者は5.4%となっている。

外出目的別では、買物と散歩で認定者と非認定者の差が大きくなっている一方、病院・医院への通院では差が小さい。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)



※ 1問中1つ回答が該当者（リスク有り）

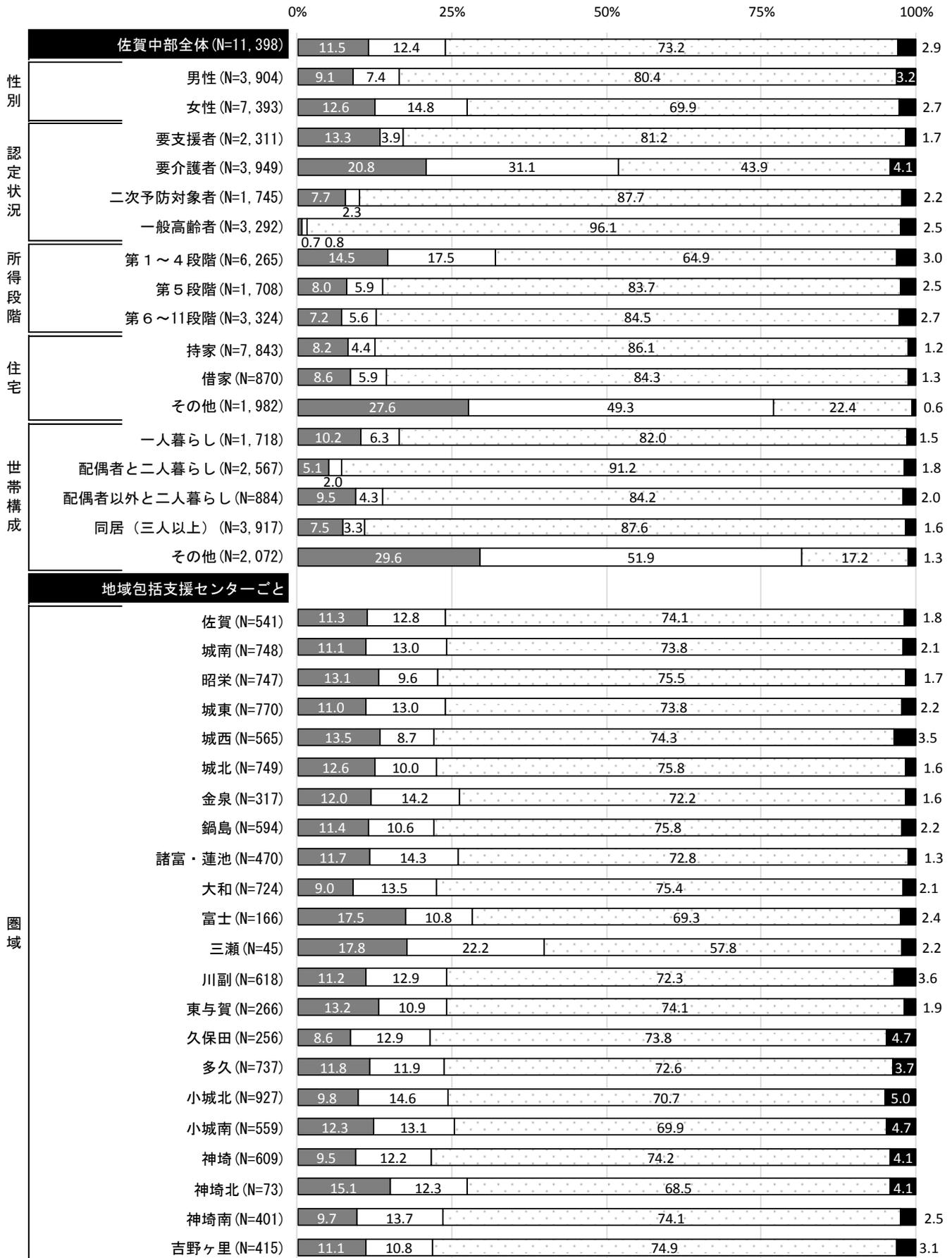
(単位: %)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問2-Q5 週に1回以上は外出していますか【いいえ】	5.4		39.1		94.6
	1.5	10.1	17.1	51.9	

<関連設問>

問2-Q4 5m以上歩けますか【いいえ】	2.8		32.0		97.2
	0.4	4.8	8.0	46.1	
問2-Q6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか【はい】	24.4		42.8		75.6
	13.7	43.9	54.0	36.3	
問2-Q8 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか A. 買物【週1日未満】	7.7		63.7		92.3
	3.9	10.9	47.0	73.5	
問2-Q8 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか B. 散歩【週1日未満】	17.0		62.9		83.0
	13.2	21.4	49.2	70.9	
問8-Q6-1 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。その頻度は次のどれですか。【週1回以上】	9.4		13.3		90.6
	6.6	14.0	16.6	10.4	

図表 閉じこもりの評価についてリスクありの該当者・非該当者



■ 該当(要注意) □ 該当(問2Q5に該当) □ 非該当 ■ 無回答

(3) 転倒

基本チェックリストの項目を利用し「運動器」の項目に加え、転倒リスクについても別に評価を行った。内容としては、転倒経験（基本チェックリストと重複）、背中の変形、歩行速度、つえの使用、薬の多剤服用の有無となっている。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性34.7%、女性42.5%で女性の該当者割合が7.8ポイント高い。状態別では、要支援者が67.1%で割合が最も高く、次いで要介護者46.3%、二次予防対象者45.9%、一般高齢者9.7%となっており、要支援者の該当者割合が高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、多久47.6%、富士45.8%で該当者割合がやや高い。

【佐賀中部の回答状況】

評価の基礎になった設問に対する回答結果をみると、認定者の該当率が60%を超える設問が1問（問3-Q4）、非認定者の非該当率が60%を超える設問が4問（問3-Q1・Q3・Q5、問8-Q5）ある。

(単位: %)

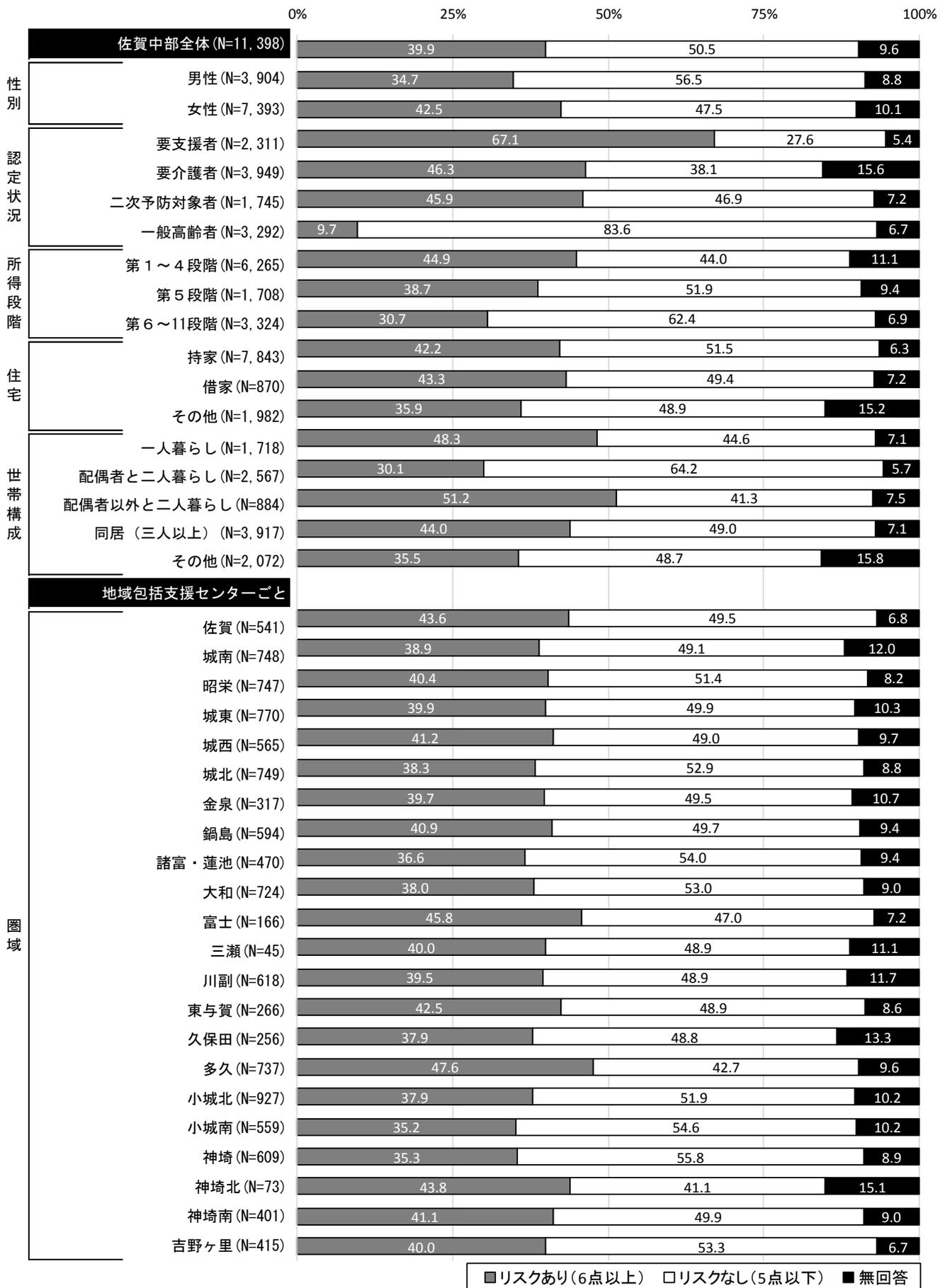
設問内容 (該当する回答)	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問3-Q1 この1年間に転んだことがありますか【はい】	20.8		39.0		79.2
	10.2	40.2	42.4	37.0	
問3-Q3 背中が丸くなってきましたか【はい】	32.2		56.7		67.9
	21.9	50.3	60.2	54.7	
問3-Q4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきていますか【はい】	56.7		66.1		43.3
	42.7	82.4	81.9	56.8	
問3-Q5 つえを使っていますか【はい】	7.5		38.0		92.5
	2.0	16.8	59.1	25.7	
問8-Q5 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか【5種類以上】	17.9		49.7		82.1
	12.0	27.4	49.5	49.9	

※次のページにおけるリスクは、上記設問に対する配点を、下の図表とし、転倒経験が5点、その他が各2点で、13点満点のスコアとして、6点以上を「リスクあり」としています。

図表 転倒リスクの評価方法

問番号及び設問	配点と選択肢	
問3 Q1. この1年間に転んだことがありますか	5 : 「1. はい」	0 : 「2. いいえ」
問3 Q3. 背中が丸くなってきましたか	2 : 「1. はい」	0 : 「2. いいえ」
問3 Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきていますか	2 : 「1. はい」	0 : 「2. いいえ」
問3 Q5. つえを使っていますか	2 : 「1. はい」	0 : 「2. いいえ」
問8 Q5. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2 : 「5. 5種類以上」	0 : 「1~4種類又は「6. 飲んでいない」

図表 転倒の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(4) 栄養

低栄養になると、筋力が衰え病気にかかりやすくなったり衰弱しやすくなるため、基本チェックリストの項目を利用し栄養状況のリスクについて評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性3.8%、女性3.7%で該当者割合はほぼ同じである。状態別では、要介護者が6.0%で割合が最も高く、次いで二次予防対象者4.8%、要支援者4.4%となっており、要介護者の割合が高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、昭栄が6.0%で該当者割合がやや高い。

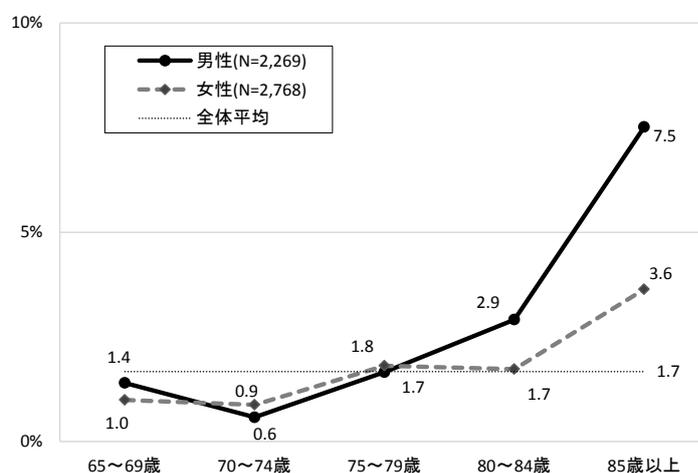
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体における該当者割合は1.7%となっており、その割合は他の項目に比べて非常に低い。なお、概ね年齢が上がるほど該当者割合が高くなっている。

評価の基礎になった設問に対する回答結果を状態別に比較してみると、各設問における認定者の該当率は低いものの、非認定者に比べると1問（問4-Q2）でかなり高くなっている。

関連する設問の食事動作については、非認定者が0.8%と低い。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)



※ 2問中2つ回答が該当者（リスク有り）

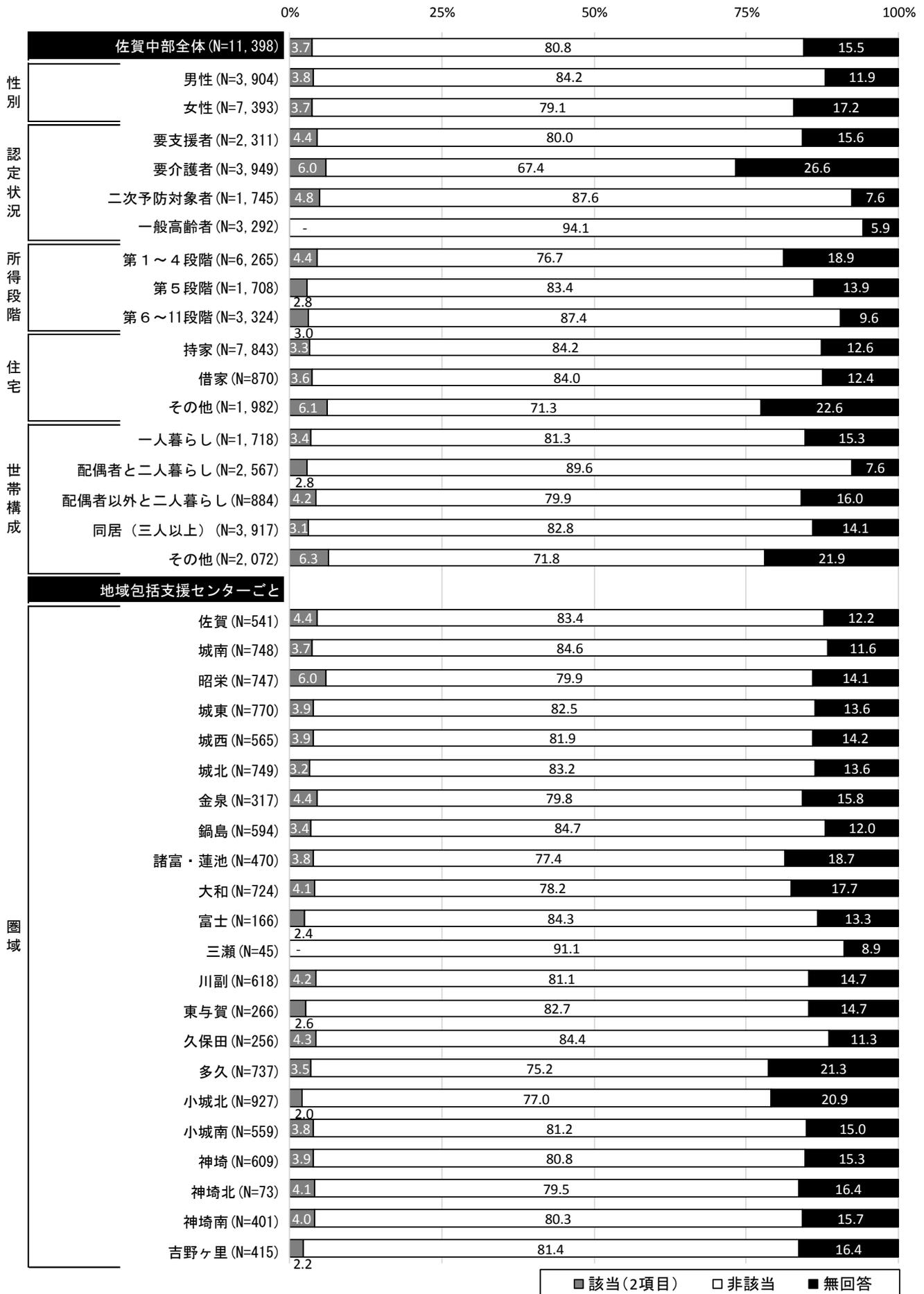
(単位: %)

設問内容 (該当する回答)	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問4-Q1 6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか【はい】	12.8	20.0	22.9	18.3	87.2
問4-Q2 身長、体重 (BMI=体重/(身長×身長) < 18.5)	8.8	19.5	14.5	22.5	91.2
	6.4	12.4	14.5	22.5	

< 関連設問 >

設問内容 (該当する回答)	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問6-Q6 食事は自分で食べることができますか【「一部介助 (おかずを切ってもらなど) があればできる」又は「できない」】	0.8	20.4	1.8	31.3	99.2
	0.1	0.3	1.8	31.3	

図表 栄養の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(5) 口腔

口腔機能が低下すると、食べたり飲み込んだりしにくくなり、低栄養や肺炎など全身の健康状態が悪化するため、基本チェックリストの項目を利用し、口腔機能のリスクについて分析を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性29.2%、女性30.8%で女性の該当者割合が1.6ポイント高い。状態別では、二次予防対象者が63.4%で割合が最も高く、次いで要介護者37.0%、要支援者36.5%となっており、二次予防対象者の割合がかなり高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北が37.0%で該当者割合が最も高く、富士が22.9%で最も低い。

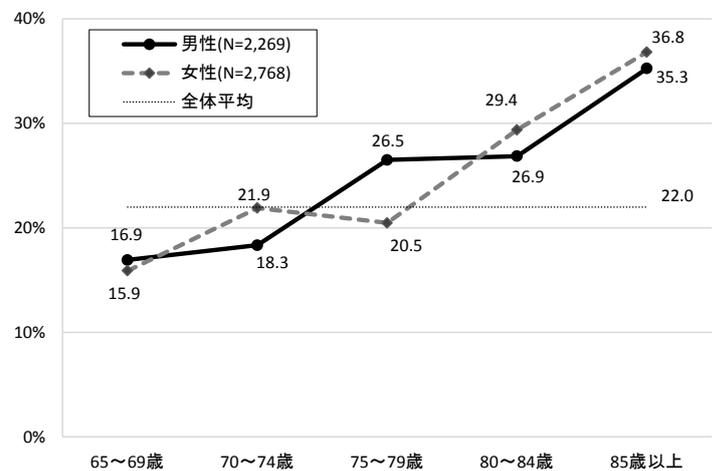
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体の該当者割合は22.0%となっており、年齢が上がるほどその割合は高くなっているものの、男女差は比較的小さくなっている。

評価の基礎になった設問に対する回答結果を比較してみると、各設問における認定者の該当率は32.5%~43.2%、非認定者の非該当率は69.3%~75.3%となっている。

関連する設問についてみると、問4-Q6・Q7については、一般高齢者から要介護者に至るほど割合が高くなっている。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)



※3問中2つ回答が該当者（リスク有り）

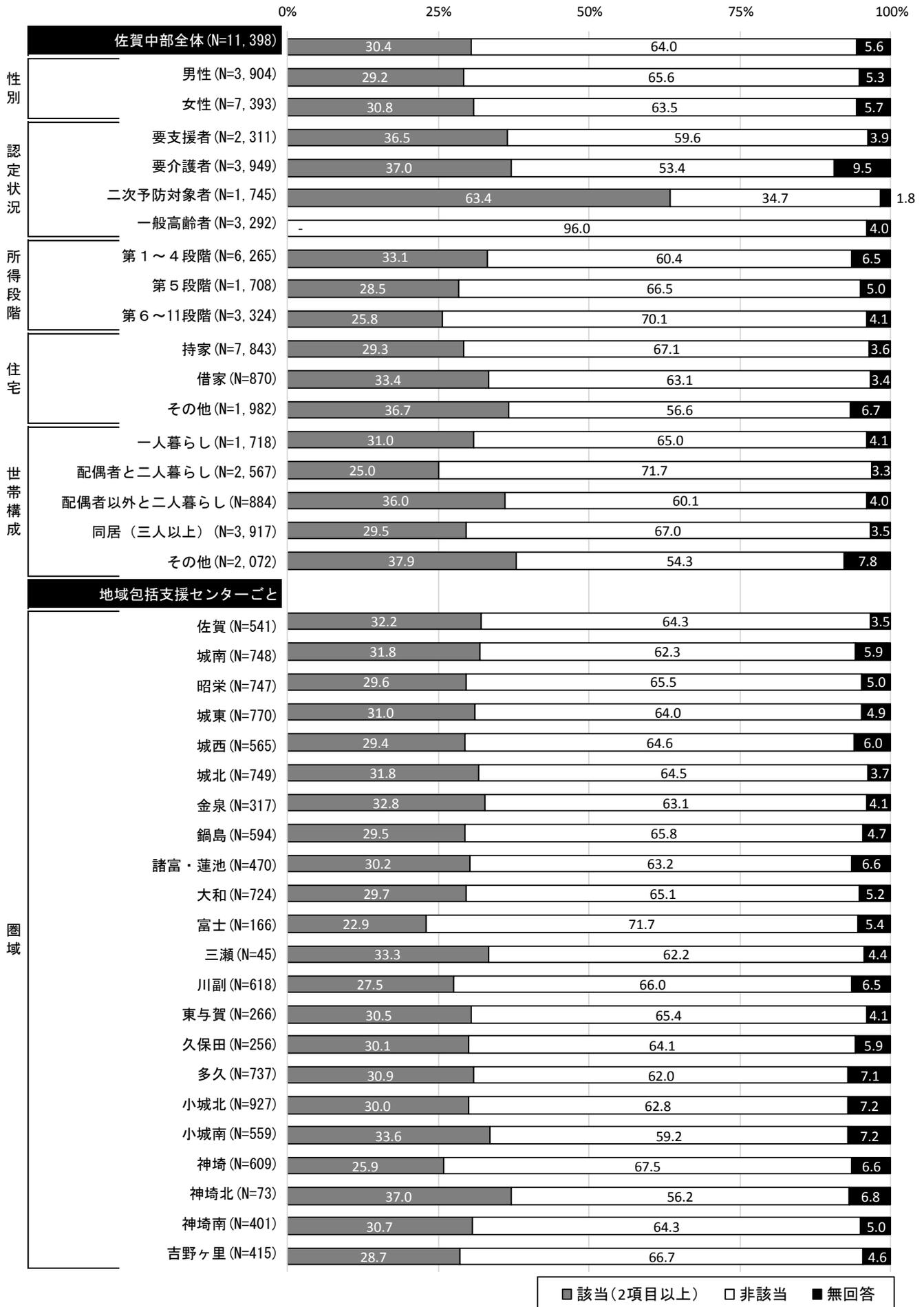
(単位: %)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問4-Q3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか【はい】	30.7		43.2		69.3
	15.1	59.0	42.1	43.8	
問4-Q4 お茶や汁物等を飲んだときにでむせることがありますか【はい】	24.7		39.0		75.3
	10.1	51.0	34.0	41.9	
問4-Q5 口の渇きが気になりますか【はい】	25.9		32.5		74.1
	9.8	55.5	39.9	28.1	

<関連設問>

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問4-Q6 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか【いいえ】	6.9		10.4		93.1
	6.3	8.1	9.4	11.0	
問4-Q7 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか【いいえ】	50.8		69.6		49.2
	47.9	56.3	69.4	69.7	

図表 口腔の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(6) 認知症予防

忘れ物や物忘れが多くなり、いわゆる認知症になると、日常生活に支障をきたすことになるため、基本チェックリストの項目を利用し、認知機能低下のリスクの評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性52.8%、女性60.7%で女性の該当者割合が7.9ポイント高い。状態別では、要介護者が87.9%で割合が最も高く、次いで要支援者63.3%、二次予防対象者47.0%、一般高齢者24.2%と状態に応じた割合となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、諸富・蓮池が64.9%で該当者割合が最も高く、城北が52.5%で最も低い。

【佐賀中部の回答状況】

各設問に対する回答結果を比較してみると、認定者の該当率は43.0%～60.4%、非認定者の非該当率は79.3%～89.9%と差があり、また、要支援者と要介護者でも該当率に大きな差がある。

関連する設問で、介護・介助が必要になった原因や現在治療中、又は後遺症のある病気での認知症についても、同様の傾向となっている。

※3問中1つ以上回答が該当者（リスク有り）

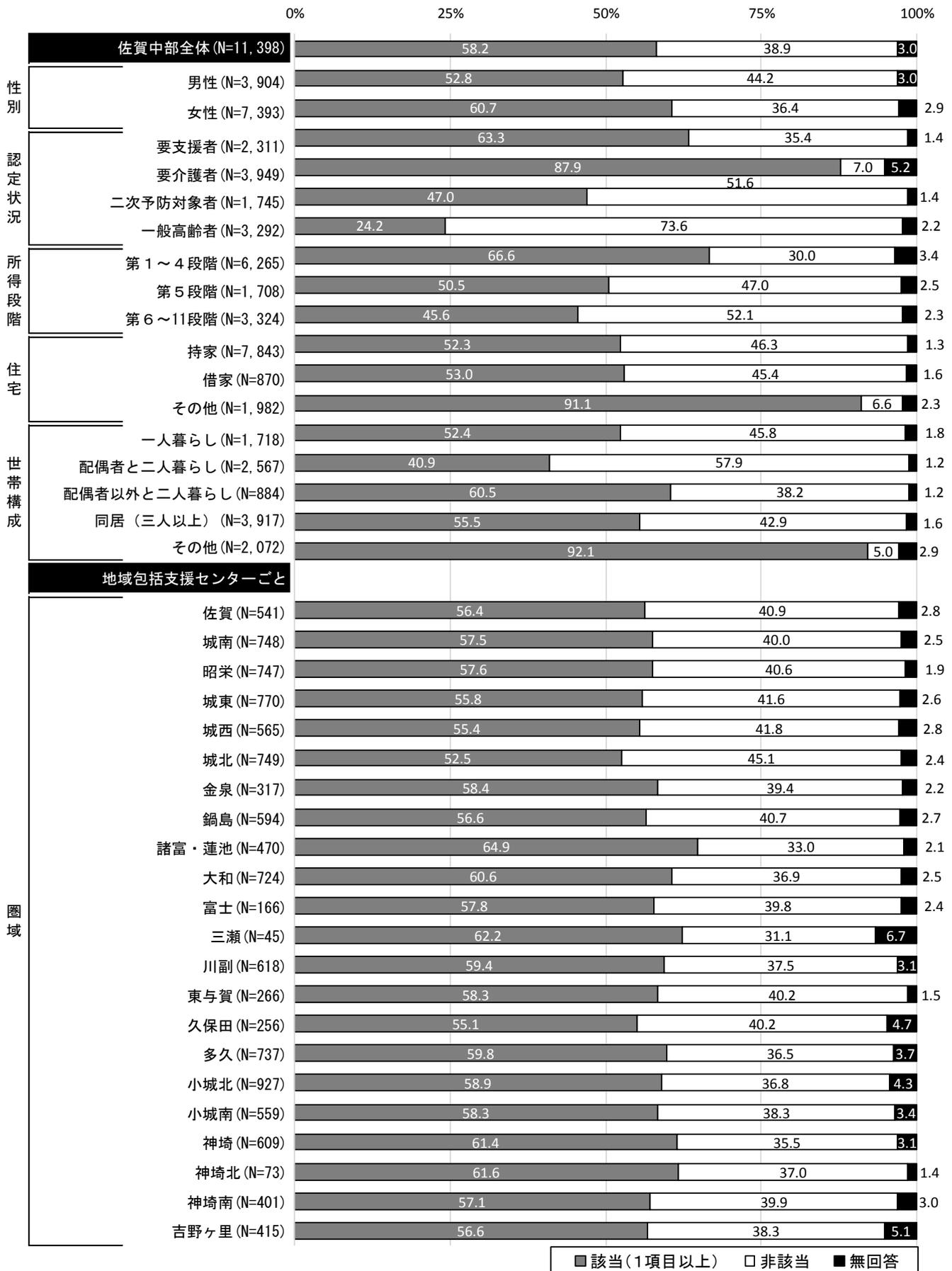
（単位：％）

設問内容（該当する回答）	非認定者（N=5,037）		認定者（N=6,260）		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問5-Q1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか【はい】	14.3		43.0		85.7
	8.7	23.3	34.7	47.8	
問5-Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか【いいえ】	10.1		60.4		89.9
	6.5	13.1	30.5	77.8	
問5-Q3 今日が何月何日かわからないときがありますか【はい】	20.7		59.3		79.3
	14.0	30.9	43.6	68.5	

<関連設問>

問1-Q2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか【認知症】	12.6		38.0		87.4
	7.7	4.2	14.2	49.3	
問8-Q4 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか【認知症】	1.4		30.3		98.6
	0.3	1.1	10.5	42.0	

図表 認知症予防の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(7) 認知機能症

認知症予防を図るために認知機能の障害程度の指標として有用とされるC P S (Cognitive Performance Scale) に準じた設問を設定しており、内容的には要介護認定調査の主治医意見書欄にある内容である。

本来は観察者によって評価されることにより客観的な指標となるものであり、今回は自記式の調査ではあるが、比較的簡易に認知機能の障害程度の評価が可能であることから、調査票に盛り込んでいる。設問に対する回答内容により、0レベル(障害なし)から6レベル(最重度の障害がある)までのC P Sに準じた評価が可能となっている。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性23.7%、女性30.4%で女性の該当者割合が6.7ポイント高い。状態別では、要介護者が59.7%で割合が最も高く、次いで要支援者23.3%、二次予防対象者10.8%、一般高齢者2.6%と状態に応じた割合となっている。

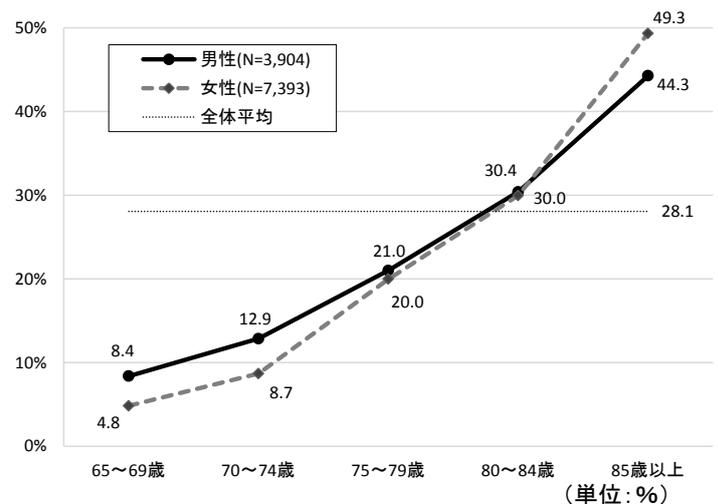
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北が42.5%で該当者割合が最も高く、城北が24.0%で最も低い。

【佐賀中部の回答状況】

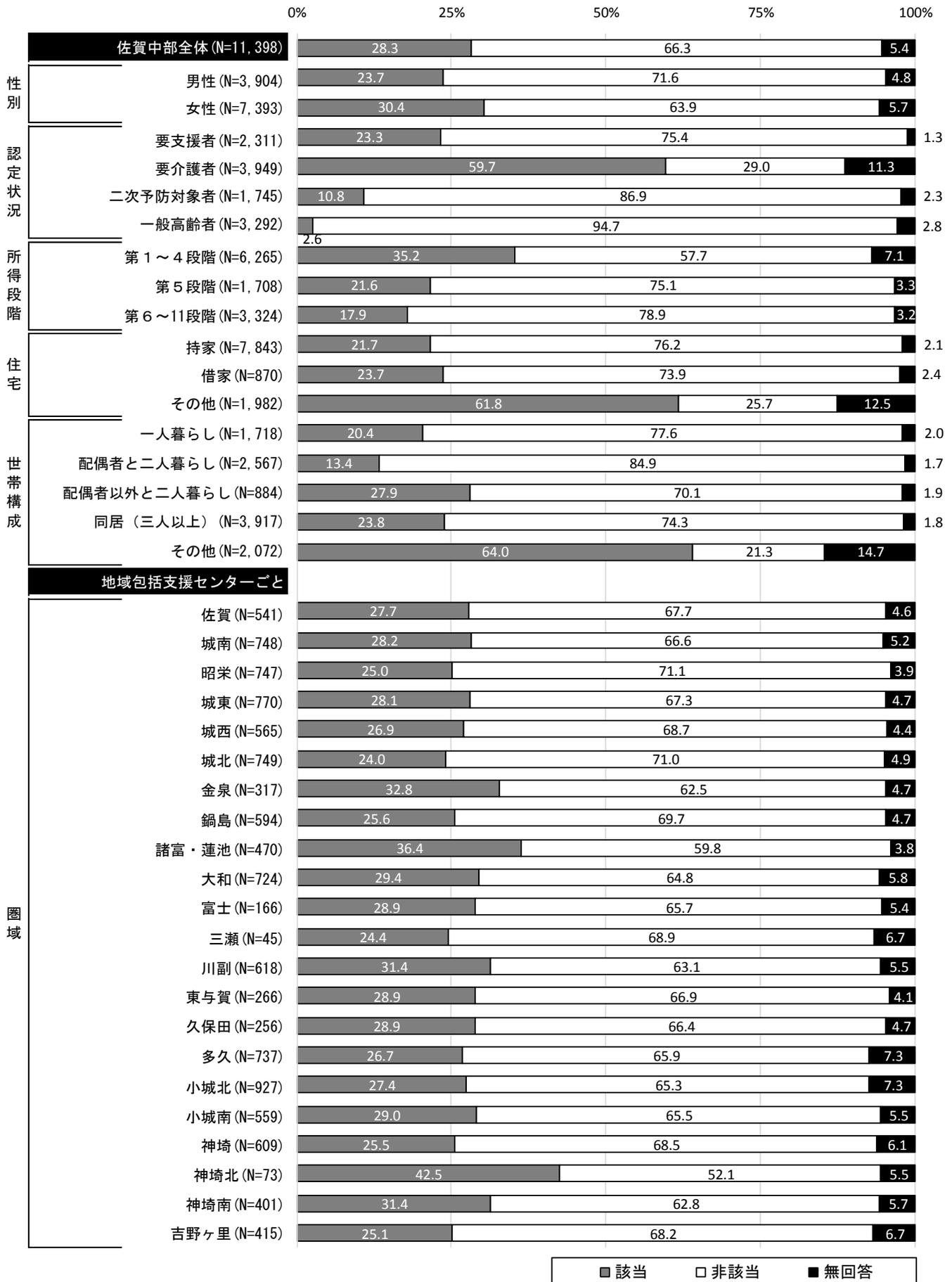
設問に対する回答結果を状態別に比較してみると、認定者の該当率が40%を超えている設問が3問(問5-Q4~Q6)、非認定者の非該当率が90%を超えている設問が2問(問5-Q5・問6-Q6)となっている。全設問で要介護者と要支援者で該当率に大きな差がみられる。

図表 リスク者割合
(性・年齢階級別、不明を除く)



設問内容 (該当する回答)	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問5-Q4 5分前のことが思い出せますか【いいえ】	10.9		41.4		89.1
	8.4	13.2	20.3	53.7	
問5-Q5 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか【「いくらか困難であるが、できる」~「ほとんど判断できない」】	6.8		56.2		93.2
	2.3	12.1	27.7	72.9	
問5-Q6 人に自分の考えをうまく伝えられますか【「いくらか困難であるが、伝えられる」~「ほとんど伝えられない」】	11.2		49.8		88.8
	5.3	19.3	27.3	63.0	
問6-Q6 食事は自分で食べることができますか【「一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる」又は「できない」】	0.8		20.4		99.2
	0.1	0.3	1.8	31.3	

図表 認知機能障害程度の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(8) うつ予防

高齢者特有の身体の変調や人付き合いなどの不和から心の健康を害し、精神の働きがうまくいかなないなど、うつをきたす場合があるため、基本チェックリストの項目を利用し、うつ予防のリスクについて評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性31.5%、女性32.6%で女性の該当者割合が1.1ポイント高い。状態別では、二次予防対象者が44.1%で割合が最も高く、次いで要支援者40.5%、要介護者37.0%、一般高齢者14.3%であり、非認定者の二次予防対象者が認定者の要支援者より該当者割合がやや高くなっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、ほとんどの圏域の該当者割合が3割を超えているが、神埼27.3%、大和26.1%、久保田25.4%で2割台となっている。

【佐賀中部の回答状況】

設問に対する回答結果をみると、認定者の該当率は24.0%～37.8%、非認定者の非該当率は75.8%～88.7%となっている。一般高齢者と二次予防対象者で該当率に比較的大きな差があることが特徴的になっている。

関連する設問として主観的健康感についてみると、認定者では「(あまり)健康でない」との回答が42.6%、非認定者で「(とても・まあまあ)健康である」との回答が82.1%となっている。

※5問中2つ以上回答が該当者(リスク有り)

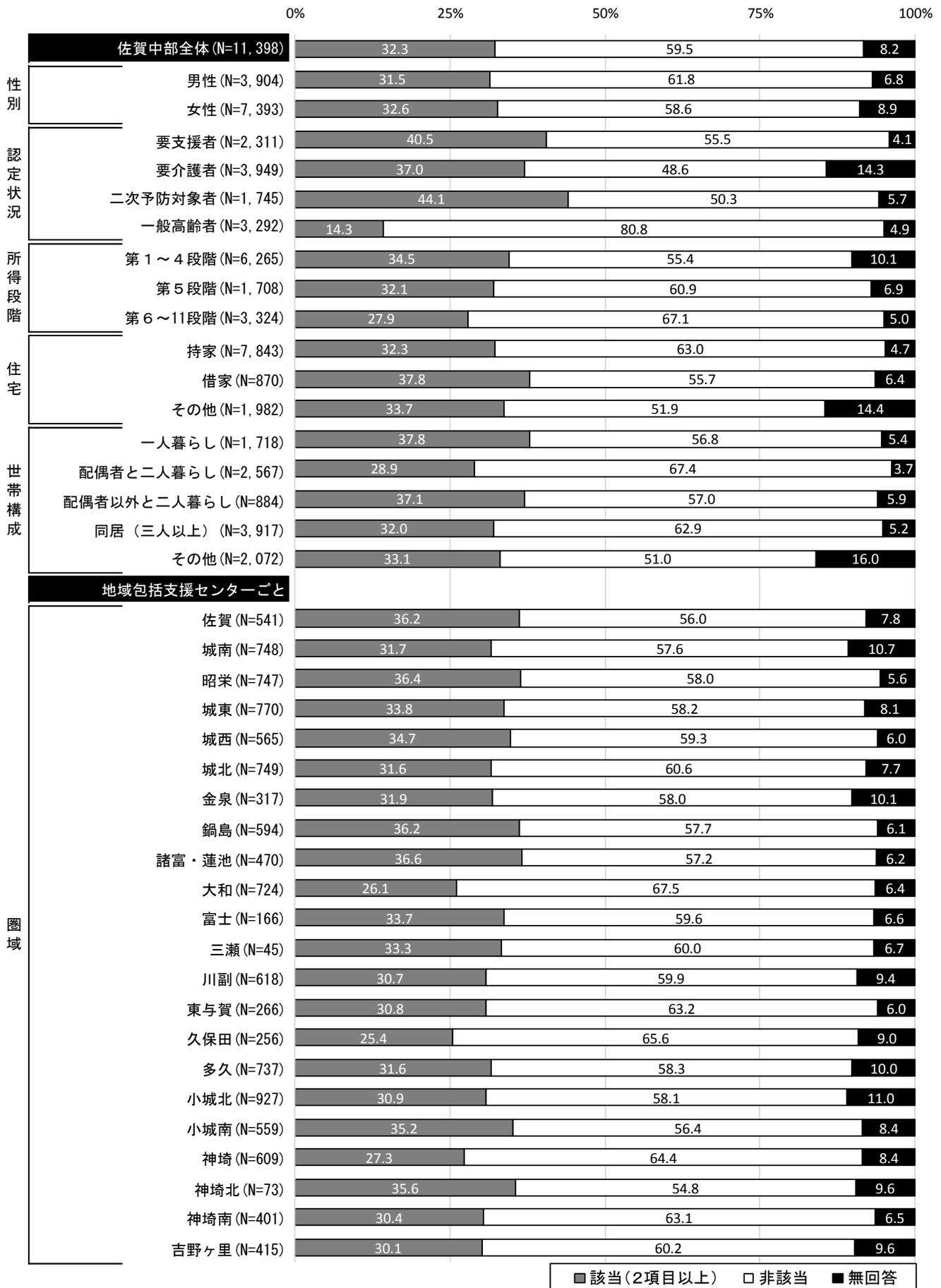
(単位:%)

設問内容(該当する回答)	非認定者(N=5,037)		認定者(N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者(N=3,292)	二次予防対象者(N=1,745)	要支援者(N=2,311)	要介護者(N=3,949)	
問8-Q10 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない【はい】	20.4		27.9		79.6
	14.6	30.1	27.1	28.4	
問8-Q11 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった【はい】	11.3		25.3		88.7
	5.4	21.0	24.4	25.8	
問8-Q12 (ここ2週間) 以前は楽にやれていたことが、今ではおっくうに感じられる【はい】	22.6		37.8		77.4
	12.4	40.6	40.3	36.3	
問8-Q13 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない【はい】	16.2		24.0		83.8
	10.7	26.0	25.7	23.0	
問8-Q14 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする【はい】	24.2		30.0		75.8
	14.3	42.6	32.3	28.7	

<関連設問>

設問内容(該当する回答)	非認定者(N=5,037)		認定者(N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者(N=3,292)	二次予防対象者(N=1,745)	要支援者(N=2,311)	要介護者(N=3,949)	
問8-Q1 普段、ご自分で健康だと思いますか【「あまり健康でない」又は「健康でない」】	17.9		42.6		82.1
	9.0	33.4	46.8	40.2	

図表 うつ予防の対象者



(9) 虚弱①

基本チェックリストにおいて、うつ予防に関する5項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、旧二次予防対象者（介護予防生活支援サービスでは事業対象者）となる。生活機能の低下を防ぐため、何らかの介護予防が必要なものについて評価を行った。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性35.2%、女性50.4%で女性の該当者割合が15.2ポイント高い。状態別では、要介護者が87.4%で割合が最も高く、次いで要支援者56.0%、二次予防対象者20.1%と状態に応じた割合となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北が53.4%で該当者割合が最も高く、他圏域はすべて4割台となっている。

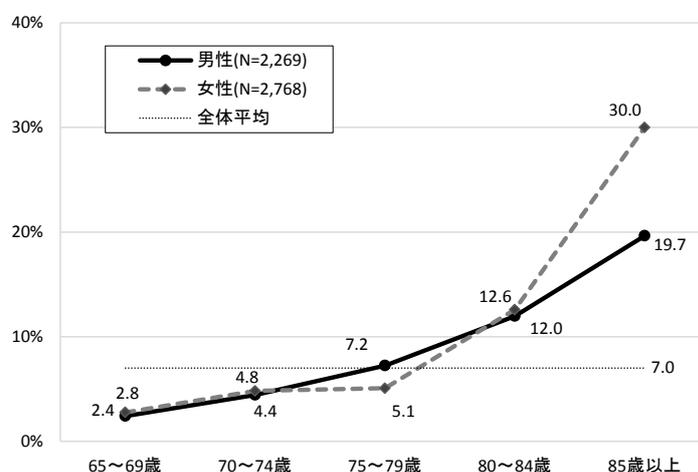
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体での該当者の割合は7.0%であり、年齢とともに高くなっている。

また、20項目のうち、他の評価項目に含まれない5項目についてそれぞれの回答結果をみると、一般高齢者、二次予防対象者、要支援者、要介護者で該当率に顕著な差がみられる。

認定者の該当率は68.9%～85.4%、非認定者の非該当率は62.8%～86.0%である。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)

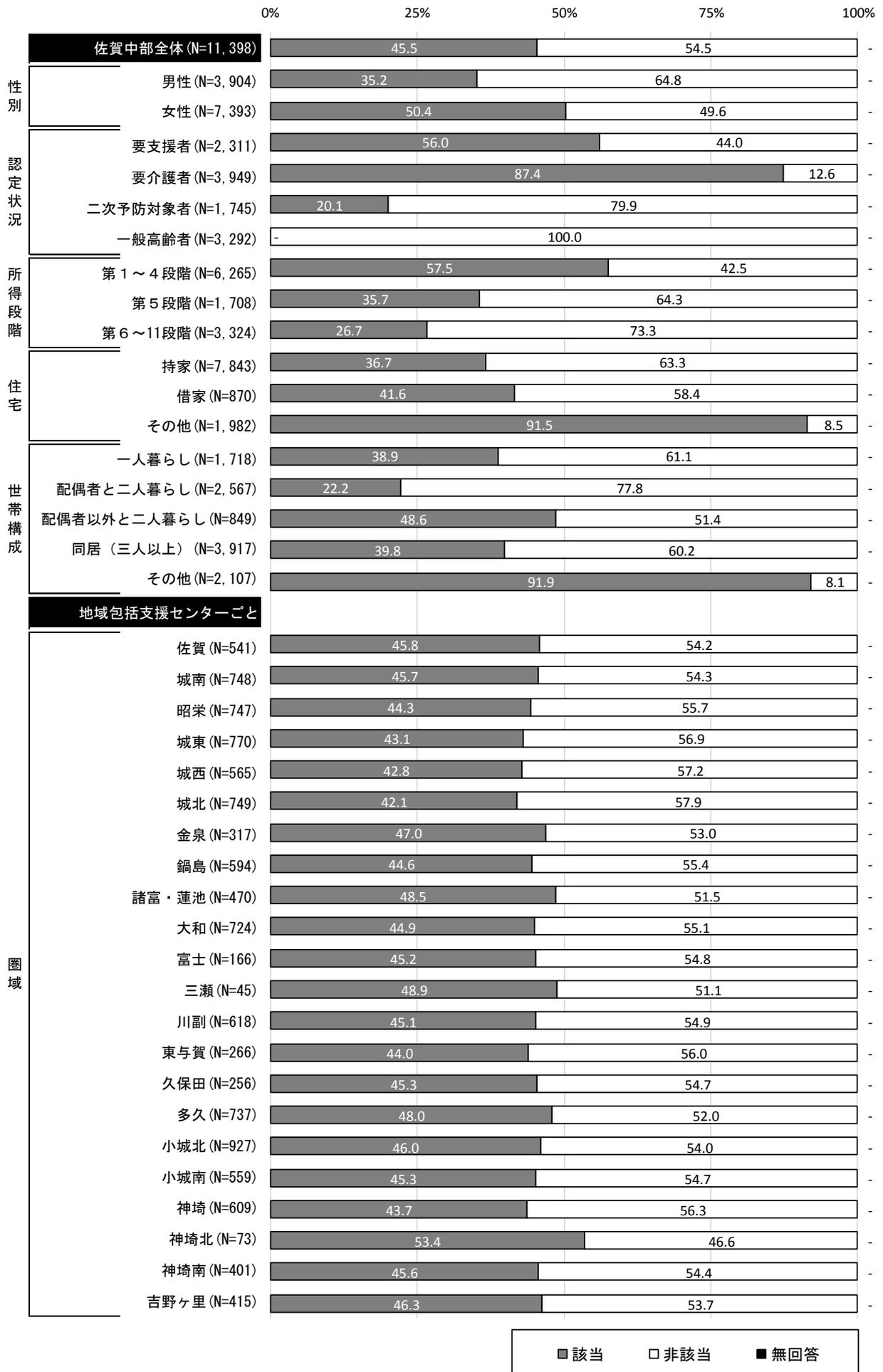


※5問中2つ以上回答が該当者（リスク有り）

(単位: %)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でもかまいません）【「できるだけしていない」又は「できない」】	14.0		85.1		86.0
	7.2	22.8	71.1	93.4	
問6-Q2 日用品の買物をしていますか【「できるだけしていない」又は「できない」】	14.9		78.9		85.1
	9.4	21.4	58.2	91.0	
問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか【「できるだけしていない」又は「できない」】	15.4		75.3		84.6
	11.6	19.1	48.7	90.9	
問7-Q5 友人の家を訪ねていますか【いいえ】	37.2		85.4		62.8
	30.5	47.1	74.4	91.8	
問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか【いいえ】	16.4		68.9		83.6
	10.5	24.2	50.1	79.8	

図表 虚弱①



■ 該当 □ 非該当 ■ 無回答

(10) 虚弱②

前述以外に、基本チェックリストにおいて、運動器機能、栄養改善、口腔機能のそれぞれで該当した場合も、旧二次予防対象者となる。虚弱による生活機能の低下を防ぐために、旧二次予防対象者の状況を調べた。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性54.9%、女性71.8%で女性の該当者割合が16.9ポイント高い。所得段階別では第1～4段階77.0%、第5段階60.3%、第6～11段階48.1%となっている。世帯構成別では、その他96.2%、配偶者以外と二人暮らし72.3%、一人暮らし70.2%、同居（三人以上）62.5%、配偶者と二人暮らし46.3%となっている。

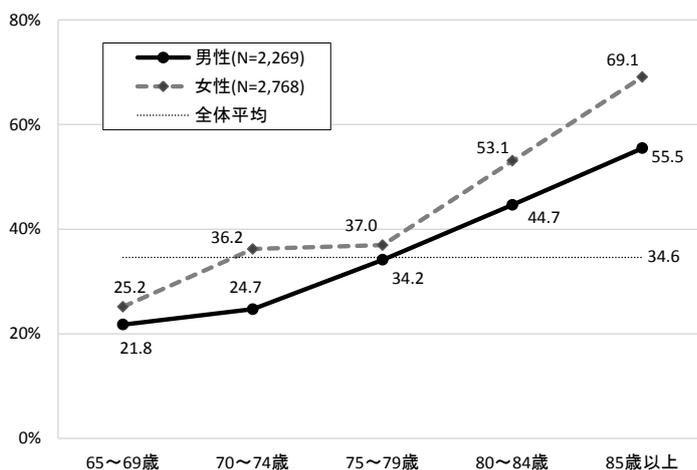
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、金泉が70.0%で該当者割合がやや高く、他圏域もすべて6割台となっている。

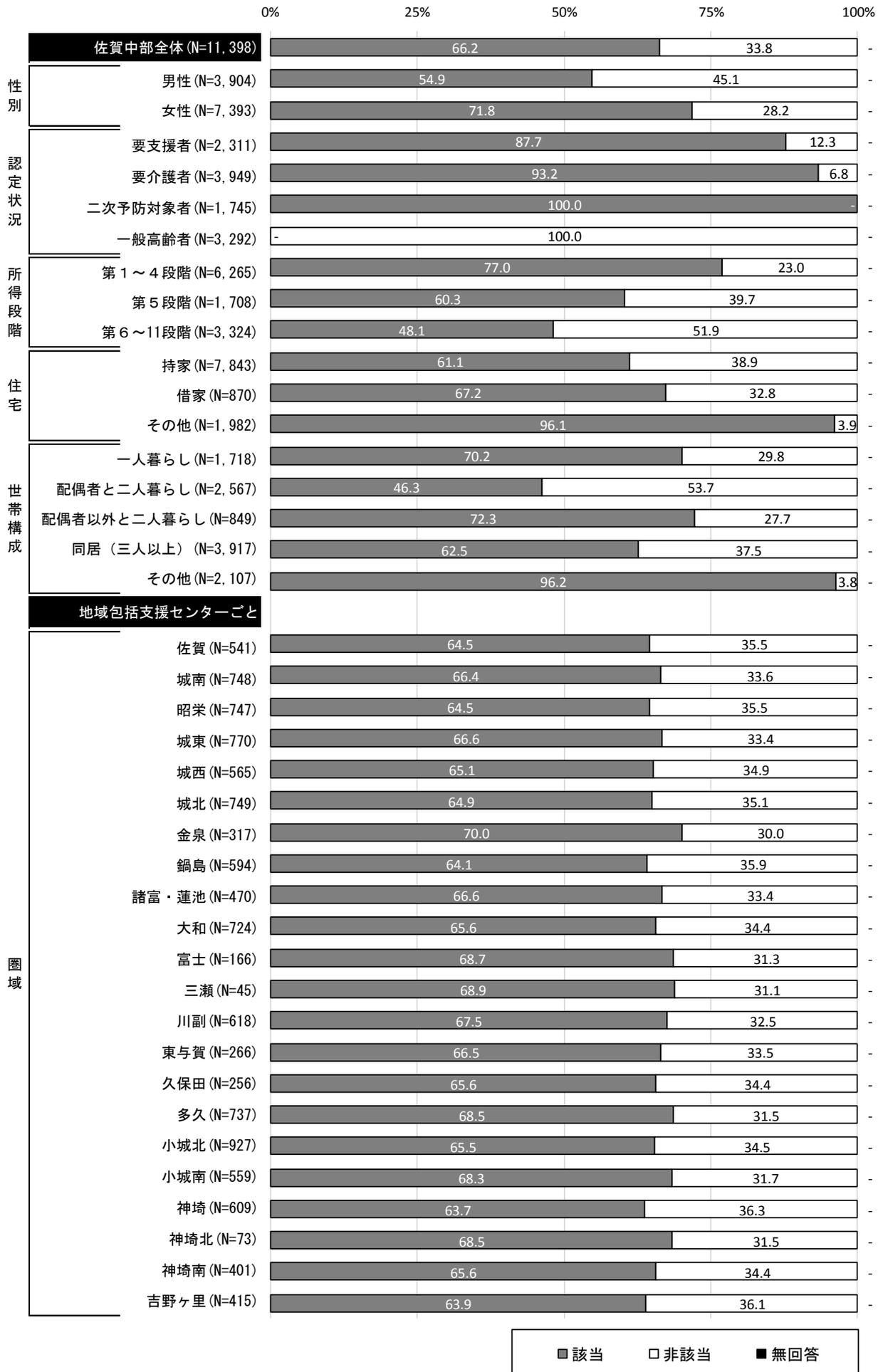
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体での該当者の割合は34.6%であり、性別では女性の方が高く、概ね年齢が上がるほどその差が開く傾向がみられる。

図表 該当者割合
(性・年齢階級別、認定者・不明を除く)



図表 虚弱②



■ 該当 □ 非該当 ■ 無回答

2 日常生活

(1) 日常生活動作 (ADL)

本調査では、日常生活動作 (ADL) に関する設問が項目として含まれている。内容としては、食事、ベッドでの移動、整容、トイレ、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目 (資料編資料説明 (注5) 参照以下同じ) で、(問6-Q6~Q16)、ADL評価指標として広く用いられているバーセルインデックス (資料編用語説明※6参照以下同じ) に準じた設問内容となっている。

各設問の配点は、自立を5~15点とし10項目の合計が100点満点となるよう評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、「完全自立」の割合は男性50.5%、女性32.0%で男性が18.5ポイント高い。状態別では、最も高いのは一般高齢者81.2%で、次いで二次予防対象者55.1%、要支援者24.7%、要介護者3.3%となっている。住宅別では、持家46.2%、借家40.0%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし61.6%、同居 (三人以上) 43.3%、一人暮らし39.4%、配偶者以外と二人暮らし32.9%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「完全自立」の割合は城北が43.3%で最も高く、最も低い富士30.7%に比べ12.6ポイントの差がある。

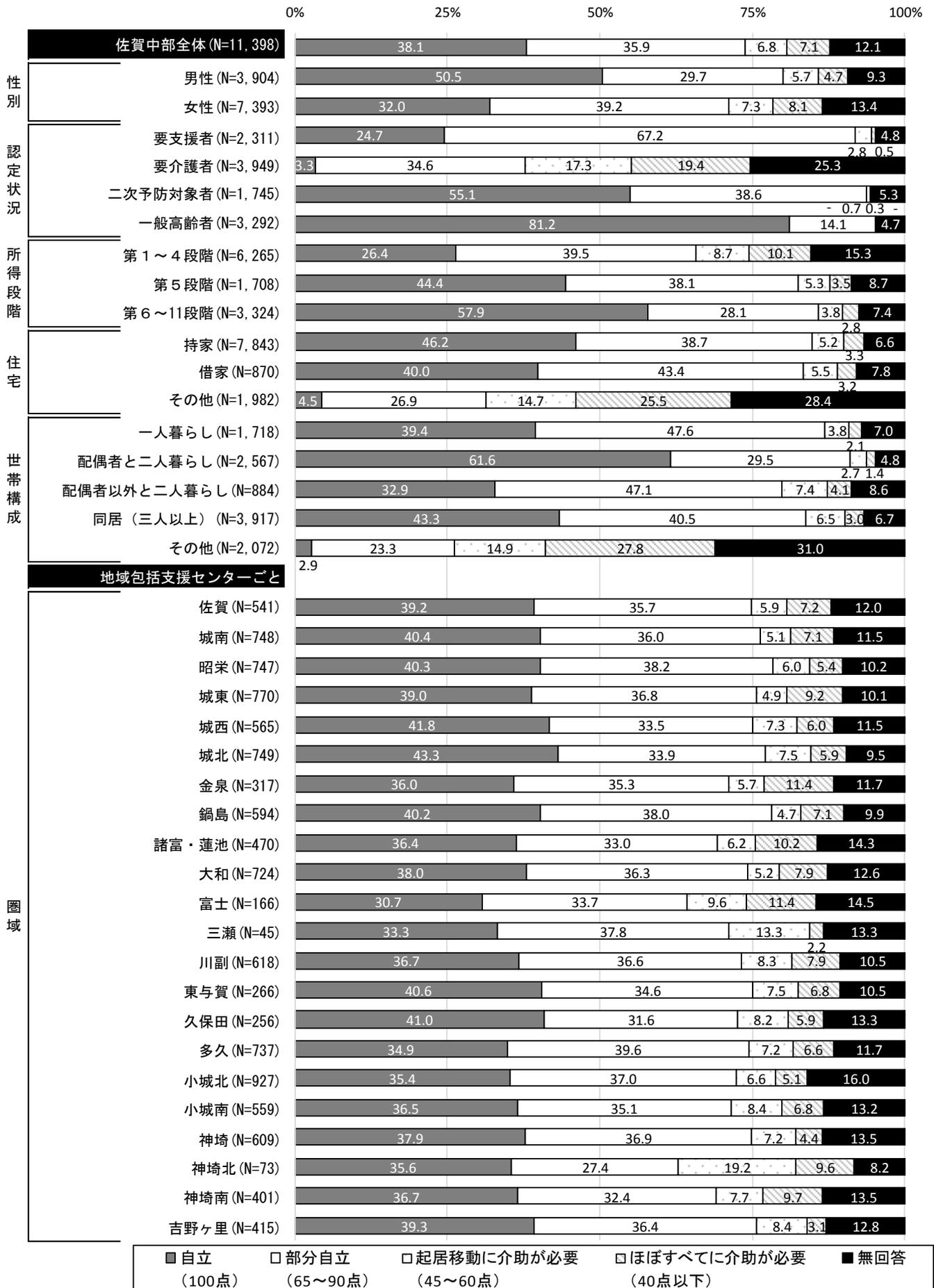
【佐賀中部の回答状況】

認定者と非認定者で該当率の差が大きいのは、階段昇降、入浴、歩行で、差が小さいのは食事、座位になっている。要支援者の自立の割合をみると、階段昇降50.5%、排尿53.6%、歩行64.0%と低くなっており、高齢者ではこうした動作から機能低下が始まっていることがうかがえる。

(単位: %)

設問内容 (該当する回答)	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者と認定者の差
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問6-Q6 食事は自分で食べることができますか【できる】	97.6		76.6		21.0
	97.4	98.0	97.0	64.7	
問6-Q7 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか【受けない】	96.8		64.4		32.4
	97.1	96.2	96.5	45.6	
問6-Q8 座っていることができますか【できる】	93.3		65.3		28.0
	95.7	88.7	86.4	53.0	
問6-Q9 自分で洗面や歯磨きができますか【できる】	97.5		65.2		32.3
	97.4	97.5	96.6	46.9	
問6-Q10 自分でトイレができますか【できる】	97.4		64.3		33.1
	97.4	97.2	97.2	45.0	
問6-Q11 自分で入浴ができますか【できる】	96.9		37.1		59.8
	97.3	96.2	76.9	13.8	
問6-Q12 50m以上歩けますか【できる】	94.4		36.6		57.8
	97.0	89.5	64.0	20.5	
問6-Q13 階段を昇り降りできますか【できる】	93.8		26.9		66.9
	97.0	87.6	50.5	13.1	
問6-Q14 自分で着替えができますか【できる】	97.3		57.6		39.7
	97.6	96.7	93.6	36.5	
問6-Q15 大便の失敗がありますか【ない】	93.9		53.5		40.4
	96.1	89.6	81.6	37.0	
問6-Q16 尿もれや尿失禁がありますか【ない】	76.8		33.9		42.9
	84.0	63.2	53.6	22.4	

図表 日常生活動作（ADL）の評価



(2) 手段的自立度 (IADL)

本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標（資料編用語説明※3、資料説明（注2）参照以下同じ）に準じた設問が設けられている（問6-Q1～Q5、問7-Q1～Q6・Q8・Q9）。

このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問に「できるし、している」又は「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、評価の「高い」割合は男性47.3%、女性39.9%で男性が7.4ポイント高い。状態別では、一般高齢者85.0%、二次予防対象者71.7%、要支援者28.3%、要介護者2.3%となっている。所得段階別では、第6～11段階58.0%、第5段階52.2%、第1～4段階31.6%となっている。住宅別では、持家51.2%、借家47.9%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし64.8%、一人暮らし50.8%、同居（三人以上）46.1%、配偶者以外と二人暮らし42.0%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「高い」割合は鍋島46.5%と城北46.3%がやや高く、富士が31.3%で最も低い。

【佐賀中部の回答状況】

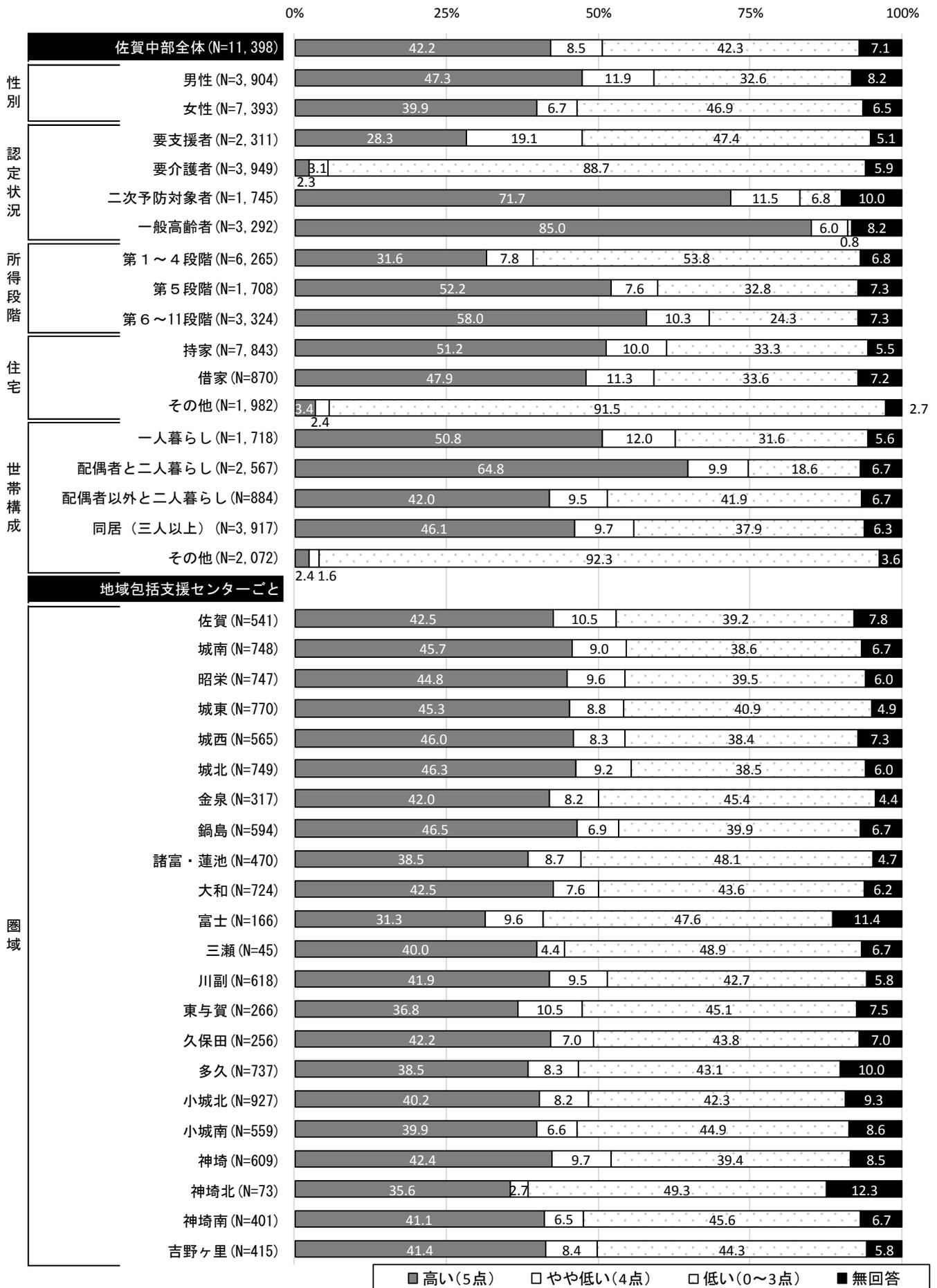
評価の基礎となっている5項目についてそれぞれの回答結果をみると、非認定者（一般高齢者及び二次予防対象者）と要支援者、要介護者でその回答結果に顕著な差がみられる。

非認定者の該当率は86.2%～95.0%、認定者の該当率は18.8%～36.5%である。

(単位:%)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者と認定者の差
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でもかまいません）【「できるし、している」又は「できるけどしていない」】	92.3		18.8		73.5
	96.6	88.8	40.8	5.9	
問6-Q2 日用品の買物をしていますか【「できるし、している」又は「できるけどしていない」】	94.3		30.1		64.2
	97.5	92.8	60.6	12.3	
問6-Q3 自分で食事の用意をしていますか【「できるし、している」又は「できるけどしていない」】	86.2		26.7		59.5
	88.2	82.3	57.8	8.5	
問6-Q4 請求書の支払いをしていますか【「できるし、している」又は「できるけどしていない」】	95.0		36.5		58.5
	96.4	92.4	72.5	15.4	
問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか【「できるし、している」又は「できるけどしていない」】	93.6		34.4		59.2
	96.4	92.5	69.5	13.9	

図表 手段的自立度（IADL）の評価



(3) 生活機能総合評価

前記の手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式活動能力指標13項目での評価結果は、以下のとおりとなっている。評価は、13点満点で評価し、11点以上を「高い」、9、10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、評価の「高い」割合は男性43.6%、女性33.1%で男性が10.5ポイント高い。状態別では、一般高齢者78.4%、二次予防対象者58.2%、要支援者20.6%、要介護者1.9%となっている。所得段階別では、第6～11段階53.9%、第5段階46.4%、第1～4段階25.0%となっている。住宅別では、持家45.4%、借家34.4%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし59.7%、同居（三人以上）41.6%、一人暮らし37.5%、配偶者以外と二人暮らし32.0%となっている。

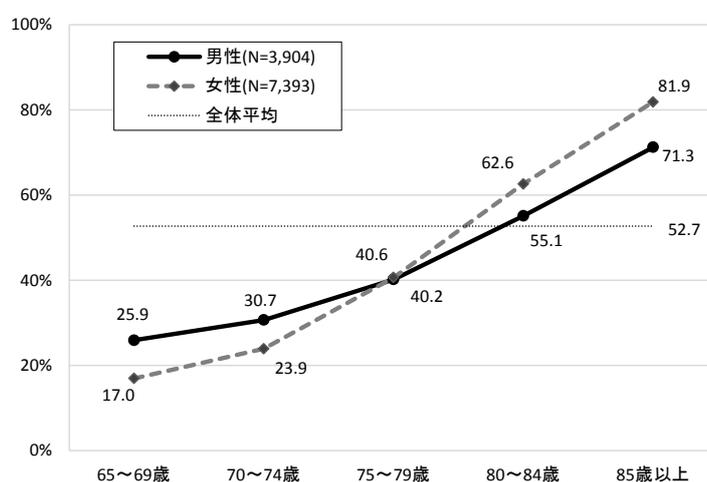
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「高い」割合は城西が40.4%で4割を超えて最も高く、富士が30.1%で最も低い。

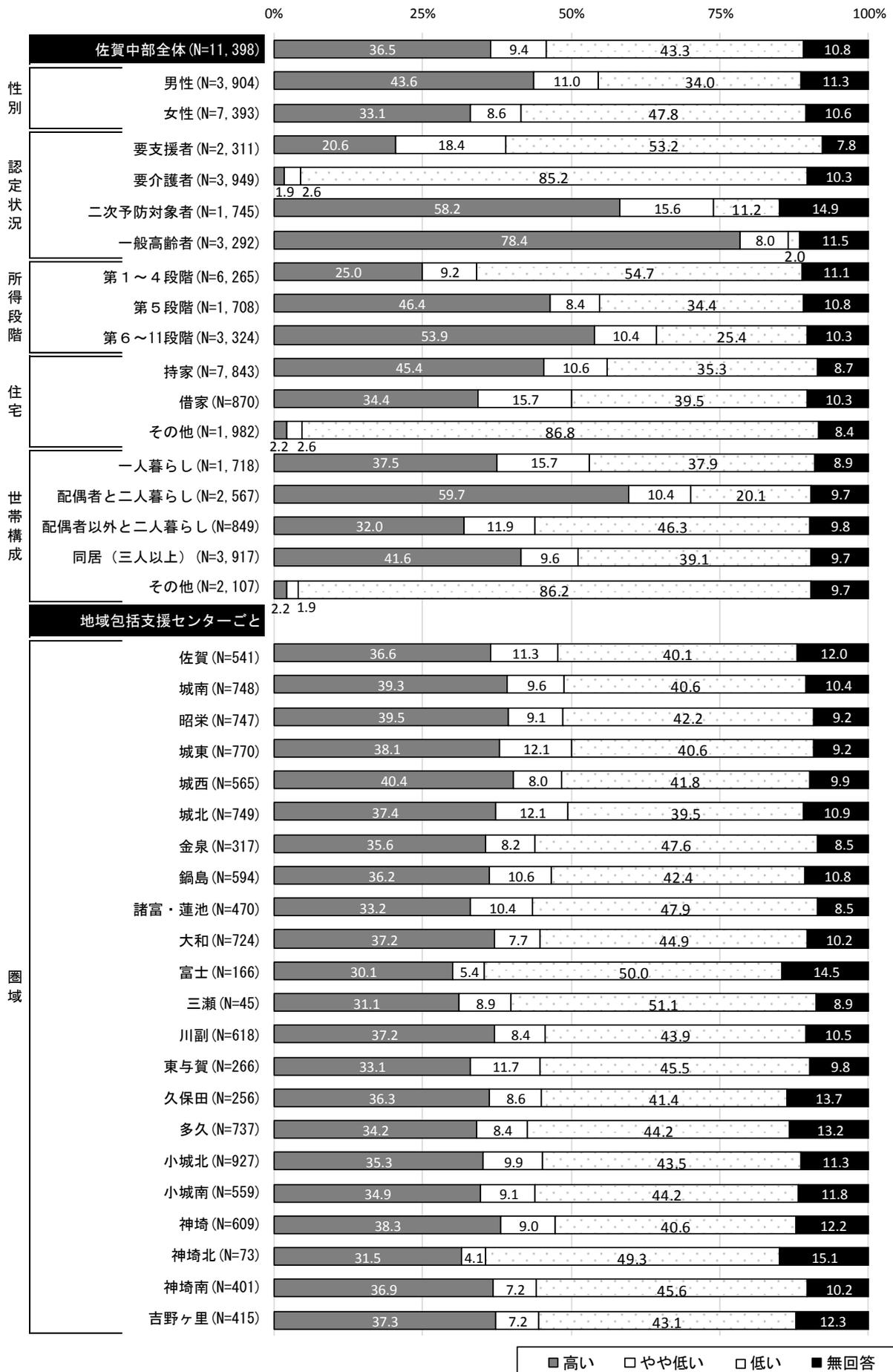
【佐賀中部の回答状況】

手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式活動能力指標13項目での評価が10点以下の人を低下者とした結果をみると、70歳代前半までは男性の低下者割合が高くなっているが、70歳代後半以降では逆に女性の割合が高くなっている。

図表 生活機能低下者割合（性・年齢階級別）



図表 生活機能総合評価



(4) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されている（問7-Q1～Q4）。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。（資料編 用語説明※5参照以下同じ）

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、評価の「高い」割合は男性47.6%、女性34.5%で男性が13.1ポイント高い。状態別では、一般高齢者76.1%、二次予防対象者59.0%、要支援者28.8%、要介護者5.2%となっている。所得段階別では、第6～11段階58.2%、第5段階47.0%、第1～4段階26.7%となっている。住宅別では、持家47.5%、借家36.7%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし62.2%、同居（三人以上）42.7%、一人暮らし40.7%、配偶者以外と二人暮らし36.7%となっている。

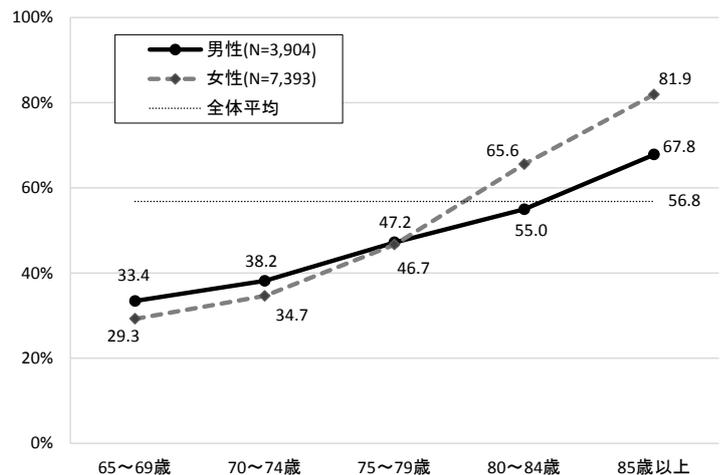
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「高い」割合は佐賀44.4%、城西44.1%がやや高く、最も低い三瀬の31.1%とは13ポイント以上の差がある。

【佐賀中部の回答状況】

「知的能動性」の尺度で3点以下を低下者とした評価結果をみると、70歳代前半までは男性の低下者割合が高くなっているものの、70歳代後半以上では逆に女性の割合が高くなっている。また評価の基礎となっている4項目についてそれぞれの回答結果をみると、一般高齢者、二次予防対象者、要支援者、要介護者でその回答結果に顕著な差がみられる。

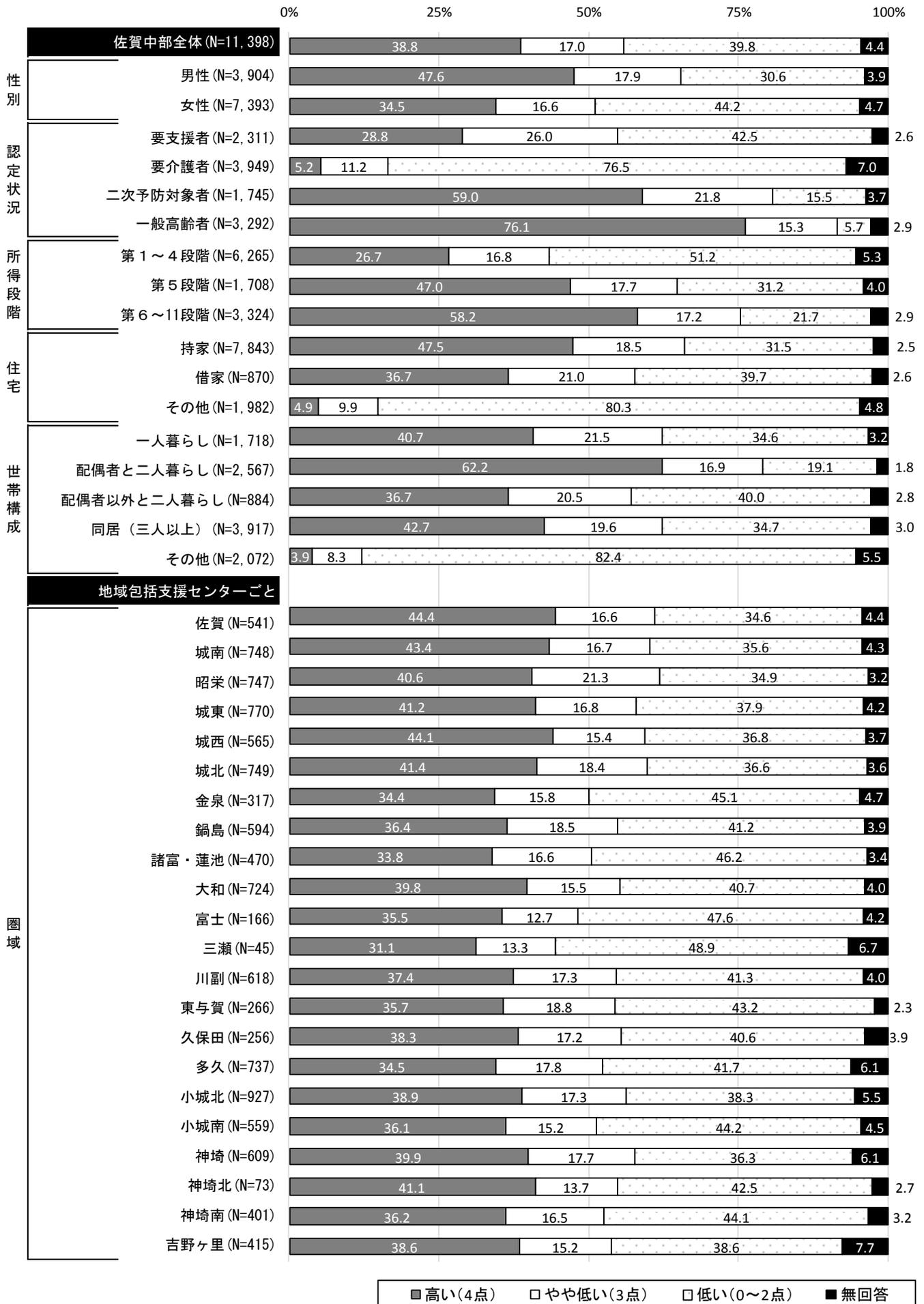
図表 低下者割合（性・年齢階級別）



(単位: %)

設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者の非該当率
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問7-Q1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか【はい】	89.5	84.0	25.4	11.2	10.5
問7-Q2 新聞を読んでいますか【はい】	94.6	85.8	49.6	32.1	11.5
問7-Q3 本や雑誌を読んでいますか【はい】	88.5	72.0	47.1	23.6	20.5
問7-Q4 健康についての記事や番組に関心がありますか【はい】	79.5	89.1	34.4	32.2	9.9

図表 老研式活動能力指標による知的能動性の評価



■高い(4点) □やや低い(3点) □低い(0~2点) ■無回答

(5) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されている（問7-Q5～Q8）。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、評価の「高い」割合は男性29.5%、女性26.2%で男性が3.3ポイント高い。状態別では、一般高齢者61.4%、二次予防対象者41.1%、要支援者12.8%、要介護者1.4%となっている。所得段階別では、第6～11段階38.4%、第5段階36.5%、第1～4段階19.0%となっている。住宅別では、持家33.3%、借家23.3%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし43.9%、同居（三人以上）31.7%、一人暮らし26.8%、配偶者以外と二人暮らし23.5%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

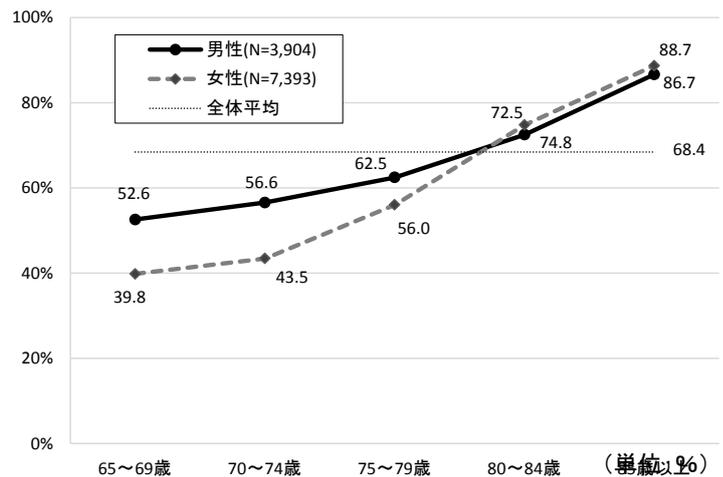
圏域別では、「高い」割合は、神埼北、神埼南、小城南、川副、神埼、城西、大和、吉野ヶ里で3割台とやや高くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

「社会的役割」の尺度で3点以下を低下者とした評価結果をみると、70歳代までは男性の低下者割合が高くなっているものの、80歳代以降では逆に女性の割合が高くなっている。

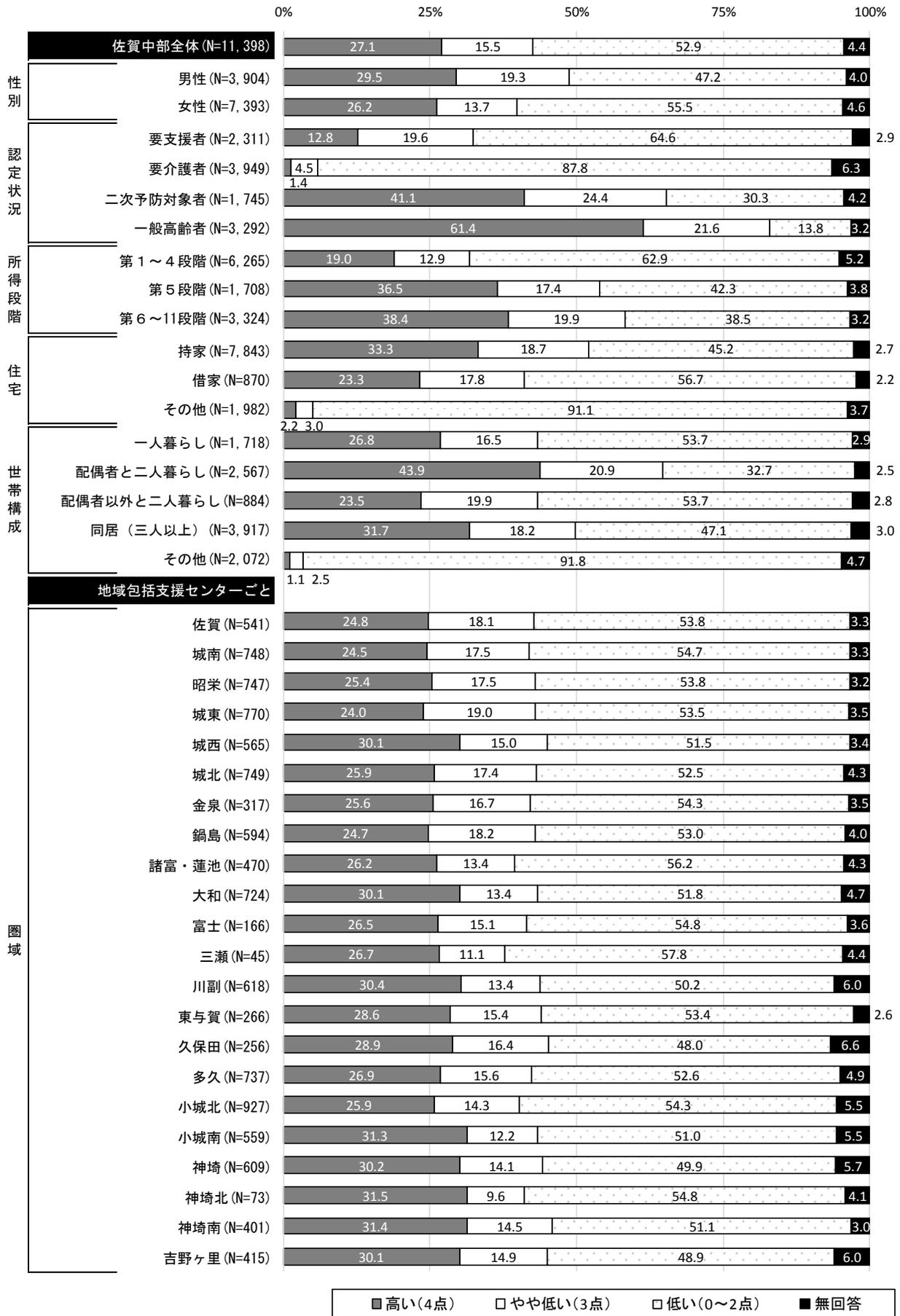
評価の基礎となっている4項目の回答結果をみると、問7-Q8を除いて一般高齢者、二次予防対象者、要支援者、要介護者でその回答結果に顕著な差がみられる。

図表 低下者割合（性・年齢階級別）



設問内容（該当する回答）	非認定者 (N=5,037)		認定者 (N=6,260)		※非認定者と認定者の差
	一般高齢者 (N=3,292)	二次予防対象者 (N=1,745)	要支援者 (N=2,311)	要介護者 (N=3,949)	
問7-Q5 友人の家を訪ねていますか【はい】	61.0		11.2		49.8
	67.9	51.1	24.0	3.6	
問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか【はい】	81.1		27.3		53.8
	87.2	73.2	47.9	15.3	
問7-Q7 病人を見舞うことができますか【はい】	91.7		24.3		67.4
	96.7	87.0	46.5	11.3	
問7-Q8 若い人に自分から話しかけることがありますか【はい】	81.0		50.7		30.3
	85.7	75.0	59.5	45.6	

図表 老研式活動能力指標による社会的役割の評価



V 健康・疾病

1 疾病

(1) 高血圧

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性38.8%、女性41.3%で女性の該当者割合が2.5ポイント高い。状態別では、要支援者46.4%、二次予防対象者42.0%、一般高齢者39.5%、要介護者37.1%となっており、要支援者の割合が比較的高い。所得段階別でみると、第1～4段階41.3%、第5段階39.8%、第6～11段階39.2%となっている。住宅別では、持家41.7%、その他40.3%、借家39.5%となっている。世帯構成別では、一人暮らし及び、配偶者以外と二人暮らしが43.2%と同率、同居（三人以上）42.6%、配偶者と二人暮らし38.8%となっている。

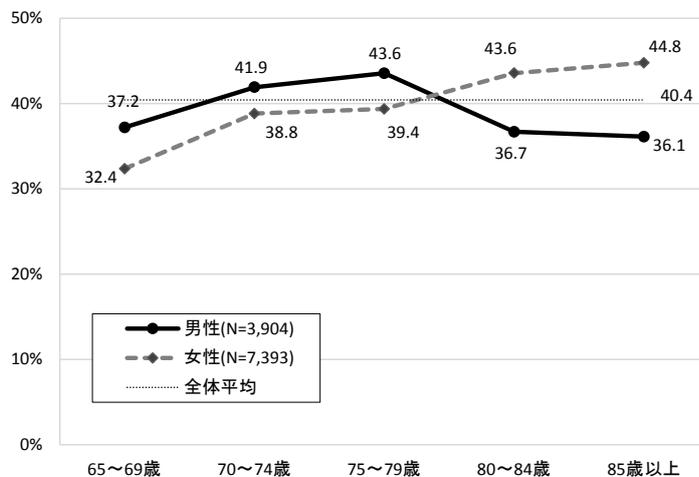
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、富士が50.0%で該当者割合が最も高く、最も低い三瀬の33.3%とは16.7ポイントの差がある。

【佐賀中部の回答状況】

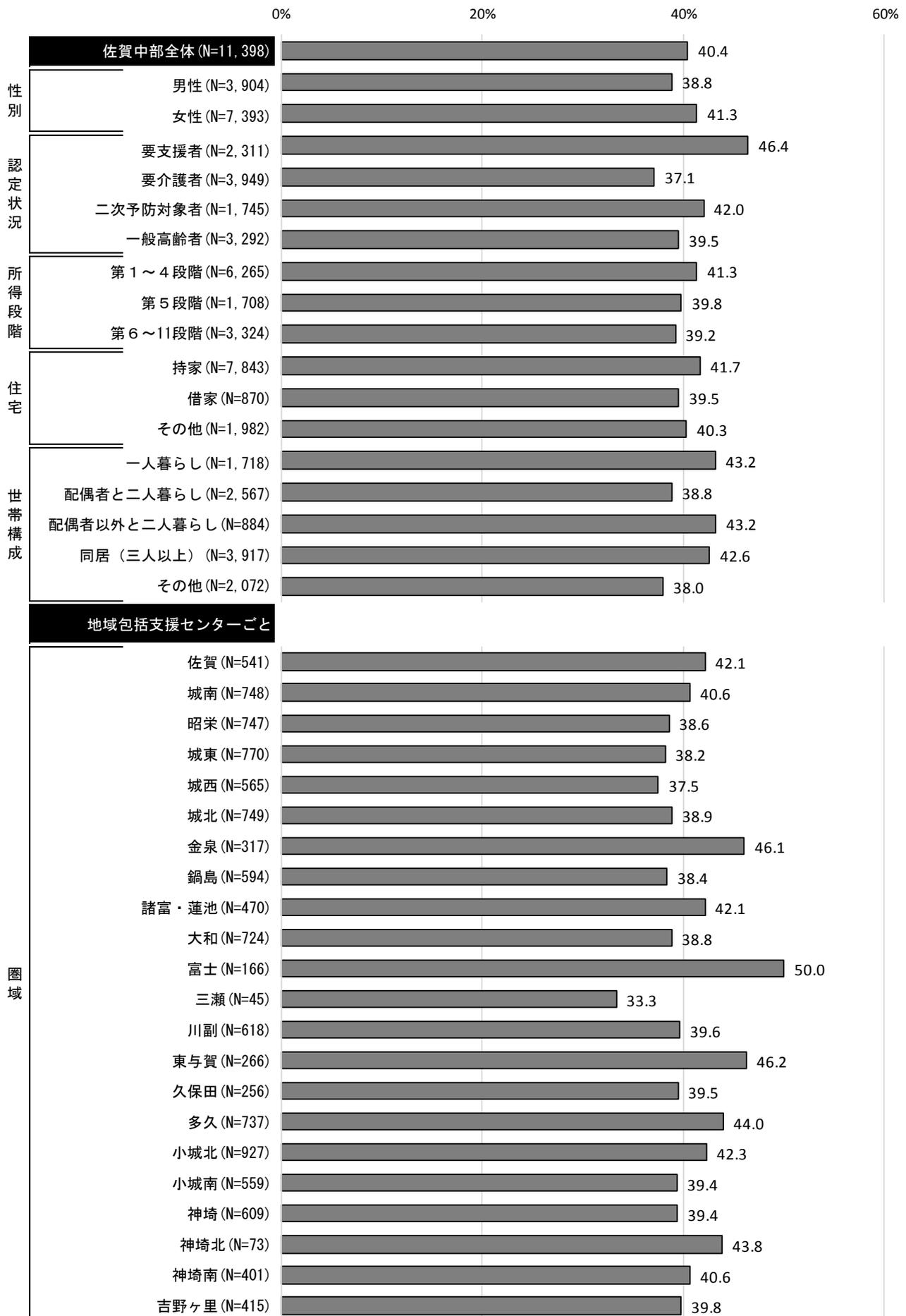
現在治療中、又は後遺症がある病気で最も割合が高い「高血圧」について、現在治療中とする割合(有病率)は、全体で40.4%となっており、女性は概ね年齢が上がるほど高くなっている。

図表 高血圧の有病率（性・年齢階級別）



※有病率：現在治療中とする割合

図表 現在治療中とする病気（高血圧）



(2) 脳卒中

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性14.0%、女性9.7%で男性の該当者割合が4.3ポイント高い。状態別では、要介護者21.6%、要支援者11.1%、二次予防対象者4.3%、一般高齢者2.5%で認定者の割合が高くなっている。所得段階別では、第1～4段階12.8%、第5段階9.4%、第6～11段階9.1%となっている。住宅別では、その他23.0%、借家12.2%、持家8.6%となっている。世帯構成別では、その他23.6%、同居（三人以上）9.5%、配偶者以外と二人暮らし9.0%、一人暮らし8.3%、配偶者と二人暮らし7.4%となっている。

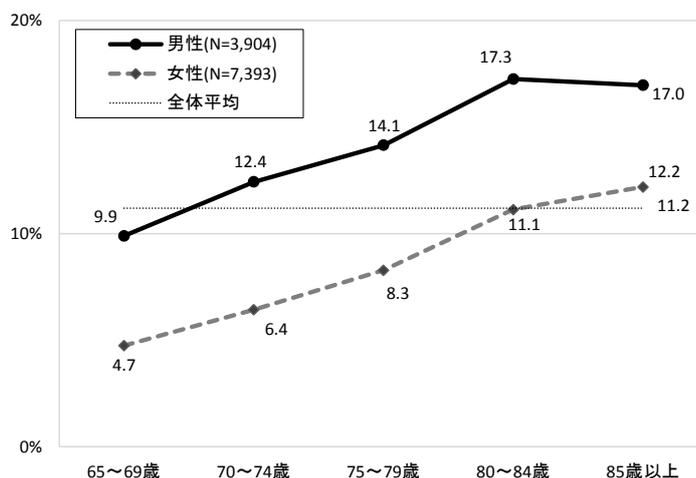
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬15.6%、富士15.1%で該当者割合が高く、東与賀8.3%、神埼8.9%、神埼北9.6%と1割に満たず他圏域に比べて低い。

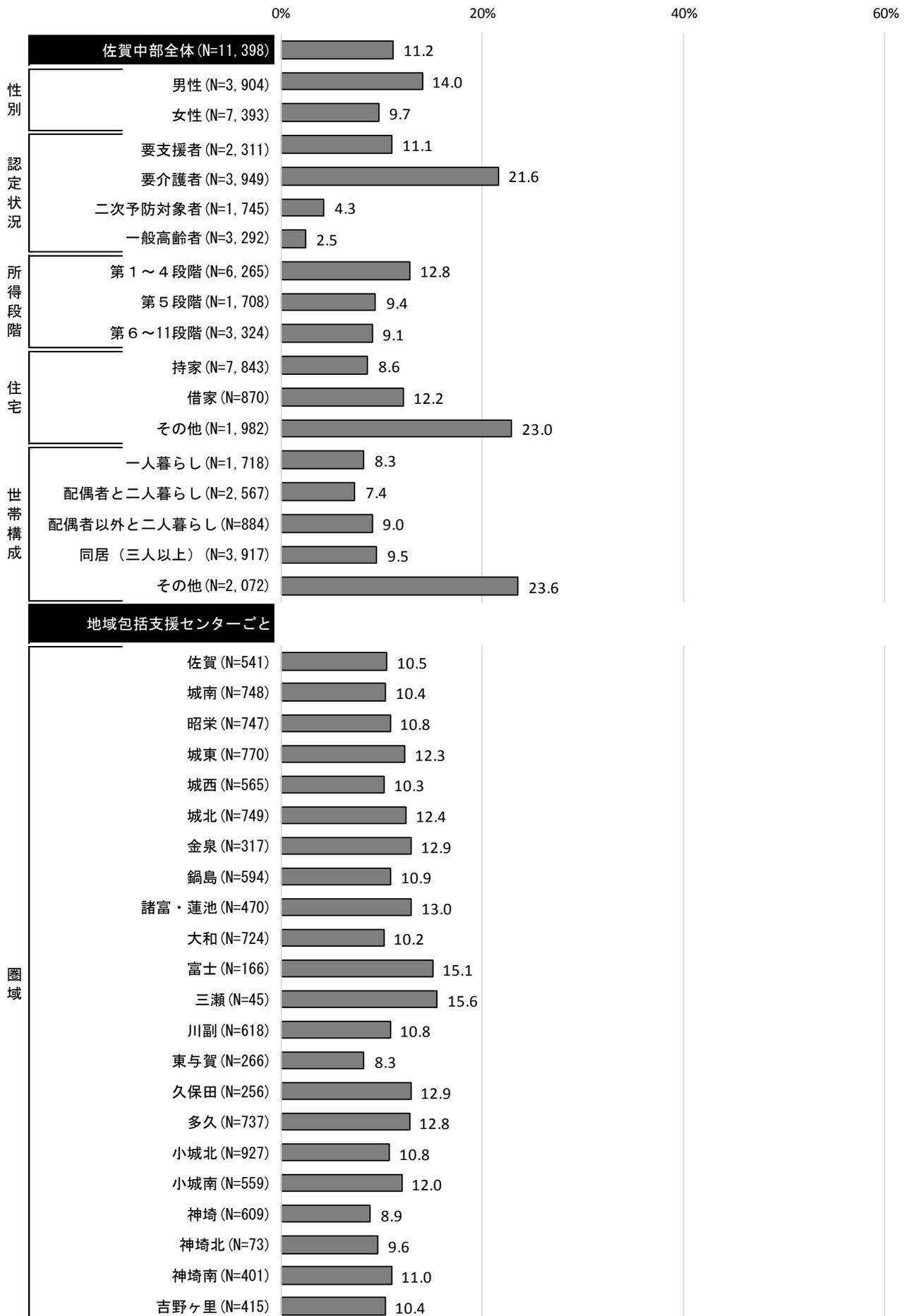
【佐賀中部の回答状況】

要介護の主な原因にもなる「脳卒中」について、現在治療中、又は後遺症がある割合(有病率)は、全体の11.2%となっており、女性より男性の割合が高くなっている。また、女性は年齢が上がるほど高くなっているが、男性は80歳代前半がピークとなっている。

図表 脳卒中の有病率（性・年齢階級別）



図表 現在治療中とする病気（脳卒中）



(3) 心臓病

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性15.0%、女性14.7%で該当者割合がほぼ同じである。状態別では、要介護者19.6%、要支援者19.3%、二次予防対象者12.0%、一般高齢者7.3%で認定者の割合が高くなっている。所得段階別では、第1～4段階16.3%、第6～11段階13.2%、第5段階12.4%となっている。住宅別では、その他20.1%、借家と持家が14.1%で同率となっている。世帯構成別では、その他20.7%、配偶者以外と二人暮らし16.0%、同居（三人以上）14.7%、一人暮らし14.0%、配偶者と二人暮らし11.4%となっている。

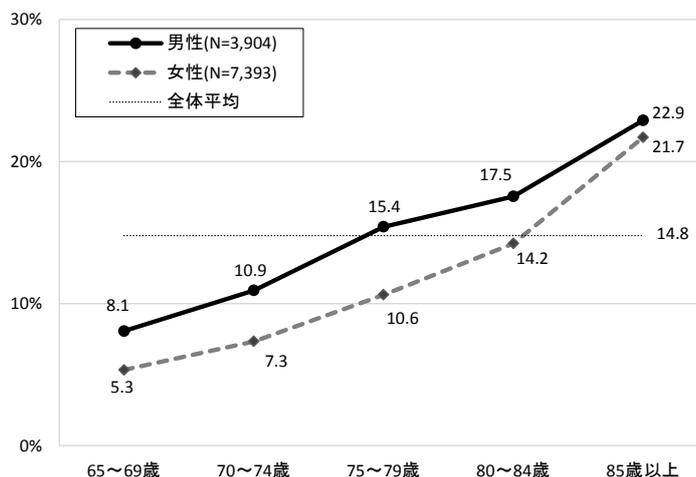
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、富士19.3%、多久18.2%で該当者割合が高く、小城北と神埼北が12.3%で他圏域と比べて比較的低い。

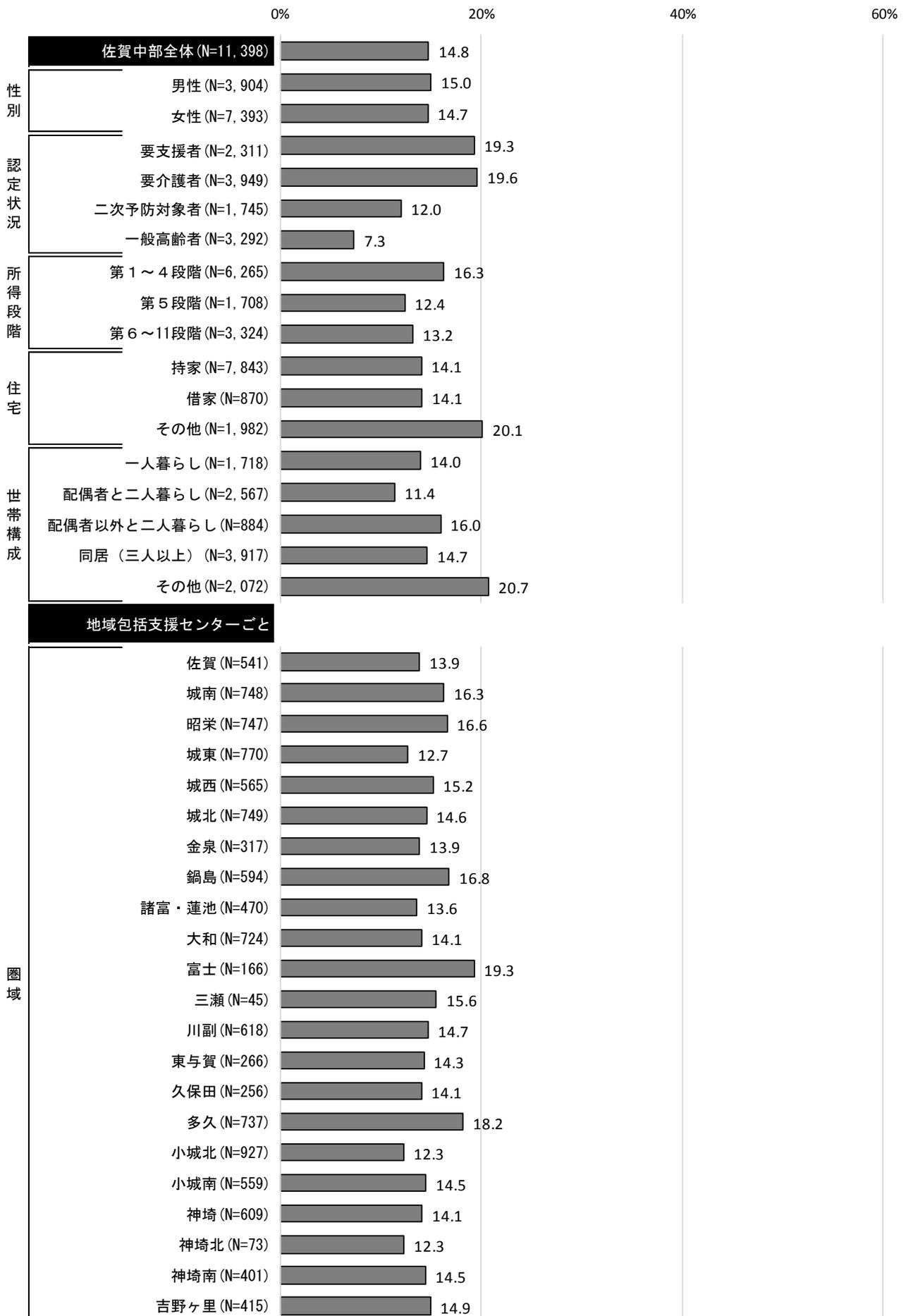
【佐賀中部の回答状況】

内臓疾患で要介護の原因にもなる「心臓病」について、現在治療中、又は後遺症がある割合（有病率）は全体の該当者割合で14.8%となっており、年齢が上がるほど高くなっている。また、女性より男性の割合が高くなっている。

図表 心臓病の有病率（性・年齢階級別）



図表 現在治療中とする病気（心臓病）



(4) 糖尿病

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性18.0%、女性11.1%で男性の該当者割合が6.9ポイント高い。状態別では、二次予防対象者16.8%、要支援者13.4%、一般高齢者12.8%、要介護者12.6%となっており、二次予防対象者の割合が高くなっている。所得段階別では、第6～11段階15.6%、第5段階13.1%、第1～4段階12.4%となっている。住宅別では、借家15.9%、持家13.7%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし15.7%、同居（三人以上）14.7%、配偶者以外と二人暮らし12.1%、その他11.4%、一人暮らし11.2%となっている。

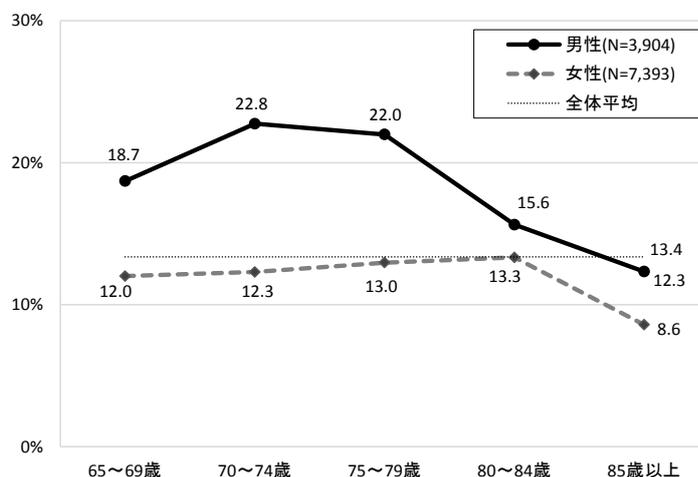
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、吉野ヶ里17.8%、金泉17.4%で該当者割合が高く、川副10.5%、城南10.6%は他圏域と比べて比較的低い。

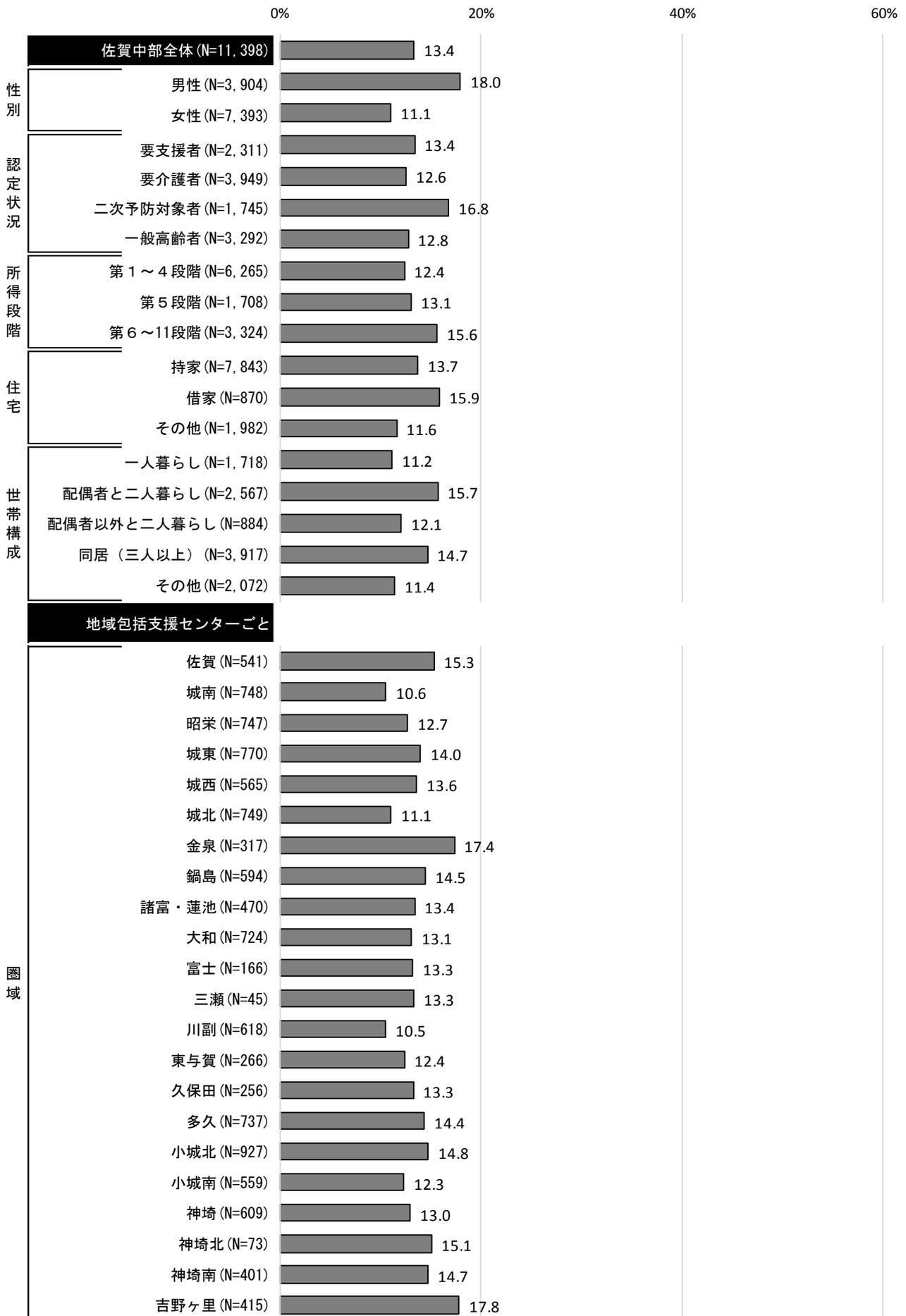
【佐賀中部の回答状況】

内臓疾患で要介護の原因にもなる「糖尿病」について、現在治療中、又は後遺症がある割合(有病率)は全体の13.4%となっており、女性より男性の割合が高くなっている。年齢別にみると、男性では概ね年齢が上がるほど有病率は低くなる傾向がみられる。一方、女性では年齢が上がるにつれてわずかに増加がみられるが、85歳以上で低くなっている。

図表 糖尿病の有病率（性・年齢階級別）



図表 現在治療中とする病気（糖尿病）



(5) 筋骨格系疾患

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性7.8%、女性24.5%で女性の該当者割合が16.7ポイント高い。状態別では、要支援者32.9%、二次予防対象者19.9%、要介護者17.9%、一般高齢者9.1%となっており、要支援者の割合が高い。所得段階別では、第1～4段階22.1%、第5段階20.6%、第6～11段階11.4%となっている。住宅別では、持家19.4%、借家19.0%となっている。世帯構成別では、一人暮らし26.7%、配偶者以外と二人暮らし25.3%、同居（三人以上）18.7%、その他16.9%、配偶者と二人暮らし13.8%となっている。

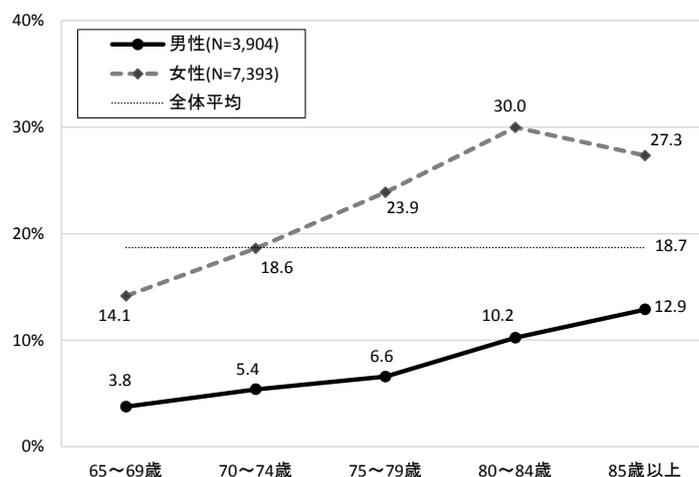
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、東与賀23.7%で該当者割合が最も高く、最も低い金泉の13.6%とは10ポイント以上の差がある。

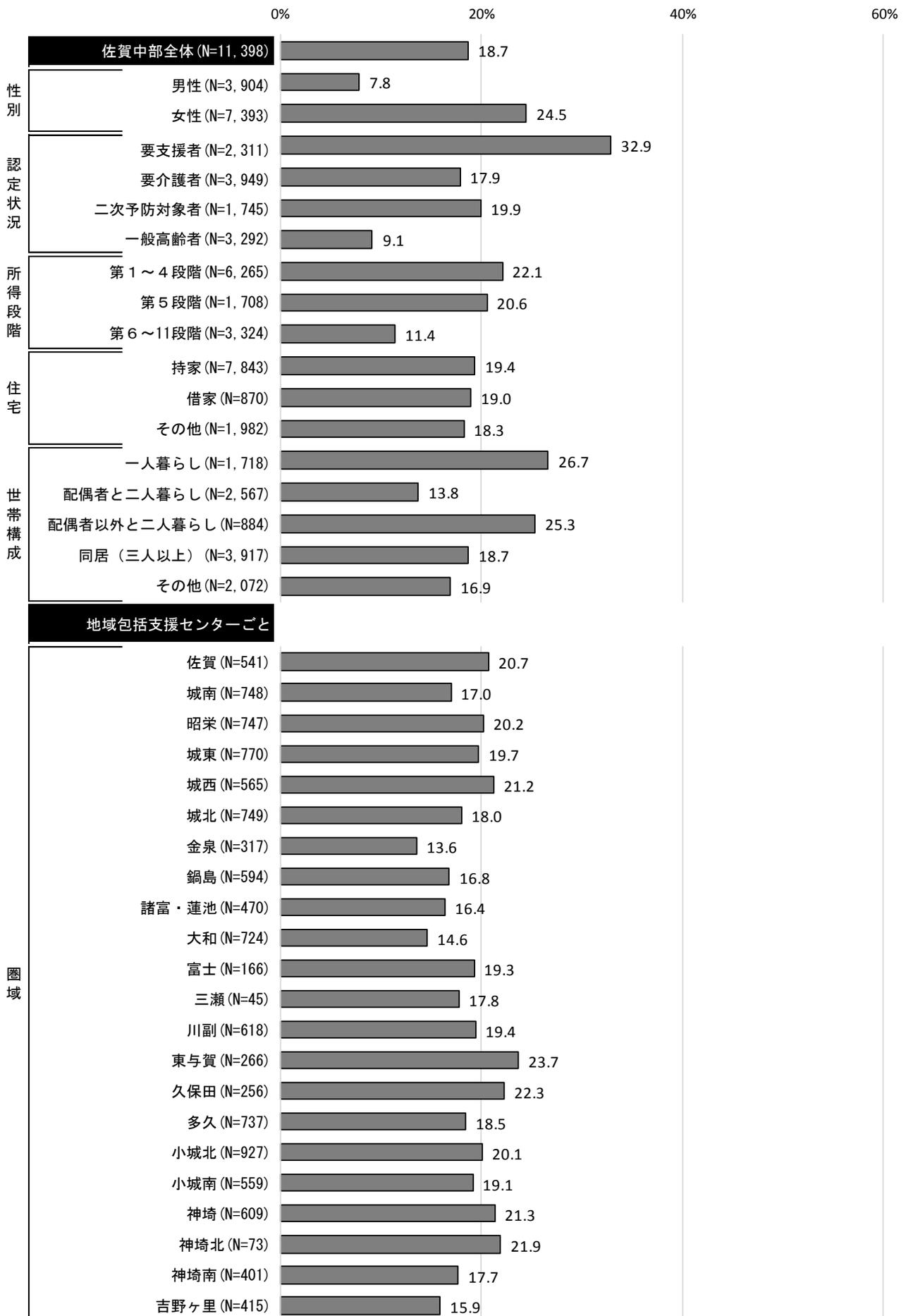
【佐賀中部の回答状況】

要介護の原因にもなる関節リュウマチを含む「筋骨格系」疾患の現在治療中、又は後遺症がある割合(有病率)について、全体の18.7%となっている。男性より女性が高く、また、年齢が上がるほど高くなっているが、女性は80歳代前半がピークになっている。

図表筋骨格系疾患の有病率（性・年齢階級別）



図表 現在治療中とする病气（筋骨格系疾患）



(6) がん（新生物）

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性5.8%、女性3.4%で男性の該当者割合が2.4ポイント高い。状態別では、二次予防対象者6.2%、要支援者5.5%、一般高齢者3.5%、要介護者3.4%となっている。所得段階別では、第6～11段階5.3%、第5段階4.8%、第1～4段階3.6%となっている。住宅別では、借家5.5%、持家4.5%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし5.2%、一人暮らしと同居（三人以上）4.7%が同率、その他2.8%、配偶者以外と二人暮らし2.7%となっている。

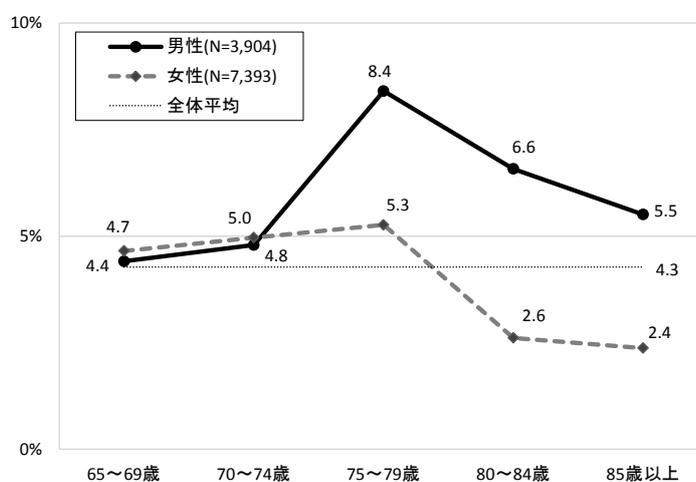
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、富士が9.0%で該当者割合が最も高く、他圏域は6.0%以下である。

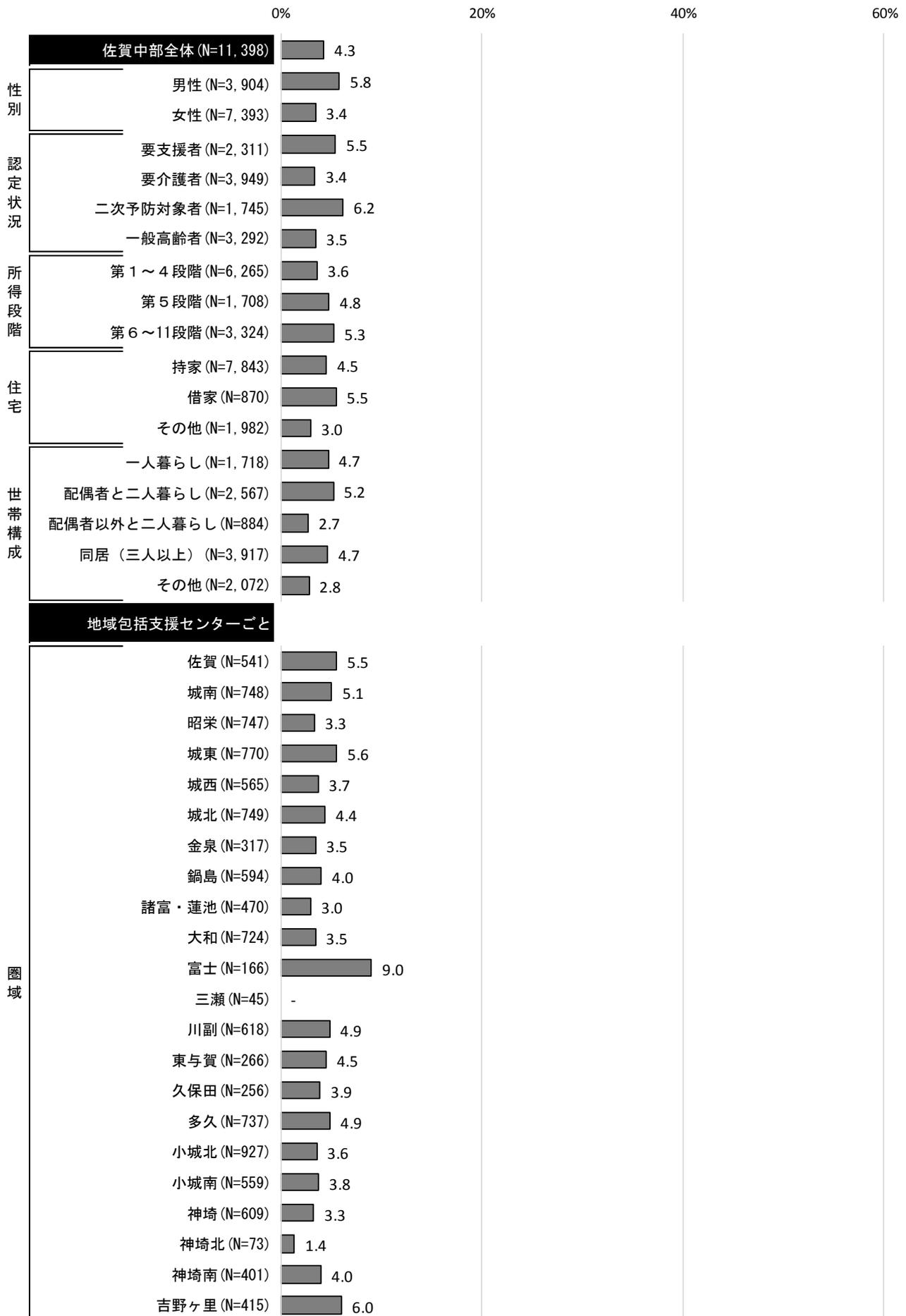
【佐賀中部の回答状況】

要介護の原因にもなる「がん」の現在治療中、又は後遺症がある割合（有病率）について、全体で4.3%となっており、女性より男性が高く、また、男女とも70歳代後半で有病率が最も高くなっている。

図表がんの有病率（性・年齢階級別）



図表 現在治療中とする病気（がん）



2 自分の健康感

主観的健康感とは、高齢者が日常生活をおくる上での健康感「(とても・まあまあ)健康から(あまり)健康でない」を調査したもので、QOL(生活の質)の指標ともなっている。問8-Q1で「(とても・まあまあ)健康」とする肯定的回答を「健康群」、「(あまり)健康でない」とする否定的回答を「不健康群」として評価した。

【佐賀中部広域連合の現状】

「とても健康」と回答した割合について性別では、男性10.2%、女性7.0%で男性の該当者割合が3.2ポイント高い。状態別では、一般高齢者16.4%、二次予防対象者5.2%、要介護者5.0%、要支援者3.8%となっており、一般高齢者の割合が高くなっている。住宅別では、持家8.6%、借家8.2%、その他5.2%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし11.0%、同居(三人以上)8.5%、配偶者以外と二人暮らし7.8%、一人暮らし7.0%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬11.1%、久保田10.9%で「とても健康」とする割合が1割を超えて高いが、金泉5.7%、大和5.9%で低い。

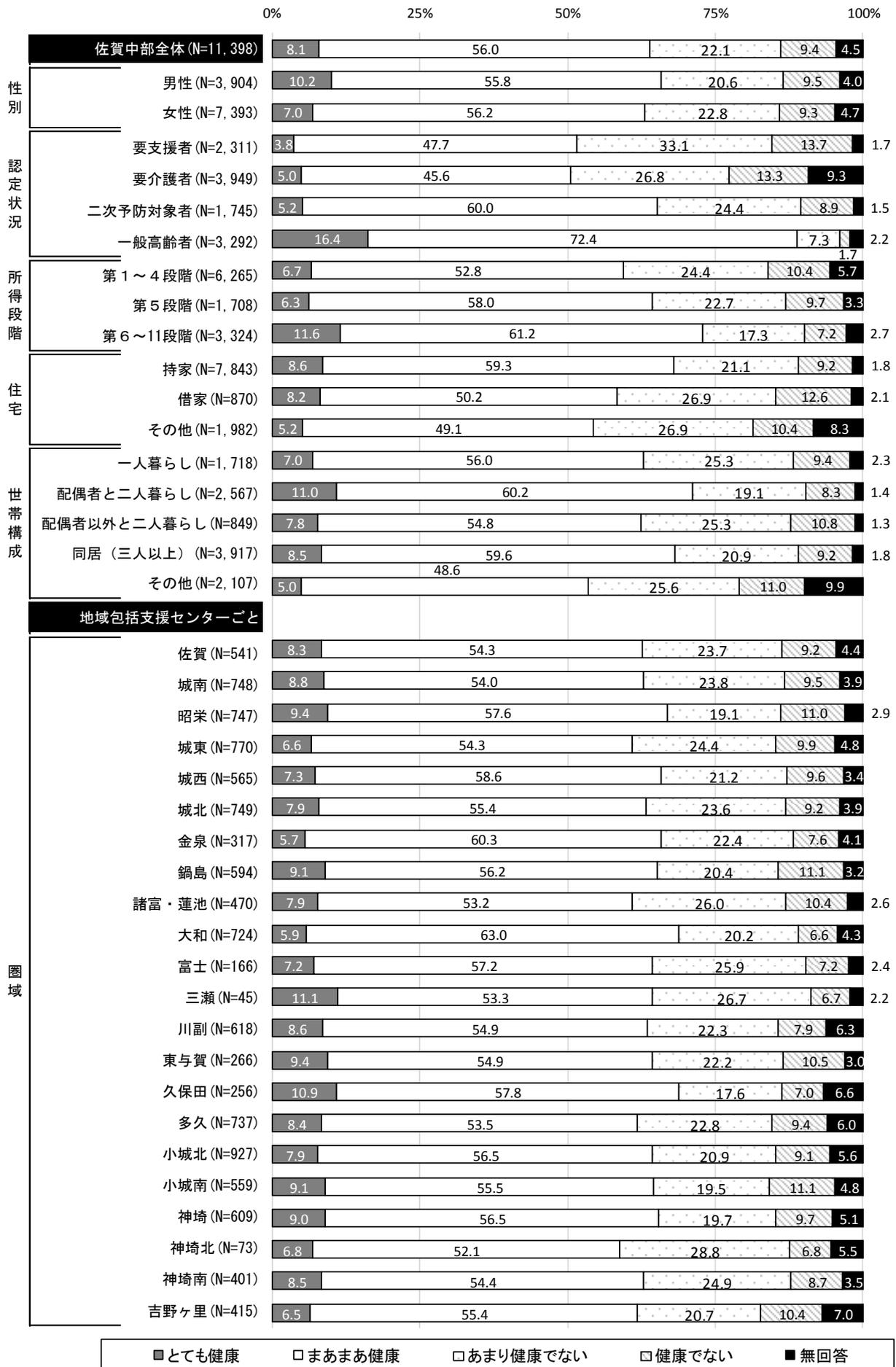
【佐賀中部の回答状況】

主観的健康感に関連する各設問に対する回答を、「健康群」と「不健康群」別にみると、両者で差が大きいのは、問8-Q5・Q10~Q12・Q14となっており、服薬状況や抑うつ感が主観的健康感と関連していることがうかがえる。

(単位:%)

設問内容(該当する回答)	健康群(N=7,297)		不健康群(N=3,587)		※健康群と不健康群の差
	とても健康(N=918)	まあまあ健康(N=6,379)	あまり健康でない(N=2,519)	健康でない(N=1,068)	
問1-Q4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか【「ややゆとりがある」又は「ゆとりがある」】	42.5		33.1		9.4
	46.2	42.0	33.9	30.9	
問7-Q4 健康についての記事や番組に関心がありますか【はい】	73.8		60.6		13.2
	76.7	73.3	63.0	54.9	
問8-Q5 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか【3種類以下】	57.6		28.1		29.5
	71.6	55.5	30.5	22.5	
問8-Q6 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。【いいえ】	20.8		14.7		6.1
	34.0	18.9	14.1	16.1	
問8-Q10 (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない【いいえ】	78.7		54.0		24.7
	82.0	78.2	59.3	41.6	
問8-Q11 (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった【いいえ】	85.5		58.3		27.2
	91.3	84.7	63.9	45.0	
問8-Q12 (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる【いいえ】	74.9		43.4		31.5
	86.2	73.3	47.6	33.3	
問8-Q13 (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない【いいえ】	81.9		59.3		22.6
	87.1	81.1	65.5	44.7	
問8-Q14 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする【いいえ】	78.4		47.8		30.6
	89.5	76.8	52.8	36.1	

図表 自分の健康感



VI 介護

1 介護・介助状態になった主な原因

介護・介助状態になった原因の調査結果の基本データは、調査票回収者11,398人（男性:3,904人、女性:7,393人、不明:101人）の内、問1-Q2「普段の生活で介護・介助が必要か」との間に、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した5,380人（男性:1,352人、女性:3,944人、不明:84人）と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した570人（男性:197人、女性:369人、不明:4人）を合計した数値5,950人（男性:1,549人、女性:4,313人、不明:88人）を分析した。

図表 介護・介助になった主な原因（性別）

	合計	脳卒中	心臓病	がん（新生物）	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害
男性	1,549	476	191	137	151	115	441	64	200	120
	100.0	30.7	12.3	8.8	9.7	7.4	28.5	4.1	12.9	7.7
女性	4,313	698	478	147	180	565	1,656	125	319	318
	100.0	16.2	11.1	3.4	4.2	13.1	38.4	2.9	7.4	7.4
全体	5,950	1,187	678	285	331	688	2,138	191	521	444
	100.0	19.9	11.4	4.8	5.6	11.6	35.9	3.2	8.8	7.5

総計には、男性と女性の合計数に性別不明者の回答数を加えています。

(1) 脳卒中

【佐賀中部広域連合の現状】

「脳卒中」が原因で介護・介助状態になったのは、全体で19.9%となっている。性別では、男性30.7%、女性16.2%で男性の該当者割合が14.5ポイント高い。状態別では、要介護者24.6%、要支援者12.7%、一般高齢者11.0%、二次予防対象者9.8%となっている。所得段階別では、第6～11段階22.4%、第1～4段階19.5%、第5段階19.4%となっている。住宅別では、その他26.5%、借家20.5%、持家16.3%となっている。世帯構成別では、その他26.9%、配偶者と二人暮らし20.7%、同居（三人以上）17.6%、配偶者以外と二人暮らし13.2%、一人暮らし13.0%となっている。

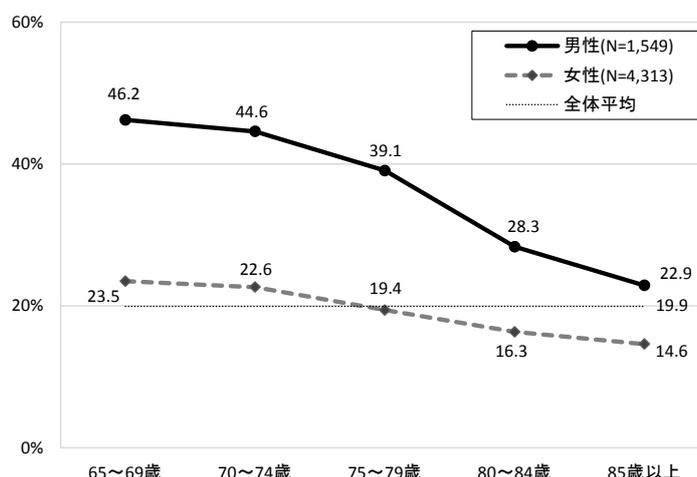
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬が26.9%で該当者割合が最も高く、東与賀・神埼・神埼北の15.0%は他圏域と比べて低い。

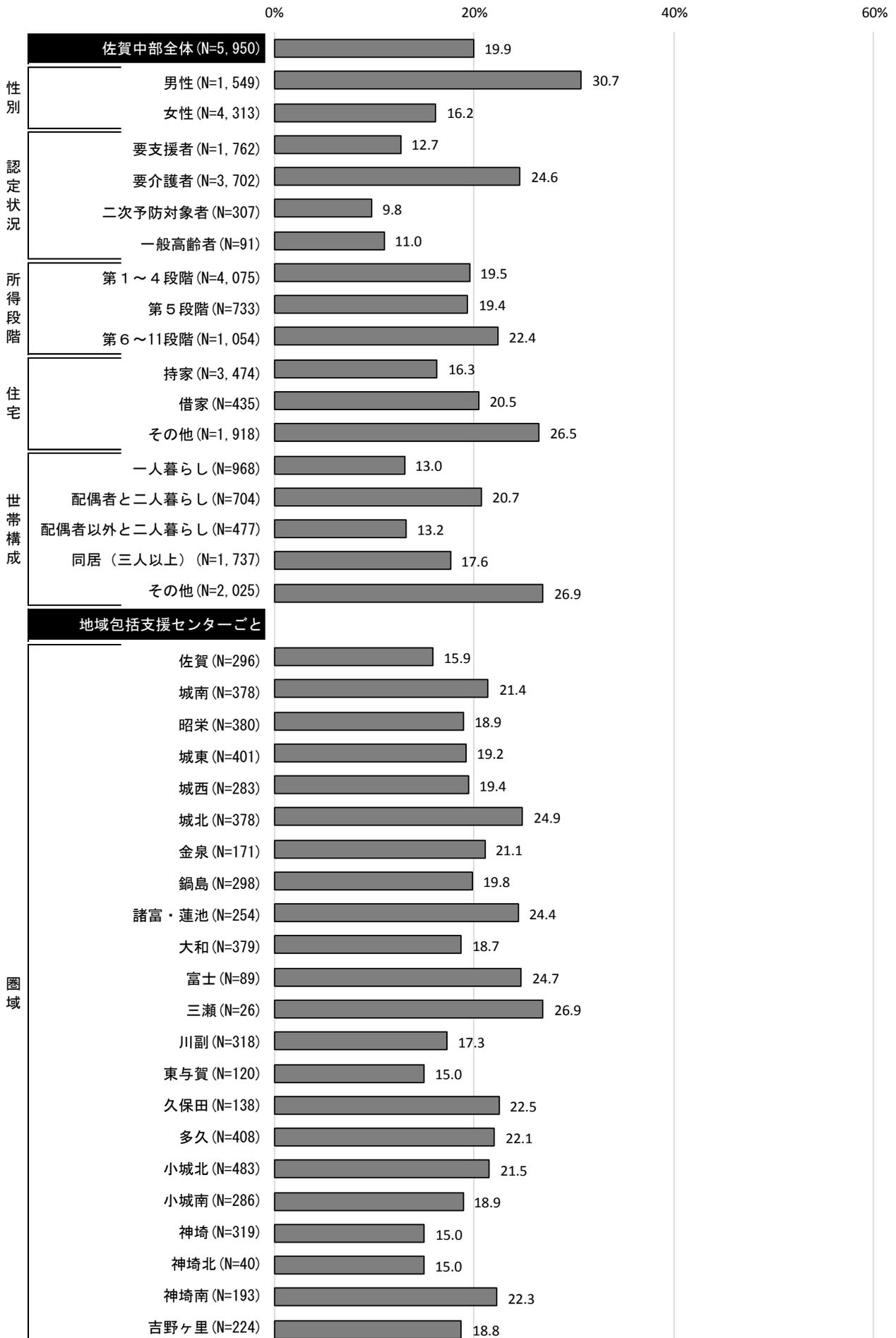
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因で多い「脳卒中」について、全体で19.9%となっており、女性に比べ男性の割合が高いが、ともに年齢が上がるほど低くなっている。

図表 脳卒中（性・年齢階級別）



図表 介護・介助状態になった原因（脳卒中）



(2) 認知症

【佐賀中部広域連合の現状】

「認知症」が原因で介護・介助状態になったのは、全体で35.9%となっている。性別では、男性28.5%、女性38.4%で女性の該当者割合が9.9ポイント高い。状態別では、要介護者49.3%、要支援者14.2%、一般高齢者7.7%、二次予防対象者4.2%となっており、要介護者の割合が高い。所得段階別では、第1～4段階38.0%、第6～11段階33.9%、第5段階26.3%となっている。住宅別では、その他54.6%、持家26.6%、借家26.2%となっている。世帯構成別では、その他56.9%、同居（三人以上）27.7%、配偶者以外と二人暮らし25.2%、一人暮らし23.9%、配偶者と二人暮らし20.6%となっている。

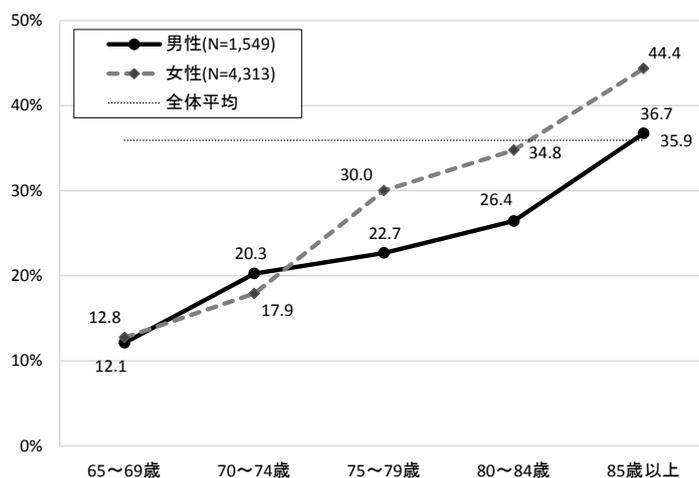
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、東与賀が46.7%で該当者割合が最も高く、三瀬が23.1%で最も低い。

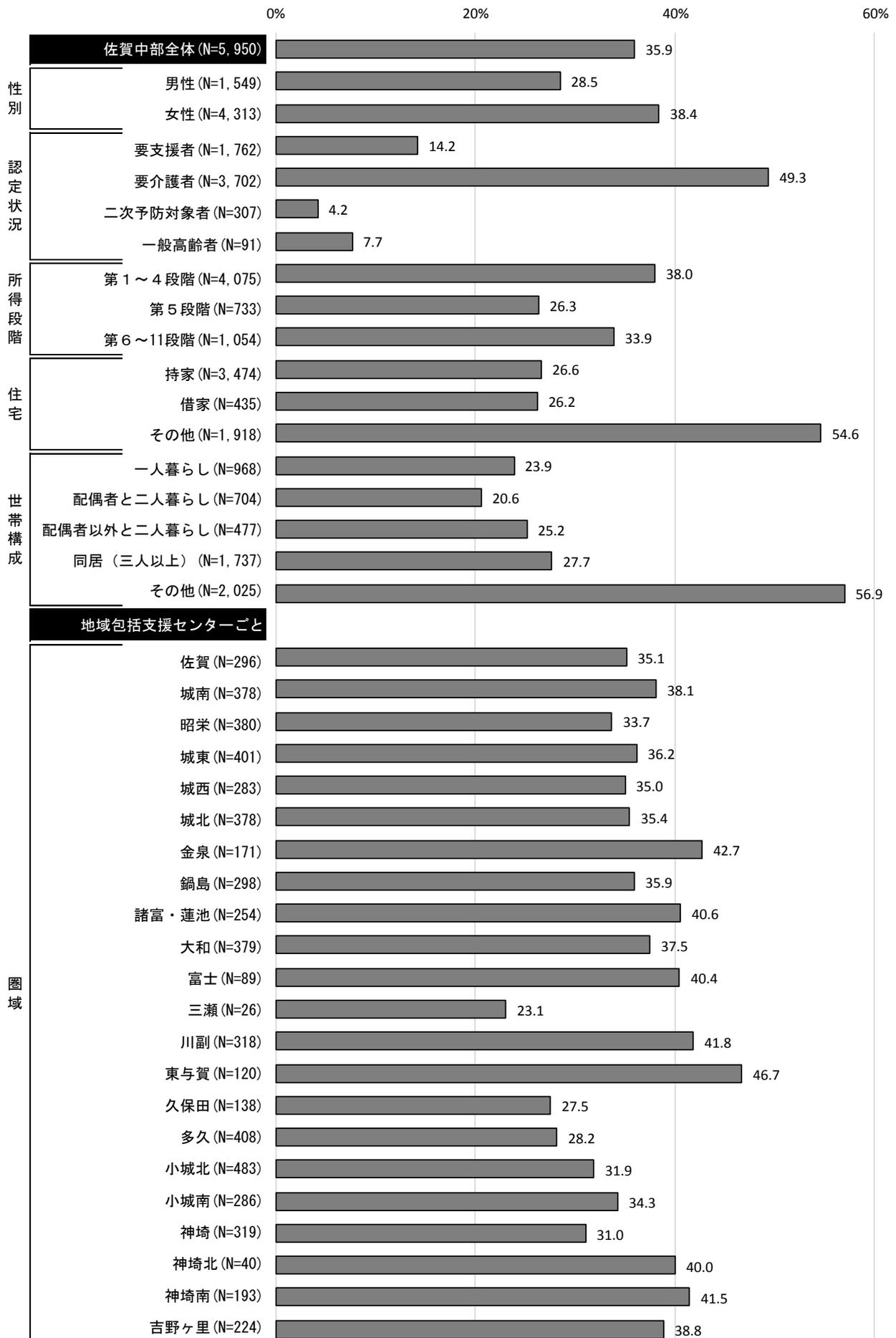
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因の上位に位置する「認知症」について、全体で35.9%となっており、男女とも年齢が上がるほど高くなっている。

図表 認知症（性・年齢階級別）



図表 介護・介助状態になった原因（認知症）



(3) 骨折等

【佐賀中部広域連合の現状】

「骨折等」が原因で介護・介助状態になったのは、全体で26.8%となっている。性別では、男性14.7%、女性31.1%で女性の該当者割合が16.4ポイント高い。状態別では、要支援者28.8%、要介護者27.3%、二次予防対象者14.0%、一般高齢者7.7%となっている。所得段階別では、第1～4段階29.0%、第5段階24.1%、第6～11段階19.9%となっている。住宅別では、その他27.3%、持家26.9%、借家24.1%となっている。世帯構成別では、一人暮らし32.0%、配偶者以外と二人暮らし31.7%、同居（三人以上）26.9%、その他26.1%、配偶者と二人暮らし17.9%となっている。

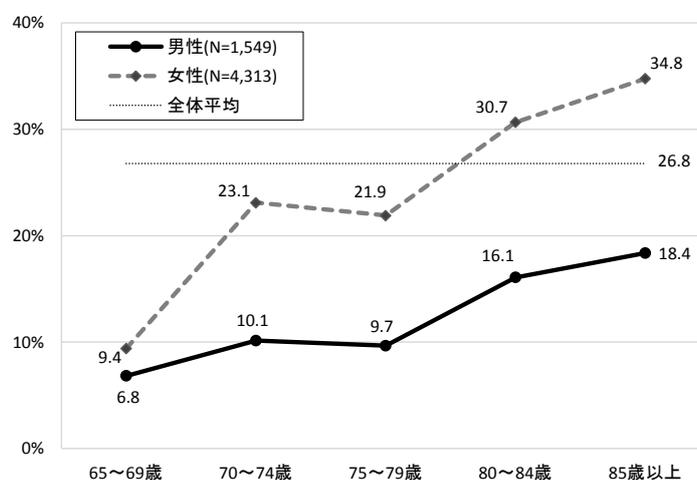
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、城西が31.4%で該当者割合が最も高い。

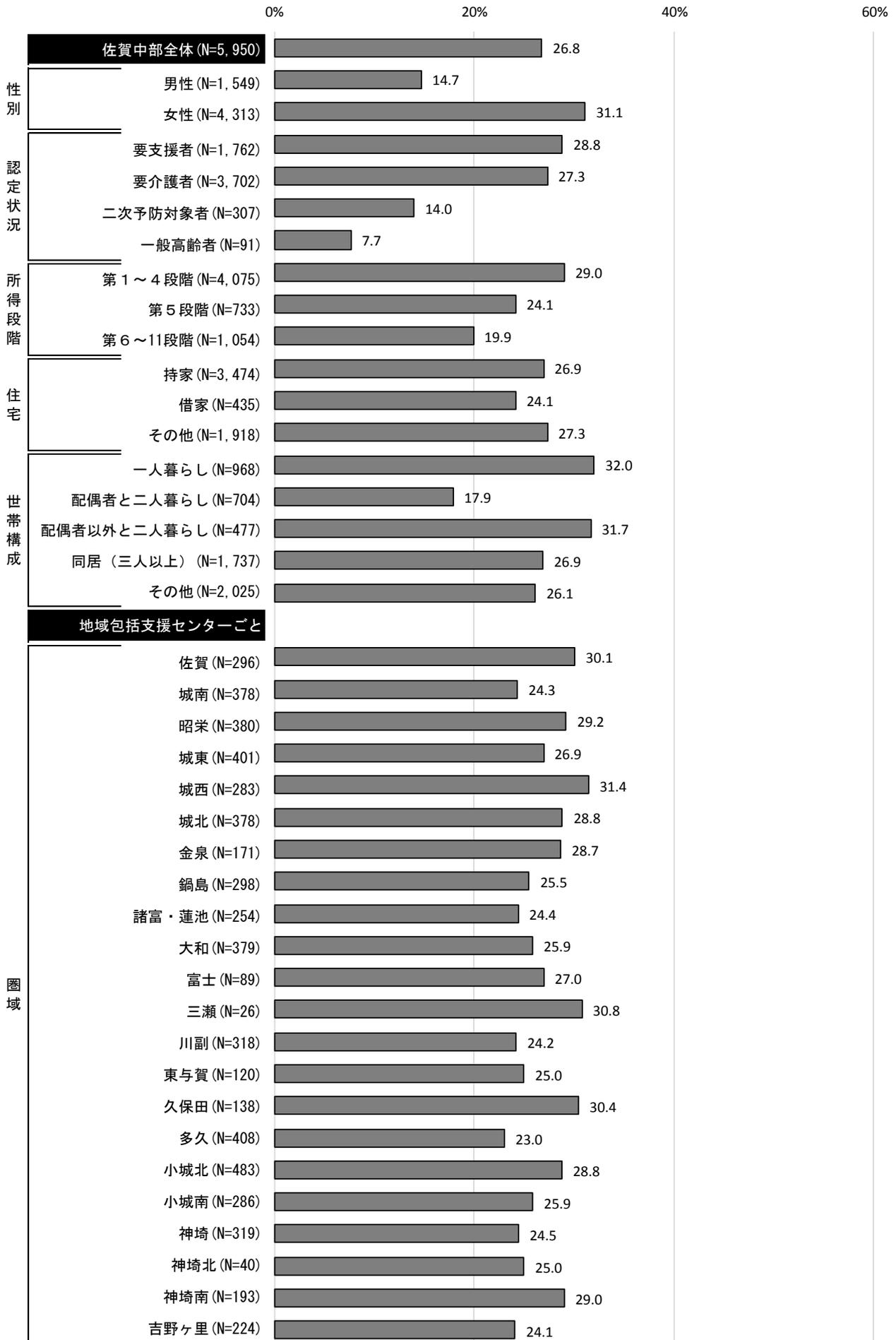
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因の上位にある「骨折等」について、男女ともに概ね年齢が上がるほど高くなっている。

図表 骨折等（性・年齢階級別）



図表 介護・介助状態になった原因（骨折等）



2 介護の状況

(1) 介護の必要性

【佐賀中部広域連合の現状】

介護の必要性について性別では、男性39.6%、女性58.3%で女性の該当者割合が18.7ポイント高い。状態別では、要介護者93.8%、要支援者76.2%、二次予防対象者17.6%、一般高齢者2.8%となっている。所得段階別では、第1～4段階65.0%、第5段階42.9%、第6～11段階31.7%となっている。住宅別では、その他96.8%、借家50.0%、持家44.3%となっている。世帯構成別では、その他96.1%、一人暮らし56.3%、配偶者以外と二人暮らし56.2%、同居（三人以上）44.4%、配偶者と二人暮らし27.4%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬が57.8%で該当者割合が最も高い。

【佐賀中部の回答状況】

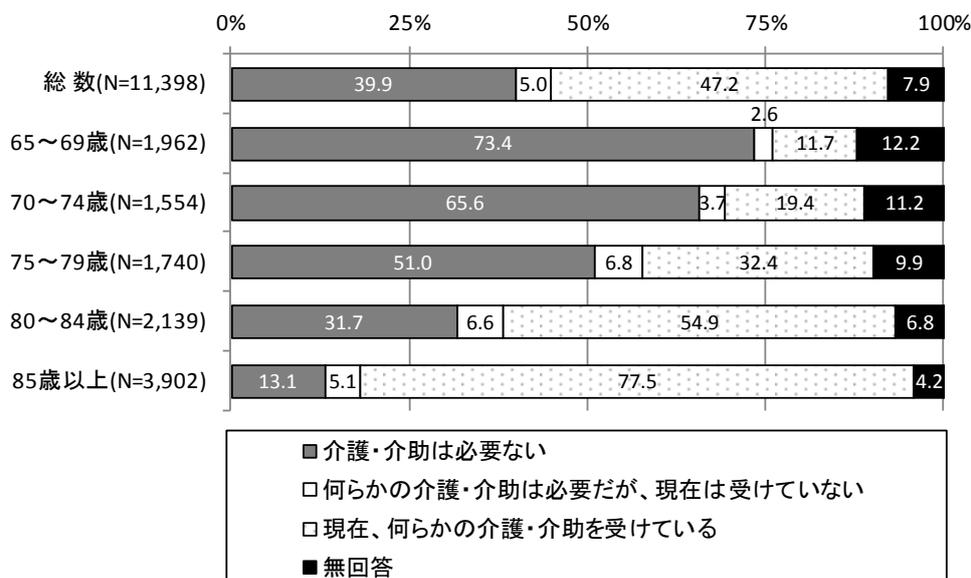
介護の必要性に関する設問（問1-Q2）に対する回答結果をみると、年齢が上がるほど「介護を受けている」「必要だが現在は受けていない」の割合が高くなっている。

（調査票 設問）

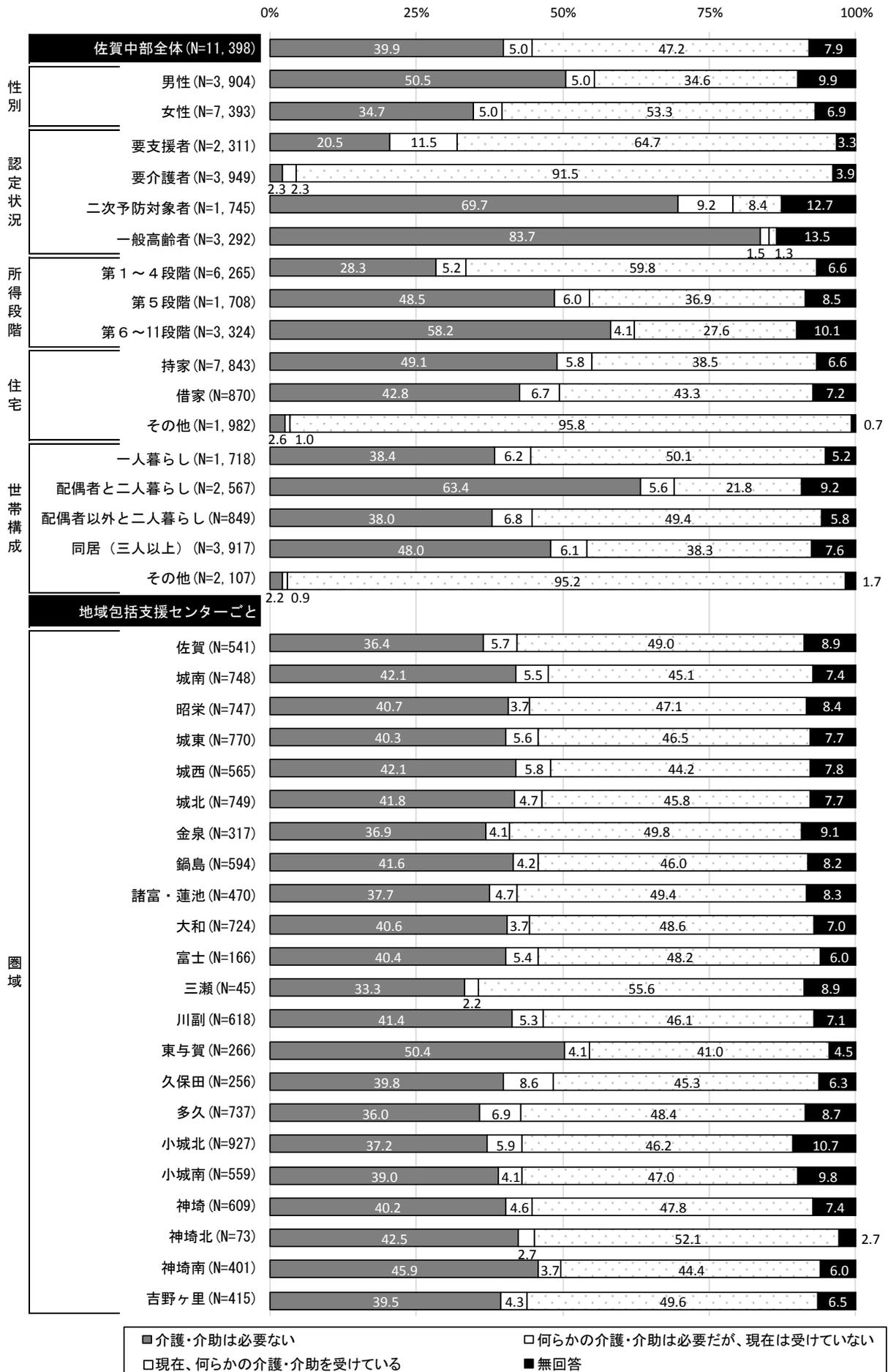
問1-Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている

図表 介護の必要性（年齢階級別）



図表 介護の必要性



(2) 介護者（主にどなたの介護・介助を受けているか）

介護者の調査結果の基本データは、調査回答者11,398人（男性:3,904人、女性:7,393人、不明:101人）の内、問1-Q2「普段の生活で介護・介助が必要か」との間に、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した5,380人（男性:1,352人、女性:3,944人、不明:84人）を分析した。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別では、男性は配偶者36.4%、介護サービスのヘルパー18.4%となっており、女性は介護サービスのヘルパー21.3%、娘16.0%となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

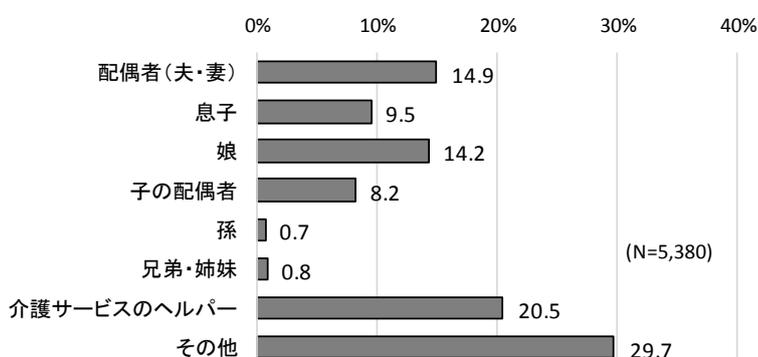
圏域別では、介護サービスのヘルパーの割合が三瀬では56.0%で半数を超える。

【佐賀中部の回答状況】

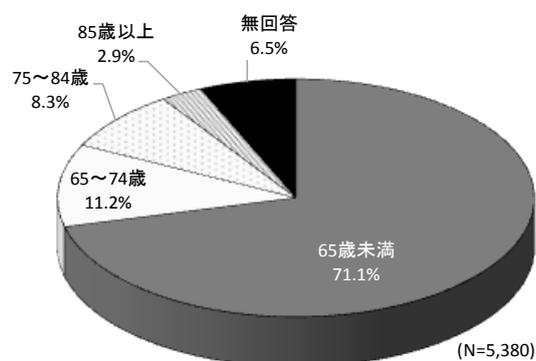
「介護を受けている」と回答した者の介護者は、介護サービスのヘルパー20.5%が最も高く、次いで配偶者（夫・妻）14.9%、娘14.2%となっている。

介護者の年齢は、65歳未満が71.1%で最も高く、次いで65～74歳11.2%、75～84歳8.3%、85歳以上2.9%となっている。

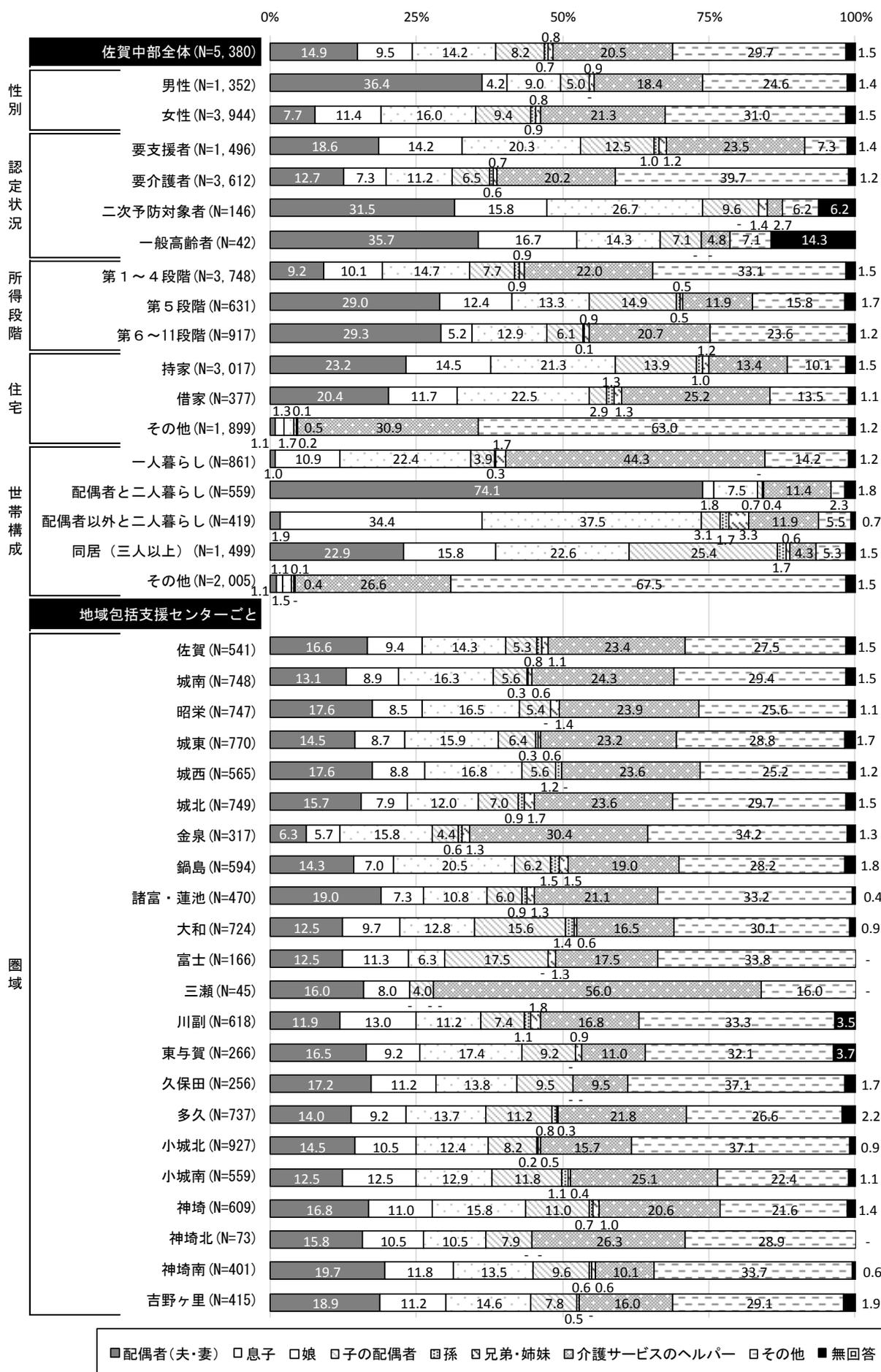
図表 介護者



図表 介護者の年齢



図表 主な介護者

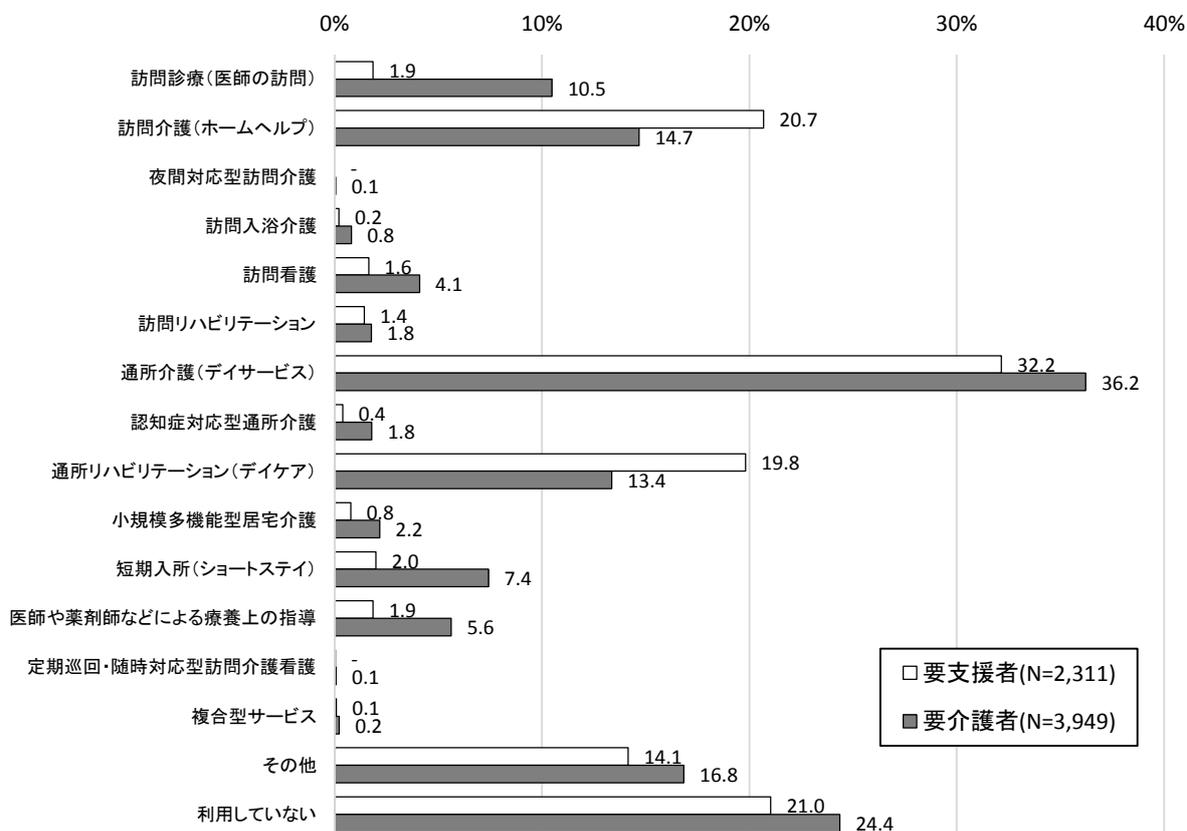


(3) 利用している在宅サービス

【佐賀中部広域連合の現状】

要介護認定者が利用している在宅サービスでは、要介護者、要支援者ともに「通所介護（デイサービス）」が最も高く、次いで、「訪問介護（ホームヘルプ）」となっている。

図表 利用している在宅サービス
(要介護・要支援別)



【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、ほとんどの圏域で「通所介護（デイサービス）」が1位となる中で、三瀬では「小規模多機能型居宅介護短期入所（ショートステイ）」が1位となっている。また、2位、3位にはどの圏域でも、「訪問介護（ホームヘルプ）」、「通所リハビリテーション（デイケア）」が多くみられるが、富士の同率2位に「短期入所（ショートステイ）」、金泉、東与賀の第3位に「訪問診療（医師の訪問）」があがっている。

図表 利用している在宅サービス（圏域別）

（単位：％）

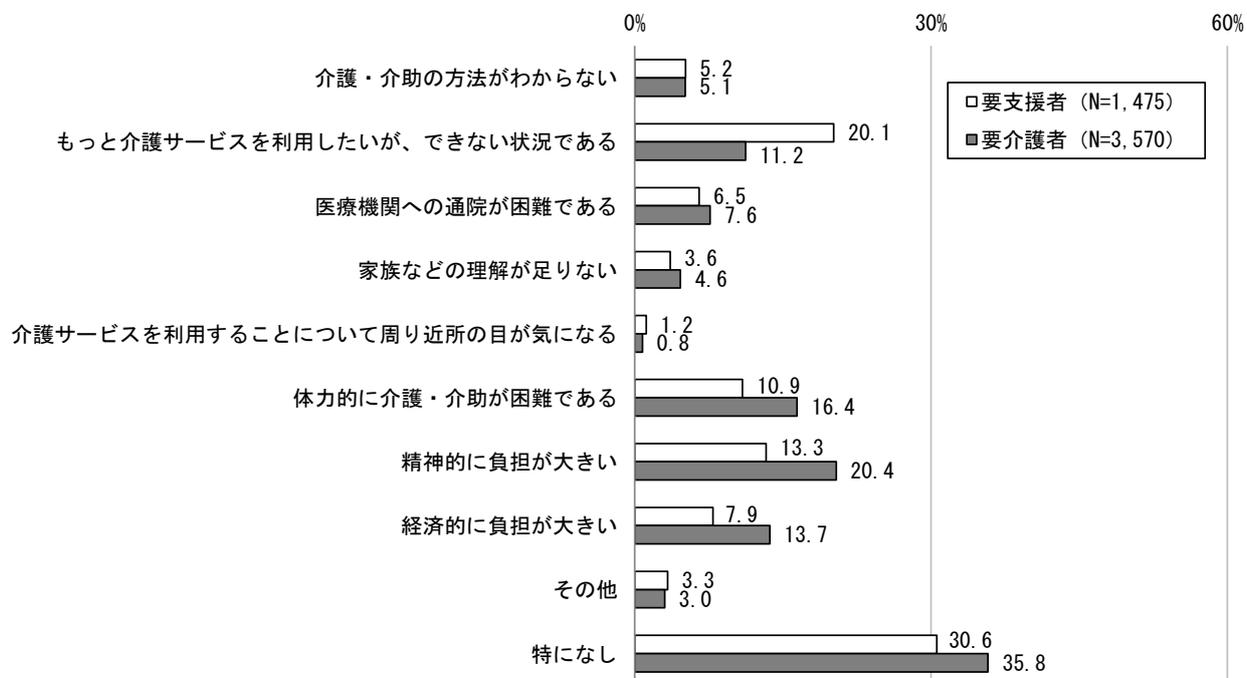
	1位		2位		3位	
全体	通所介護（デイサービス）	19.5	訪問介護（ホームヘルプ）	9.5	通所リハビリテーション（デイケア）	8.8
1 佐賀	通所介護（デイサービス）	17.2	訪問介護（ホームヘルプ）	16.1	通所リハビリテーション（デイケア）	9.2
2 城南	通所介護（デイサービス）	18.7	訪問介護（ホームヘルプ）	9.8	通所リハビリテーション（デイケア）	7.5
3 昭栄	通所介護（デイサービス）	19.7	訪問介護（ホームヘルプ）	14.3	通所リハビリテーション（デイケア）	6.2
4 城東	通所介護（デイサービス）	18.2	訪問介護（ホームヘルプ）	11.7	通所リハビリテーション（デイケア）	7.5
5 城西	通所介護（デイサービス）	15.8	訪問介護（ホームヘルプ）	12.2	通所リハビリテーション（デイケア）	7.8
6 城北	通所介護（デイサービス）	18.7	訪問介護（ホームヘルプ）	10.8	通所リハビリテーション（デイケア）	9.6
7 金泉	通所介護（デイサービス）	21.1	訪問介護（ホームヘルプ）	14.8	訪問診療（医師の訪問）	6.3
8 鍋島	通所介護（デイサービス）	20.4	訪問介護（ホームヘルプ）	9.8	通所リハビリテーション（デイケア）	7.4
9 諸富・蓮池	通所介護（デイサービス）	19.8	通所リハビリテーション（デイケア）	8.5	訪問介護（ホームヘルプ）	8.3
10 大和	通所介護（デイサービス）	21.7	通所リハビリテーション（デイケア）	12.0	訪問介護（ホームヘルプ）	9.3
11 富士	通所介護（デイサービス）	20.5	通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ）	6.6		
12 三瀬	小規模多機能型居宅介護 短期入所（ショートステイ）	13.3			通所リハビリテーション（デイケア）	6.7
13 川副	通所介護（デイサービス）	23.3	通所リハビリテーション（デイケア）	7.4	訪問介護（ホームヘルプ）	6.6
14 東与賀	通所介護（デイサービス）	22.2	通所リハビリテーション（デイケア）	9.0	訪問介護（ホームヘルプ） 訪問診療（医師の訪問）	5.3
15 久保田	通所介護（デイサービス）	21.1	通所リハビリテーション（デイケア）	7.8	訪問介護（ホームヘルプ）	7.0
16 多久	通所介護（デイサービス）	18.5	通所リハビリテーション（デイケア）	12.2	訪問介護（ホームヘルプ）	6.6
17 小城北	通所介護（デイサービス）	17.0	通所リハビリテーション（デイケア）	10.5	訪問介護（ホームヘルプ）	6.3
18 小城南	通所介護（デイサービス）	21.3	通所リハビリテーション（デイケア）	8.4	訪問介護（ホームヘルプ）	5.7
19 神埼	通所介護（デイサービス）	19.9	通所リハビリテーション（デイケア）	10.7	訪問介護（ホームヘルプ）	10.5
20 神埼北	通所介護（デイサービス）	21.9	訪問介護（ホームヘルプ）	9.6	短期入所（ショートステイ）	8.2
21 神埼南	通所介護（デイサービス）	22.4	通所リハビリテーション（デイケア）	7.7	訪問介護（ホームヘルプ）	5.7
22 吉野ヶ里	通所介護（デイサービス）	17.1	通所リハビリテーション（デイケア）	12.0	訪問介護（ホームヘルプ）	8.4

(4) 介護・介助をする上で困っていること【要支援者・要介護者のみ】

【佐賀中部広域連合の現状】

介護・介助をする上で困っていることは、全体では、「特になし」が最も高くなっている。それ以外では、「精神的に負担が大きい」、「体力的に介護・介助が困難である」が高くなっている。また、要支援者では「もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である」が高くなっている

図表 介護・介助をする上で困っていること



※問1Q2で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」と答えた方、かつ問1Q2-2に該当した方のみ
【複数回答】

図表 介護・介助する上で困っていること（性別・年齢別・介護度別）

(単位:%)

	問11Q1 介護・介助している上で困っていること (複数回答)											※問1Q2で3と答えた方										
	総数 (人)	介護・介助の方法がわからない	利用状況と介護サービスを使いにくい	もつと介護サービスが利用できる	医療機関への通院が困難	家族などの理解が足りない	その他	精神的に負担が大きい	経済的に負担が大きい	その他	特になし											
性別	男性	1,278	6.8	17.6	9.0	4.0	1.8	21.8	22.1	13.1	3.1	30.0										
	女性	3,767	4.6	12.6	6.7	4.4	0.6	12.5	17.0	11.6	3.1	35.7										
年齢	65～69歳	205	4.4	14.6	5.9	4.4	0.0	16.1	15.1	14.1	2.4	33.2										
	70～74歳	270	5.9	14.8	7.0	3.7	1.1	16.3	20.0	17.0	4.1	34.1										
	75～79歳	523	5.4	17.2	8.6	3.4	1.7	18.0	19.9	12.2	2.7	30.2										
	80～84歳	1,109	4.9	14.6	8.2	4.6	1.7	14.8	18.0	13.0	4.1	30.2										
	85歳以上	2,938	5.2	12.8	6.8	4.4	0.5	14.1	18.2	11.0	2.8	36.6										
要介護度	要支援1	668	4.9	19.0	6.6	2.2	1.5	9.7	10.8	7.2	4.2	32.2										
	要支援2	807	5.3	21.1	6.4	4.7	0.9	11.9	15.4	8.6	2.6	29.2										
	要介護1	1,269	5.5	16.3	6.9	4.3	1.3	15.4	24.5	12.3	3.5	32.5										
	要介護2	729	6.9	12.1	7.1	5.3	0.5	18.4	21.9	15.6	3.7	35.3										
	要介護3	703	5.4	8.0	9.8	5.7	0.4	17.2	19.5	15.8	2.0	36.3										
	要介護4	509	3.3	5.5	7.9	2.9	0.2	16.7	14.3	12.6	2.0	43.0										
	要介護5	360	2.2	6.1	6.4	4.4	0.8	14.2	13.1	11.9	3.3	37.2										

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別でみると、「精神的に負担が大きい」を1位にあげているのは22圏域のうち14圏域に上っており、「体力的に介護・介助が困難である」、「経済的に負担が大きい」を1位にあげている圏域が各3圏域あった。

図表 介護・介助する上で困っていること（圏域別）

（単位：％）

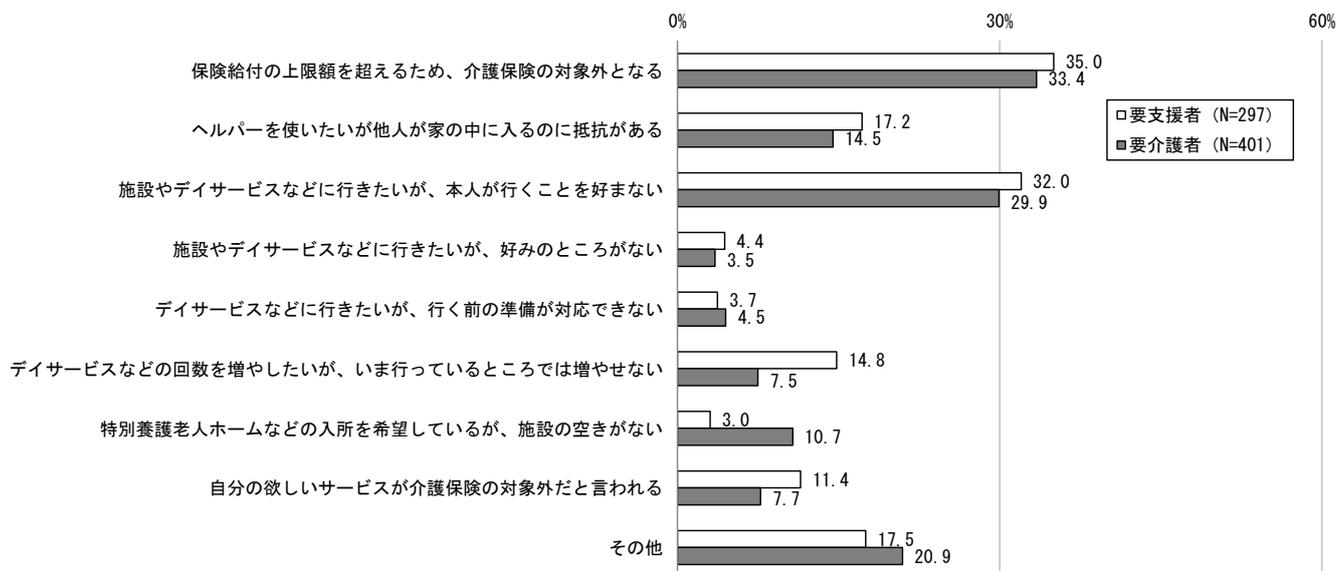
	問11Q1 介護・介助している上で困っていること（複数回答） ※問1Q2で3と答えた方											
	総数 （人）	か介 から 護の ない 介 助の 方法 がわ	い利 状用 況し た介 であ いサ が、 ビ スな	もつ と介 護サ ービ スを	難医 で療 あ機 る関 への 通院 が困	な家 い族 な どの 理 解が 足り	所介 のこ 目と がに 気つ いて 周 り近	困体 難力 的 に介 護・ 介 助が	精 神 的 に 負 担 が 大 き い	経 済 的 に 負 担 が 大 き い	そ の 他	特 に な し
全体	5,045	259	698	368	218	45	748	924	605	157	1,728	
	100.0	5.1	13.8	7.3	4.3	0.9	14.8	18.3	12.0	3.1	34.3	
圏域	佐賀	257	5.8	10.5	9.7	2.7	16.0	14.8	10.9	3.9	31.1	
	城南	321	3.7	13.7	5.6	4.0	0.9	12.8	17.8	12.8	4.7	29.6
	昭栄	336	7.7	13.7	10.1	4.5	1.8	19.0	16.7	11.9	2.4	29.2
	城東	345	3.8	13.0	11.0	4.3	0.3	15.9	18.6	13.6	2.3	36.2
	城西	242	8.3	11.2	11.6	7.4	1.2	19.8	20.7	11.6	2.1	28.1
	城北	329	6.4	11.6	8.2	4.0	0.3	16.7	20.4	9.4	5.8	30.4
	金泉	153	2.0	10.5	6.5	6.5	0.7	11.8	20.9	15.7	5.2	34.6
	鍋島	261	5.0	17.6	6.9	3.4	1.9	14.9	20.7	11.9	4.2	30.7
	諸富・蓮池	221	5.0	12.2	10.0	2.7	2.3	23.1	25.3	14.5	2.7	30.8
	大和	341	3.8	14.1	5.3	3.2	0.0	9.1	12.3	10.3	3.2	38.7
	富士	77	3.9	16.9	7.8	5.2	1.3	9.1	10.4	24.7	1.3	32.5
	三瀬	25	4.0	20.0	4.0	4.0	4.0	16.0	24.0	16.0	4.0	48.0
	川副	260	5.0	20.0	6.5	13.1	1.2	20.8	26.5	17.7	2.3	33.8
	東与賀	104	8.7	12.5	9.6	7.7	0.0	29.8	24.0	12.5	2.9	32.7
	久保田	111	6.3	14.4	3.6	3.6	0.9	8.1	14.4	18.9	0.9	28.8
	多久	335	4.8	13.7	5.1	4.8	0.0	13.1	17.0	8.4	2.1	36.7
	小城北	405	5.4	13.6	4.9	1.7	0.0	6.9	11.1	8.6	3.0	37.0
	小城南	254	3.5	15.0	5.5	2.8	1.2	14.2	20.5	13.0	2.8	43.3
	神埼	271	2.6	11.8	5.9	4.1	0.7	12.9	17.7	6.6	3.7	41.3
	神埼北	35	17.1	22.9	5.7	2.9	0.0	5.7	11.4	25.7	2.9	17.1
	神埼南	169	5.3	17.2	9.5	3.6	1.2	16.6	21.9	11.8	1.2	49.1
	吉野ヶ里	193	5.2	14.0	3.6	1.0	1.0	14.0	21.2	11.4	2.6	28.0

(5) もっと介護サービスを利用したいができない状況【要支援者・要介護者のみ】

【佐賀中部広域連合の現状】

もっと介護サービスを利用したいができない状況では、全体的及び女性では「保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる」が最も高くなっているが、男性は「施設やデイサービスなどに行きたいが、本人が行くことを好まない」が最も高くなっている。

図表 利用したいができない状況



※問1Q2で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」と答え、かつ問1Q2-2に該当した方で、問11Q1で「2. もっと介護サービスを利用したいが、出来ない状況である」と答えられた方のみ

図表 利用したいができない状況（性別・年齢別・介護度別）

(単位:%)

		問11Q1-1 もっと介護サービスを利用したいができない状況 ※問11Q1のサービスを利用したいができない状況の該当者										
		総数 (人)	介護保険給付の上限額を超えるため、負担	抗人があるの	くに行きたが	ない()	に施設がき	対応でき	や行をせ	が、入施	わ介自	そ
性別	男性	225	29.8	17.3	33.3	8.0	5.8	7.1	8.9	8.0	18.2	
	女性	473	36.2	14.8	29.6	1.9	3.4	12.3	6.8	9.9	20.1	
年齢	65~69歳	30	36.7	16.7	36.7	13.3	6.7	13.3	10.0	13.3	6.7	
	70~74歳	40	37.5	12.5	35.0	5.0	2.5	7.5	7.5	2.5	17.5	
	75~79歳	90	37.8	12.2	22.2	5.6	1.1	13.3	8.9	12.2	21.1	
	80~84歳	162	33.3	17.9	30.9	2.5	4.3	10.5	7.4	10.5	19.1	
	85歳以上	376	33.0	15.7	31.9	3.2	4.8	10.1	6.9	8.5	20.5	
要介護度	要支援1	127	38.6	19.7	29.1	4.7	3.9	11.0	4.7	12.6	12.6	
	要支援2	170	32.4	15.3	34.1	4.1	3.5	17.6	1.8	10.6	21.2	
	要介護1	207	29.5	20.3	36.7	2.4	3.9	10.1	5.3	5.3	19.8	
	要介護2	88	38.6	11.4	26.1	4.5	5.7	4.5	9.1	10.2	23.9	
	要介護3	56	30.4	7.1	23.2	3.6	7.1	5.4	21.4	10.7	21.4	
	要介護4	28	39.3	3.6	17.9	7.1	3.6	3.6	17.9	7.1	25.0	
	要介護5	22	50.0	4.5	13.6	4.5	0.0	4.5	31.8	13.6	13.6	

【佐賀中部内の圏域の現状】

広域連合全体では「保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる」が1位となっており、22圏域のうち12圏域で1位となっている。

図表 利用したいができない状況（圏域別）

（単位：%）

	問11Q1-1 もっと介護サービスを利用したいができない状況 ※問11Q1のサービスを利用したいができない状況の該当者																					
	総数 (人)	介護保険の給付額を超え、負担	保険給付の上限額（負担	抗人があ	人への介護サービスを受ける	へが家の中に入るのに抵抗	くに行きたくない	施設やデイサービスなど	に設けたいサービスがない	な）がたい（又は近	ころに行きたいサービスがない	に設けたいサービスがない	たいサービスがない	デイサービスなどに行き	やせない	行つていない	を増やしたい	デイサービスなど、回数	が、施設を希望している	の特別養護老人ホームなど	介われる	自分の欲しいサービスがない
全体	698	238	109	215	27	29	74	52	65	136	100.0	34.1	15.6	30.8	3.9	4.2	10.6	7.4	9.3	19.5		
圏域	佐賀	27	29.6	22.2	18.5	3.7	3.7	11.1	3.7	11.1	18.5											
	城南	44	36.4	9.1	43.2	4.5	2.3	9.1	9.1	9.1	9.1											
	昭栄	46	37.0	28.3	39.1	6.5	4.3	8.7	4.3	17.4	8.7											
	城東	45	24.4	20.0	40.0	4.4	8.9	11.1	6.7	11.1	15.6											
	城西	27	33.3	25.9	55.6	11.1	3.7	3.7	3.7	14.8	14.8											
	城北	38	28.9	23.7	47.4	10.5	5.3	10.5	2.6	7.9	15.8											
	金泉	16	37.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5											
	鍋島	46	39.1	15.2	30.4	8.7	4.3	13.0	6.5	10.9	30.4											
	諸富・蓮池	27	48.1	14.8	7.4	0.0	0.0	3.7	11.1	7.4	29.6											
	大和	48	37.5	14.6	27.1	0.0	6.3	12.5	18.8	12.5	8.3											
	富士	13	23.1	23.1	46.2	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	15.4											
	三瀬	5	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0											
	川副	52	28.8	19.2	36.5	3.8	3.8	5.8	13.5	9.6	17.3											
	東与賀	13	38.5	23.1	38.5	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	15.4											
	久保田	16	18.8	6.3	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	25.0											
	多久	46	30.4	13.0	32.6	0.0	2.2	8.7	6.5	6.5	19.6											
	小城北	55	29.1	7.3	16.4	3.6	0.0	12.7	3.6	3.6	47.3											
	小城南	38	36.8	2.6	23.7	2.6	5.3	15.8	2.6	13.2	18.4											
	神埼	32	34.4	18.8	31.3	0.0	3.1	18.8	3.1	6.3	21.9											
	神埼北	8	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0											
	神埼南	29	31.0	20.7	31.0	0.0	3.4	6.9	17.2	0.0	13.8											
	吉野ヶ里	27	66.7	7.4	11.1	0.0	3.7	11.1	0.0	3.7	22.2											

VII 普段の生活

調査回答者11,398人（男性:3,904人、女性:7,393人、不明:101人）の内、無回答などを除く11,297人（男性:3,904人、女性:7,393人）を分析した。

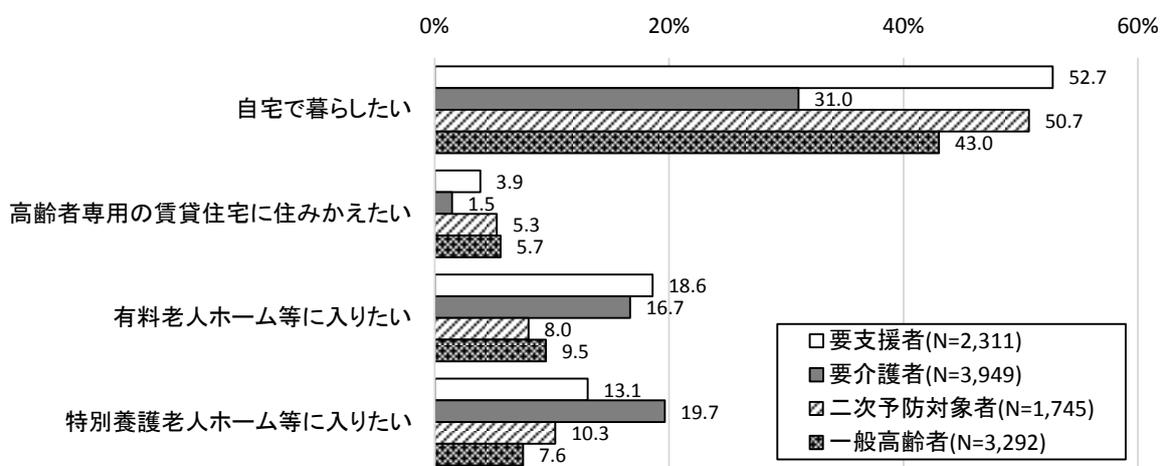
※一般・二次予防は問10

1 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい

【佐賀中部広域連合の現状】

自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まいでは、すべての属性で「自宅で暮らしたい」が最も高くなっているが、要介護者では31.0%と一般高齢者、二次予防対象者、要支援者に比べ少なく、「特別養護老人ホーム等に入りたい」が19.7%とその他に比べ高くなっている。

図表 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい



(単位:%)

図表 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい
(性別・年齢別・種別)

		問10Q1 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい					
		総数(人)	自宅で暮らしたい	高齢者に専用の賃貸したい	有料老人ホーム等に入りたい	特別養護老人ホーム等に入りたい	無回答
性別	男性	3,904	45.5	3.8	12.9	10.9	26.8
	女性	7,393	40.2	3.8	14.1	14.6	27.4
年齢	65～69歳	1,962	40.1	6.6	9.4	9.4	34.6
	70～74歳	1,554	44.1	5.1	9.0	11.8	29.9
	75～79歳	1,740	44.5	4.4	14.2	11.6	25.2
	80～84歳	2,139	47.5	3.2	14.1	12.9	22.3
	85歳以上	3,902	38.0	1.9	17.1	17.0	26.0
種別	要支援	2,311	52.7	3.9	18.6	13.1	11.7
	要介護	3,949	31.0	1.5	16.7	19.7	31.1
	二次予防対象者	1,745	50.7	5.3	8.0	10.3	25.6
	一般高齢者	3,292	43.0	5.7	9.5	7.6	34.2

【佐賀中部内の圏域の現状】

21の圏域で「自宅で暮らしたい」が3～5割前後で最も高くなっているが、三瀬では「特別養護老人ホーム等に入りたい」が44.4%で最も高い。

図表 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい（圏域別）

（単位：％）

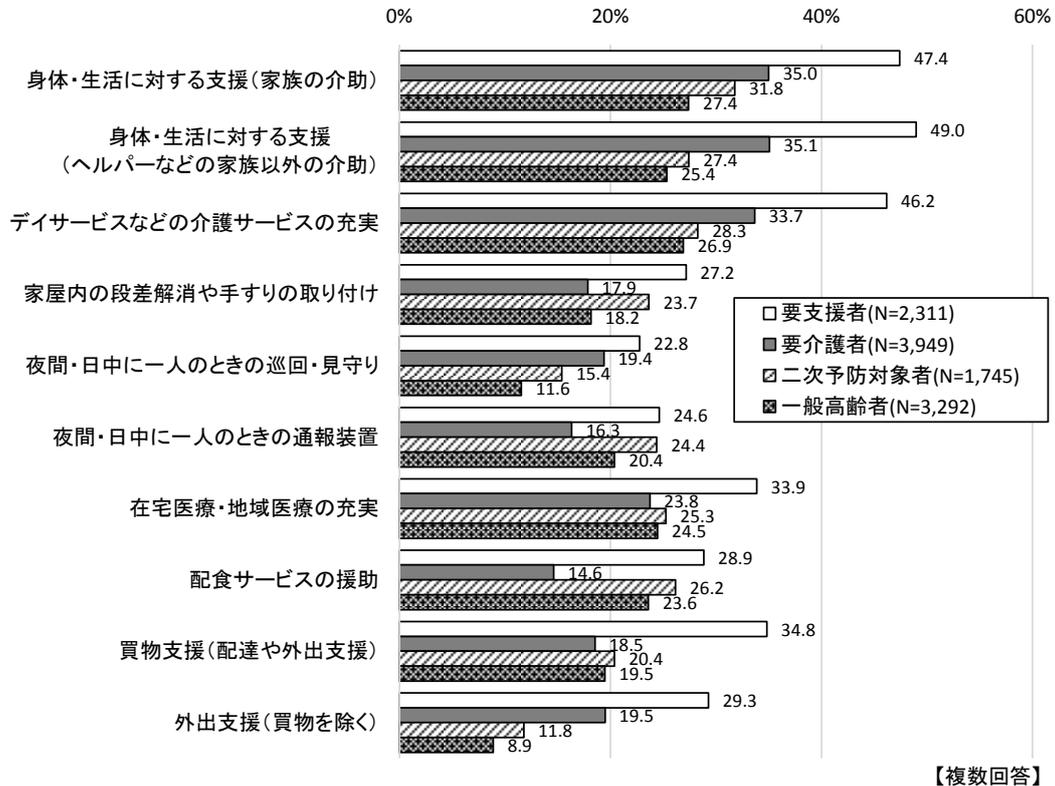
		問10Q1 自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい					
		総数 (人)	自宅 で暮 らし たい	住高 宅に 者専 用か の賃 貸 たい	入有 り料 た老 い人 ホ ー ム 等 に	等特 に別 入養 り護 たい 老人 ホ ー ム	無 回 答
全体		11,297	4,747	428	1,542	1,507	3,073
		100.0	42.0	3.8	13.6	13.3	27.2
圏 域	佐賀	541	40.1	5.4	18.9	11.1	24.6
	城南	748	42.4	4.7	16.3	10.6	26.1
	昭栄	747	43.8	4.6	15.7	12.6	23.4
	城東	770	40.0	5.1	15.7	13.1	26.1
	城西	565	40.9	3.7	14.9	12.7	27.8
	城北	749	37.9	4.4	15.1	11.1	31.5
	金泉	317	38.2	7.3	13.2	16.7	24.6
	鍋島	594	44.4	3.7	12.6	11.3	27.9
	諸富・蓮池	470	39.8	3.4	12.1	16.4	28.3
	大和	724	41.9	3.3	13.4	11.2	30.2
	富士	166	42.8	0.6	6.6	26.5	23.5
	三瀬	45	37.8	0.0	2.2	44.4	15.6
	川副	618	40.9	3.6	13.3	12.5	29.8
	東与賀	266	56.8	3.4	11.3	10.5	18.0
	久保田	256	46.9	2.0	13.3	12.1	25.8
	多久	737	46.4	3.8	10.3	11.5	28.0
	小城北	927	39.3	2.7	12.9	14.1	31.0
	小城南	559	42.6	3.6	13.6	16.5	23.8
	神埼	609	41.5	3.3	14.1	12.6	28.4
	神埼北	73	42.5	1.4	11.0	15.1	30.1
	神埼南	401	43.6	2.5	10.0	23.9	20.0
吉野ヶ里	415	41.7	2.7	11.6	11.6	32.5	

2 将来の生活を安心して営むときに必要な支援

【佐賀中部広域連合の現状】

介護されている本人が将来の生活を安心して営むときに必要な支援では、どの区分においても「身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）」が高く、次いで「デイサービスなどの介護サービスの充実」が高くなっている。

図表 将来の生活を営むときに必要な支援【本人】



図表 将来の生活を営むときに必要な支援【介護者】（性別・年齢別・種別）

（単位：%）

※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。		問9 Q2 【介護者】 将来の生活を安心して営む場合に必要な支援（複数回答）											
		総数(人)	支身体・生活に対する支援(家族の介助)	支身体・生活に対する支援(ヘルパーなどの家族以外の介助)	介護サービスなどの充実	手すり・段差解消や	夜間の巡回・見守り	夜間の通報装置	在宅医療・地域医療	配食サービスの援助	買物支援(配達や外出支援)	外出支援(買物を除く)	無回答
性別	男性	1,333	36.5	46.2	44.0	25.4	27.8	25.1	36.5	23.2	24.3	27.1	35.0
	女性	3,885	33.4	44.5	40.8	22.9	28.6	23.5	32.4	19.9	21.7	23.4	38.9
年齢	65～69歳	226	33.2	41.2	34.5	20.4	22.1	24.8	30.1	17.7	24.3	26.5	42.9
	70～74歳	293	33.1	45.1	41.0	22.5	24.2	22.5	31.4	21.8	22.2	22.5	38.2
	75～79歳	552	33.3	41.1	40.6	21.7	25.0	23.4	31.3	19.6	21.6	23.2	40.6
	80～84歳	1,159	30.9	42.5	41.9	24.0	28.9	22.7	31.5	23.0	23.0	24.7	41.2
	85歳以上	2,988	35.8	46.9	42.3	24.0	29.7	24.5	35.0	20.2	22.1	24.5	35.7
種別	要支援	1,475	30.6	41.4	38.1	23.1	23.5	21.1	30.0	21.7	23.4	24.5	42.5
	要介護	3,570	36.2	47.4	43.8	24.0	31.0	25.2	35.3	20.5	22.2	24.7	35.0
	二次予防対象者	137	27.0	27.7	29.2	20.4	18.2	21.9	27.0	19.7	16.8	18.2	54.7
	一般高齢者	36	8.3	19.4	13.9	5.6	11.1	13.9	11.1	13.9	11.1	8.3	75.0

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）」が22圏域のうち18圏域で1位となっており、他の4圏域では「デイサービスなどの介護サービスの充実」が1位となっている。

図表 将来の生活を営むときに必要な支援（圏域別）【介護者】

（単位：%）

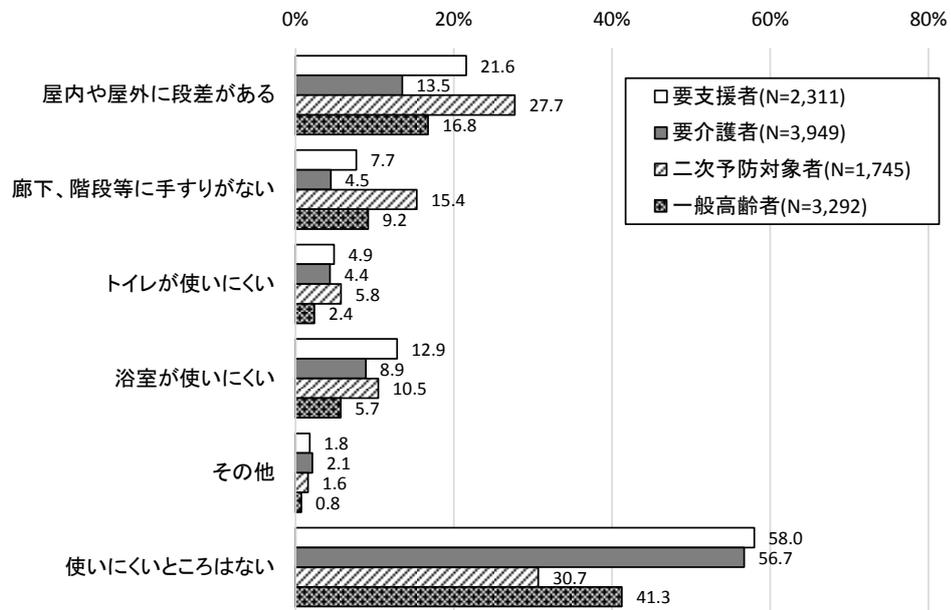
	問9 Q2 【介護者】 将来の生活を安心して営む場合に必要な支援（複数回答）												
	総数 （人）	支身体 援体 （家族 生活 の介 助）	の支身 家援体 族へ・ 以外 の介 助）	介デ 護イ サー サー ビス の充 実の	手家 す屋 りの 取段 付け 消や	と夜 間の ・日 巡回 中 ・見 守り の	と夜 間の ・日 通報 装 置	の在 宅医 療・ 地 域 医 療	配 食サ ー ビス の 援 助	（買 物支 援 や 外 出 支 援）	（外 出支 援 を 除 く）	無 回 答	
※一般・二次予防への調査の間番号は「問10」です。													
全体	5,218 100.0	1,784 34.2	2,346 45.0	2,172 41.6	1,227 23.5	1,481 28.4	1,247 23.9	1,743 33.4	1,084 20.8	1,166 22.3	1,272 24.4	1,978 37.9	
圏 域	佐賀	261	31.8	44.8	37.9	23.0	28.0	22.6	34.1	23.4	24.5	21.8	40.2
	城南	332	29.8	41.0	37.0	21.1	26.2	19.6	32.2	18.4	22.3	21.4	44.0
	昭栄	348	39.9	47.1	44.3	23.6	32.8	28.4	39.7	23.0	28.2	27.9	38.5
	城東	352	34.4	50.6	42.6	25.9	28.1	25.3	33.0	24.1	27.3	30.1	34.7
	城西	247	36.0	47.4	42.9	31.6	34.0	29.6	37.2	23.5	23.5	26.7	38.5
	城北	338	30.2	39.9	37.3	23.4	24.0	21.6	27.5	18.0	21.0	21.0	45.9
	金泉	156	25.0	50.0	44.9	17.9	37.8	32.7	37.8	16.0	28.8	33.3	35.3
	鍋島	268	31.7	44.0	41.8	24.3	29.5	28.0	33.2	20.1	22.4	24.3	42.5
	諸富・蓮池	231	28.1	40.3	38.5	18.6	32.0	23.4	28.1	16.0	20.3	19.0	43.7
	大和	349	26.4	45.8	35.0	14.9	19.8	14.6	22.9	14.3	14.9	16.0	39.5
	富士	80	53.8	61.3	50.0	47.5	45.0	40.0	52.5	45.0	42.5	45.0	27.5
	三瀬	25	20.0	40.0	32.0	12.0	20.0	12.0	12.0	12.0	12.0	20.0	56.0
	川副	275	33.1	43.3	45.1	28.0	31.3	25.5	37.1	27.6	25.8	28.0	33.1
	東与賀	105	47.6	54.3	52.4	21.9	35.2	29.5	43.8	23.8	28.6	28.6	18.1
	久保田	114	30.7	33.3	41.2	21.9	22.8	15.8	26.3	13.2	20.2	22.8	43.0
	多久	349	39.5	45.8	45.6	29.2	30.7	26.9	36.4	26.9	24.4	29.5	37.5
	小城北	424	34.0	42.5	41.3	19.1	22.6	22.2	31.8	19.8	18.2	21.0	39.6
	小城南	260	38.1	47.3	43.5	23.8	27.7	21.5	35.4	20.4	15.8	21.9	34.6
	神埼	287	33.1	40.4	42.2	24.4	27.9	22.0	33.1	15.0	21.6	23.7	35.9
	神埼北	38	23.7	39.5	26.3	7.9	28.9	13.2	18.4	15.8	15.8	21.1	50.0
神埼南	177	53.7	59.3	47.5	25.4	27.1	19.8	36.7	19.2	17.5	21.5	14.7	
吉野ヶ里	202	32.7	38.6	42.1	24.8	28.7	28.2	35.1	21.3	18.8	24.8	40.1	

3 現在お住まいの住居で使いにくいところ

【佐賀中部広域連合の現状】

現在お住まいの住居で使いにくいところでは、「使いにくいところはない」が最も高く、他の区分より二次予防対象者で少なく、他の区分より「廊下、階段等に手すりがない」が特に高くなっている。使いにくいところがある場合では、「屋内や屋外に段差がある」が、すべての属性で高くなっている。

図表 現在お住まいの住居で使いにくいところ



【複数回答】

図表 現在お住まいの住居で使いにくいところ（性別・年齢別・種別）

（単位：％）

		問9 Q3 (1) 現在お住まいの住居で使いにくいところ（複数回答）							
		総数 (人)	あ 屋 内 や 屋 外 に 段 差 が	手 廊 す り が 階 段 に	ト イ レ が 使 い に く い	浴 室 が 使 い に く い	そ の 他	な 使 い に く い と こ ろ は	無 回 答
※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。									
性別	男性	3,904	18.4	9.0	4.6	7.7	1.7	47.3	26.3
	女性	7,393	18.3	7.8	3.9	9.7	1.5	49.1	23.9
年齢	65～69歳	1,962	18.5	8.5	4.0	8.0	1.0	41.2	32.6
	70～74歳	1,554	18.8	10.2	4.1	9.1	1.4	41.0	30.2
	75～79歳	1,740	21.0	10.5	4.1	8.4	1.4	43.6	26.9
	80～84歳	2,139	21.1	9.5	5.0	10.3	2.1	48.6	20.5
	85歳以上	3,902	15.3	5.6	3.7	9.1	1.7	57.2	20.0
種別	要支援	2,311	21.6	7.7	4.9	12.9	1.8	58.0	9.4
	要介護	3,949	13.5	4.5	4.4	8.9	2.1	56.7	22.3
	二次予防対象者	1,745	27.7	15.4	5.8	10.5	1.6	30.7	29.6
	一般高齢者	3,292	16.8	9.2	2.4	5.7	0.8	41.3	35.9

【佐賀中部内の圏域の現状】

全ての圏域で「屋内や屋外に段差がある」が最も高くなっている。

特に、神埼北では、「使いにくいところはない」は他の圏域より低くなっており、「屋内や屋外に段差がある」が目立って高くなっている。

図表 現在お住まいの住居で使いにくいところ（圏域別）

（単位：％）

		問9 Q3 (1) 現在お住まいの住居で使いにくいところ（複数回答）							
		総数 (人)	あ屋 内 や 屋 外 に 段 差 が	手 廊 下 、 階 段 等 に	ト イ レ が 使 い に く い	浴 室 が 使 い に く い	そ の 他	な 使 い に く い と ころ は	無 回 答
※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。									
全体		11,297	2,069	926	466	1,020	179	5,474	2,794
		100.0	18.3	8.2	4.1	9.0	1.6	48.5	24.7
圏 域	佐賀	541	16.6	6.8	3.5	8.5	1.5	49.9	25.1
	城南	748	20.9	7.2	3.7	8.3	1.5	44.9	25.4
	昭栄	747	17.8	8.4	3.6	9.9	2.0	50.5	22.8
	城東	770	14.9	7.5	4.3	8.4	2.2	51.7	24.9
	城西	565	17.3	6.0	3.7	8.7	2.5	49.9	24.2
	城北	749	18.3	8.0	2.5	8.0	2.1	44.7	28.2
	金泉	317	16.1	7.6	3.5	6.3	0.9	53.3	22.4
	鍋島	594	17.5	7.9	3.9	10.6	1.3	48.5	26.4
	諸富・蓮池	470	18.1	8.5	4.7	8.7	1.3	48.7	24.3
	大和	724	17.7	7.6	4.0	8.6	1.5	50.6	24.4
	富士	166	22.3	7.8	3.6	7.8	2.4	51.8	18.7
	三瀬	45	20.0	8.9	6.7	11.1	0.0	57.8	17.8
	川副	618	19.7	8.7	6.0	9.4	1.3	46.0	26.4
	東与賀	266	15.8	10.5	3.8	11.3	0.4	59.0	14.3
	久保田	256	19.1	13.3	4.3	9.8	1.6	43.4	26.2
	多久	737	18.6	8.7	5.4	12.2	0.7	46.1	26.2
	小城北	927	17.5	8.6	4.2	6.8	2.4	49.9	24.6
	小城南	559	22.5	9.7	4.7	10.7	0.9	46.9	22.0
	神埼	609	19.0	9.0	3.8	9.2	0.8	45.3	27.6
	神埼北	73	28.8	15.1	8.2	13.7	1.4	30.1	27.4
神埼南	401	21.7	8.2	5.5	8.0	1.2	51.4	18.7	
吉野ヶ里	415	15.4	5.8	2.7	8.7	2.4	46.0	30.1	

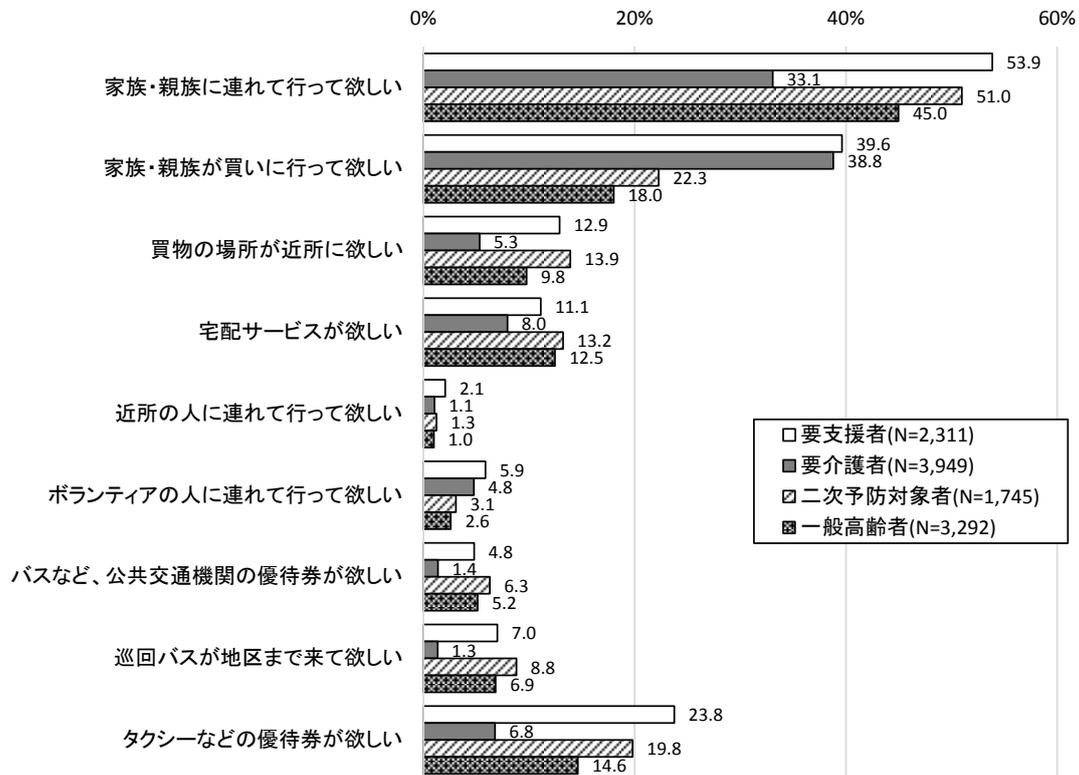
4 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助

【佐賀中部広域連合の現状】

日用品の買い物をしたいとき欲しい援助では、要介護者では「家族・親族が買いに行つて欲しい」が最も高く、他の属性では「家族・親族に連れて行って欲しい」が最も高くなっている。

また、要介護以外では、「タクシーなどの優待券が欲しい」の割合が高くなっている。

図表 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助



【複数回答】

図表 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助（性別・年齢別・種別）

（単位：%）

		問9 Q4 (2) オ 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助（複数回答）										
		総数 (人)	家族・親族に連れて行って欲しい	家族・親族が買いに行つて欲しい	買物の場所が近所に欲しい	宅配サービスが欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアの人に連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
性別	男性	3,904	41.2	29.6	8.8	11.0	1.2	3.6	4.4	4.5	13.5	30.6
	女性	7,393	44.8	30.8	9.9	10.6	1.4	4.4	3.7	5.7	15.1	26.1
年齢	65～69歳	1,962	43.2	20.5	8.8	14.4	0.8	3.4	6.6	7.0	16.1	35.1
	70～74歳	1,554	45.7	22.5	10.2	12.2	1.4	4.3	4.1	6.0	15.1	32.4
	75～79歳	1,740	46.3	26.1	11.8	11.2	1.1	4.1	4.8	7.4	17.0	27.5
	80～84歳	2,139	48.0	32.0	11.0	11.0	1.5	4.6	4.1	5.9	17.3	22.5
	85歳以上	3,902	39.3	39.5	7.7	7.9	1.5	4.2	2.1	2.8	11.0	24.9
種別	要支援	2,311	53.9	39.6	12.9	11.1	2.1	5.9	4.8	7.0	23.8	9.1
	要介護	3,949	33.1	38.8	5.3	8.0	1.1	4.8	1.4	1.3	6.8	30.2
	二次予防対象者	1,745	51.0	22.3	13.9	13.2	1.3	3.1	6.3	8.8	19.8	27.9
	一般高齢者	3,292	45.0	18.0	9.8	12.5	1.0	2.6	5.2	6.9	14.6	37.4

【佐賀中部内の圏域の現状】

全ての圏域で「家族・親族に連れて行って欲しい」が最も高くなっており、富士、東与賀、久保田では、その割合が特に高い。

図表 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助（圏域別）

（単位：％）

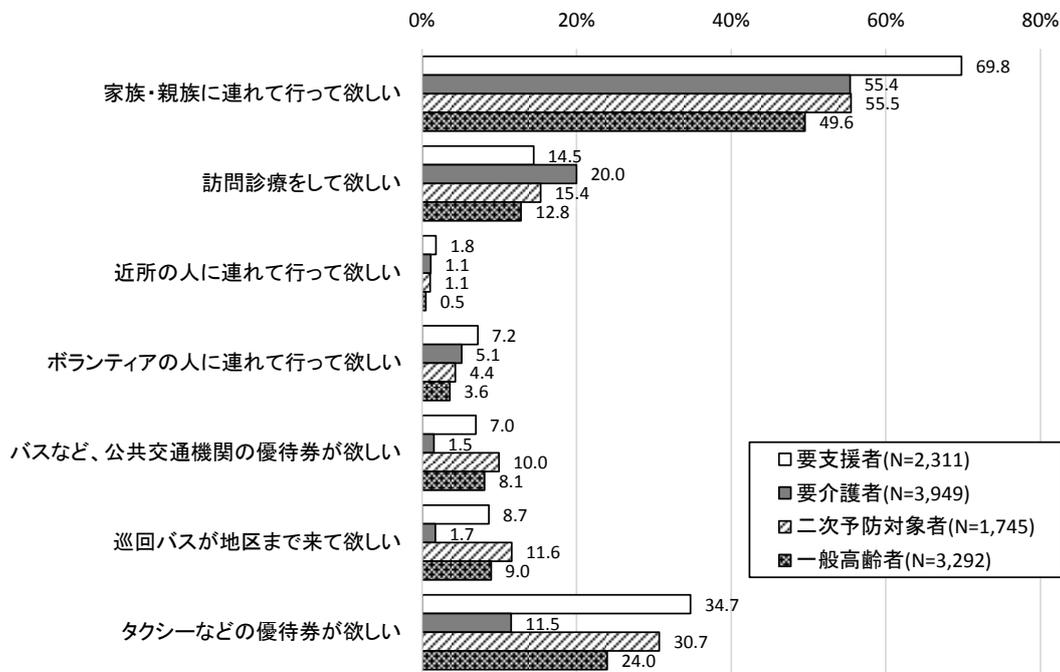
※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。		問9Q4（2）オ 日用品の買い物をしたいとき欲しい援助（複数回答）										
		総数 （人）	行家 つ族 て・ 欲親 し族 いに 連れ て	行家 つ族 て・ 欲親 し族 いが 買い に	欲買 し物 の場 所が 近所 に	宅配 サー ビス が欲 しい	て近 所し い人 に連 れて 行っ つ	連ボ れて ラン 行テ って ア欲 のし いに	機バ 関ス のな ど、 公交 通 し 通 い	来巡 回バ スが 地区 まで	がタク シシ ーな どの 優待 券	無回 答
全体		11,297 100.0	4,922 43.6	3,432 30.4	1,073 9.5	1,213 10.7	145 1.3	465 4.1	446 3.9	595 5.3	1,645 14.6	3,123 27.6
圏 域	佐賀	541	39.7	27.9	9.8	12.0	1.7	3.7	4.1	3.0	19.2	27.0
	城南	748	43.9	30.1	9.1	11.0	1.1	4.3	4.5	3.9	19.7	25.9
	昭栄	747	44.4	31.1	11.5	11.9	1.3	3.5	2.7	5.2	20.6	23.3
	城東	770	45.1	28.8	8.2	11.4	1.4	5.5	2.6	4.9	14.4	27.0
	城西	565	45.8	30.1	8.0	10.6	0.9	6.4	5.1	6.5	15.8	25.5
	城北	749	40.5	29.4	9.6	10.8	1.1	4.4	4.1	5.9	16.6	29.4
	金泉	317	42.6	28.7	12.9	14.5	3.2	8.2	2.5	6.6	12.0	27.1
	鍋島	594	41.9	28.5	8.8	11.6	2.2	6.9	4.7	5.1	15.7	31.3
	諸富・蓮池	470	43.6	30.9	9.6	10.0	1.5	2.8	3.2	7.4	8.7	28.9
	大和	724	46.0	26.2	8.0	10.1	1.8	3.0	3.2	6.4	9.5	29.7
	富士	166	54.2	44.6	18.1	18.1	3.6	7.8	6.6	10.8	10.8	21.7
	三瀬	45	44.4	35.6	6.7	6.7	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	35.6
	川副	618	42.4	30.9	8.7	10.4	0.6	3.1	3.7	4.9	11.2	30.6
	東与賀	266	52.3	37.2	10.9	11.3	1.1	3.4	3.4	3.8	10.5	17.3
	久保田	256	50.0	30.9	11.7	10.5	2.0	3.5	4.3	8.6	10.9	25.8
	多久	737	47.9	26.1	11.1	8.1	0.9	2.4	5.6	5.0	11.8	28.5
	小城北	927	38.5	31.4	7.1	11.9	0.6	3.7	4.2	3.7	17.4	28.5
	小城南	559	40.8	36.3	11.3	8.8	0.7	3.2	4.1	5.5	13.1	27.4
神埼	609	40.9	30.9	10.0	9.5	1.0	4.1	4.3	5.6	14.8	32.2	
神埼北	73	34.2	26.0	19.2	8.2	0.0	1.4	1.4	9.6	5.5	37.0	
神埼南	401	46.9	34.4	6.5	8.2	1.5	3.2	3.2	4.2	14.0	21.9	
吉野ヶ里	415	42.7	30.6	7.7	10.4	1.0	3.6	4.3	4.8	14.5	29.6	

5 通院したいとき欲しい援助

【佐賀中部広域連合の現状】

通院したいとき欲しい援助では、すべての属性で「家族・親族に連れて行って欲しい」が最も高く、特に要支援者では69.8%となっている。「タクシーなどの優待券が欲しい」も要介護者以外で高くなっている。

図表 通院したいとき欲しい援助



【複数回答】

図表 通院したいとき欲しい援助（性別・年齢別・種別）

(単位: %)

		問10Q4 (2) カ 通院したいとき欲しい援助 (複数回答)								
		総数 (人)	家族・親族に連れて行って欲しい	訪問診療をして欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアの人に連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。										
性別	男性	3,904	55.2	16.2	1.3	4.9	6.6	5.8	22.1	29.5
	女性	7,393	57.4	16.0	1.0	5.0	5.5	7.3	23.3	25.7
年齢	65～69歳	1,962	48.4	14.1	0.5	4.5	9.0	9.6	24.6	35.1
	70～74歳	1,554	52.5	15.4	0.9	4.4	7.1	7.5	25.7	30.8
	75～79歳	1,740	57.0	16.1	1.1	5.1	7.7	9.0	26.7	26.1
	80～84歳	2,139	59.0	15.6	1.5	6.5	5.6	7.9	26.6	21.6
	85歳以上	3,902	61.0	17.6	1.2	4.7	3.1	3.5	17.1	24.9
種別	要支援	2,311	69.8	14.5	1.8	7.2	7.0	8.7	34.7	9.2
	要介護	3,949	55.4	20.0	1.1	5.1	1.5	1.7	11.5	30.3
	二次予防対象者	1,745	55.5	15.4	1.1	4.4	10.0	11.6	30.7	26.6
	一般高齢者	3,292	49.6	12.8	0.5	3.6	8.1	9.0	24.0	35.8

【佐賀中部内の圏域の現状】

「家族・親族に連れて行って欲しい」が全ての圏域でも最も高く、ほとんどが50%を超えている。中でも東与賀が最も高く72.2%となっている。

図表 通院したいとき欲しい援助（圏域別）

（単位：%）

	問10Q4（2）カ 通院したいとき欲しい援助（複数回答）									
	総数 （人）	行家家 つ族 て・ 欲親 し族 いに 連れ て	訪問 診療 をし て欲 しい	て近 欲所 しい 人に 連れ て行 つ	連ボ れラ てン 行テ つイ てア のし 人に	機バ 関ス のな 優ど 待、 券公 が共 欲交 し通 い	来巡 て回 欲バ しい スが 地 区 ま で	がタク 欲ク しいシ ーな どの 優 待 券	無 回 答	
※一般・二次予防への調査の問番号は「問10」です。										
全体	11,297 100.0	6,401 56.7	1,814 16.1	123 1.1	565 5.0	663 5.9	767 6.8	2,584 22.9	3,053 27.0	
圏域	佐賀	541	52.1	15.9	1.1	4.6	7.2	3.3	29.6	26.6
	城南	748	54.9	16.8	0.8	5.1	7.9	5.3	29.8	25.4
	昭栄	747	54.1	17.5	0.9	5.0	5.2	5.5	29.7	24.1
	城東	770	55.2	16.0	1.0	6.9	5.1	6.0	23.5	26.5
	城西	565	57.9	15.4	1.2	5.3	6.2	8.8	23.9	24.6
	城北	749	48.6	17.0	1.3	5.5	6.9	7.3	26.7	29.2
	金泉	317	55.8	20.2	2.2	6.3	3.5	8.5	18.6	29.3
	鍋島	594	55.1	17.2	1.7	6.2	5.9	5.9	23.9	29.3
	諸富・蓮池	470	56.4	17.9	1.5	5.5	6.0	7.4	18.5	27.9
	大和	724	54.8	14.2	1.7	4.7	4.3	8.6	17.0	30.0
	富士	166	67.5	23.5	3.0	7.8	11.4	18.7	14.5	18.7
	三瀬	45	51.1	13.3	2.2	2.2	2.2	8.9	2.2	37.8
	川副	618	57.3	17.8	0.3	4.2	4.5	6.3	16.8	29.3
	東与賀	266	72.2	15.8	0.4	3.4	5.3	6.0	18.0	15.4
	久保田	256	63.3	14.1	1.2	3.5	5.9	12.1	19.1	23.8
	多久	737	59.2	11.9	1.2	3.1	7.2	8.7	19.0	28.0
	小城北	927	54.3	15.4	0.3	5.0	5.4	4.2	25.9	28.9
	小城南	559	61.7	19.5	0.9	5.2	6.4	6.6	20.9	25.8
神埼	609	57.0	12.8	0.7	4.9	5.7	6.9	22.5	30.4	
神埼北	73	52.1	9.6	1.4	4.1	2.7	8.2	11.0	39.7	
神埼南	401	66.8	16.5	1.2	5.0	4.7	6.0	21.4	20.9	
吉野ヶ里	415	58.3	13.7	1.0	3.6	5.5	6.0	23.6	27.7	

VIII 介護予防【一般高齢者・二次予防対象者のみ】

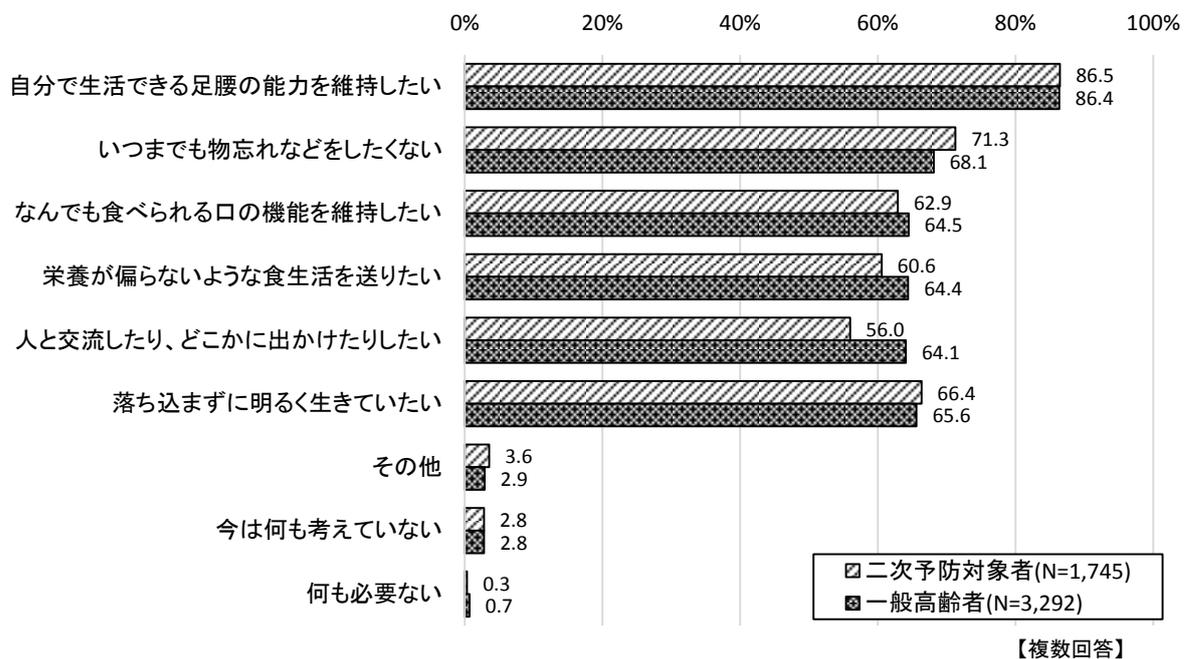
調査回答者11,398人（男性:3,904人、女性:7,393人）の内、一般高齢者・二次予防対象者5,037人（男性:2,269人、女性:2,768人）を分析した。

1 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち

【佐賀中部広域連合の現状】

生きがいがある生活を送るために必要な気持ちでは、「自分で生活できる足腰の能力を維持したい」がどの属性でも高く、どの質問項目でも、男性より女性の方がその割合は高い。

図表 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち



図表 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（性別・年齢別・種別）

(単位:%)

		問9 Q 1 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（複数回答）									
		総数 (人)	の自 能分 力で を生 活持 でき る足 腰	をいつ たまで も物 忘れ など	のな 機能 でも 維持 しら れる 口	食栄 生養 活が を偏 送ら ない よう な	か人 にと 出交 かけ した りし たど いこ	き落 てち 込込 た込 た込 に 明 る く 生	そ の 他	今 は 何 も 考 え て い ない	何 も 必 要 な い
性別	男性	2,269	84.1	63.2	60.1	56.1	55.6	58.4	3.2	3.9	0.9
	女性	2,768	88.3	74.2	67.1	68.8	66.0	72.0	3.1	2.0	0.3
年齢	65～69歳	1,692	86.7	64.7	61.2	61.3	62.9	63.7	2.2	3.3	0.8
	70～74歳	1,203	87.1	69.9	64.1	65.0	65.3	67.2	3.2	2.8	0.4
	75～79歳	1,035	86.9	73.1	68.1	64.9	61.5	67.3	3.2	2.3	0.5
	80～84歳	714	85.4	73.1	64.8	63.0	55.7	66.4	5.6	1.5	0.3
	85歳以上	393	83.7	69.2	62.8	60.3	51.1	66.9	1.8	4.3	0.8
種別	二次予防対象者	1,745	86.5	71.3	62.9	60.6	56.0	66.4	3.6	2.8	0.3
	一般高齢者	3,292	86.4	68.1	64.5	64.4	64.1	65.6	2.9	2.8	0.7

【佐賀中部内の圏域の現状】

「自分で生活できる足腰の能力を維持したい」は全ての圏域で8割を超え最も高く、中でも三瀬、城西、城南でその割合が高い。

図表 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（圏域別）

(単位:%)

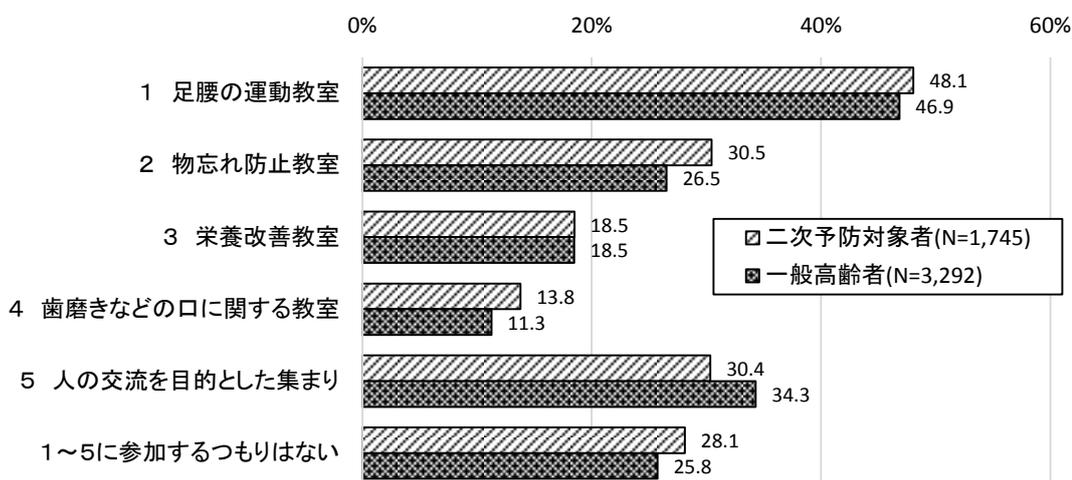
		問9 Q 1 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（複数回答）									
		総数 (人)	の自 能分 力で を生 活持 でき る足 腰	をい しつ たま くで ない 物忘 れな ど	のな 機ん 能を も食 持し られ る口	食栄 生養 活が を偏 送ら ない よう な	か人 に出 か流 けし たり しど いこ	き落 てち い込 たま いず に明 るく 生	そ の 他	今 は 何 も 考 え て い ない	何 も 必 要 な い
全体		5,037	4,353	3,487	3,221	3,178	3,087	3,319	157	142	29
		100.0	86.4	69.2	63.9	63.1	61.3	65.9	3.1	2.8	0.6
圏 域	佐賀	229	86.5	70.7	67.2	70.7	65.9	67.2	4.4	3.5	0.0
	城南	338	90.2	70.7	68.0	67.5	64.8	72.2	3.6	1.8	0.3
	昭栄	350	85.1	71.1	65.7	66.9	61.7	72.6	5.7	1.4	1.1
	城東	351	87.5	69.8	61.0	64.1	61.8	65.8	2.8	3.4	0.9
	城西	253	92.5	76.7	73.5	68.0	63.2	70.8	2.8	2.4	1.6
	城北	342	88.3	69.3	67.5	67.8	63.5	70.2	2.9	2.6	0.0
	金泉	139	84.2	69.1	64.7	57.6	61.9	66.2	0.0	4.3	0.0
	鍋島	276	85.1	67.8	63.8	63.4	62.0	62.7	1.8	4.7	0.0
	諸富・蓮池	203	84.7	67.5	57.1	60.1	55.2	63.1	2.5	3.0	0.0
	大和	318	86.5	67.9	62.9	63.5	61.6	67.6	3.1	2.2	0.6
	富士	72	83.3	62.5	62.5	54.2	55.6	59.7	2.8	2.8	0.0
	三瀬	18	94.4	50.0	33.3	38.9	44.4	44.4	5.6	0.0	0.0
	川副	272	86.8	70.2	62.1	57.4	57.4	61.8	1.1	2.2	0.4
	東与賀	112	87.5	66.1	59.8	66.1	56.3	67.9	5.4	3.6	0.9
	久保田	116	85.3	68.1	63.8	59.5	56.9	62.9	3.4	2.6	0.0
	多久	310	82.6	66.1	59.4	58.4	57.1	61.9	2.6	1.9	0.3
	小城北	407	85.3	67.1	62.9	62.4	59.7	59.7	3.4	4.4	1.0
小城南	246	84.6	69.9	60.6	59.3	62.6	67.1	2.8	4.1	0.8	
神埼	279	88.9	73.5	68.8	66.3	67.4	65.6	6.5	2.5	0.4	
神埼北	32	87.5	78.1	62.5	65.6	62.5	75.0	0.0	0.0	6.3	
神埼南	185	83.2	68.6	64.3	58.9	63.8	61.6	1.1	2.2	1.1	
吉野ヶ里	189	84.1	63.5	59.8	55.6	57.7	63.5	1.6	2.1	0.5	

2 生きがいがある生活を送るために参加したいもの

【佐賀中部広域連合の現状】

生きがいがある生活を送るために参加したいものでは、どの属性でも「足腰の運動教室」が最も高くなっている。次いで、「人の交流を目的とした集まり」が高くなっているが、85歳以上、二次予防対象者では「物忘れ防止教室」がほぼ同率となっている。

図表 生きがいがある生活を送るために参加したいもの



【複数回答】

図表 生きがいがある生活を送るために参加したいもの（性別・年齢別・種別）

(単位:%)

		問9 Q2 生きがいがある生活を送るために参加したいもの (複数回答)						
		総数 (人)	足腰の 運動 教室	物 忘 れ 防 止 教 室	栄 養 改 善 教 室	に 歯 磨 き な ど の 口	と 人 の 交 流 を 目 的 と し た 集 ま り	は 参 加 し な い と し て お き な い
性別	男性	2,269	41.9	21.2	12.9	9.1	29.3	32.2
	女性	2,768	51.7	33.4	23.1	14.6	36.0	22.0
年齢	65~69歳	1,692	48.2	25.1	18.5	11.7	34.6	28.6
	70~74歳	1,203	49.4	29.5	19.5	12.8	34.0	25.0
	75~79歳	1,035	47.3	29.7	18.7	11.9	32.0	23.8
	80~84歳	714	45.4	30.0	18.1	12.7	31.9	25.8
	85歳以上	393	40.2	27.0	15.5	11.7	27.0	31.6
種別	二次予防対象者	1,745	48.1	30.5	18.5	13.8	30.4	28.1
	一般高齢者	3,292	46.9	26.5	18.5	11.3	34.3	25.8

【佐賀中部内の圏域の現状】

全ての圏域で「足腰の運動教室」が最も高い。次いで、22圏域のうち18圏域で「人の交流を目的とした集まり」が高くなっており、他の4圏域では「物忘れ防止教室」が高くなっている。

図表 生きがいがある生活を送るために参加したいもの（圏域別）

（単位：％）

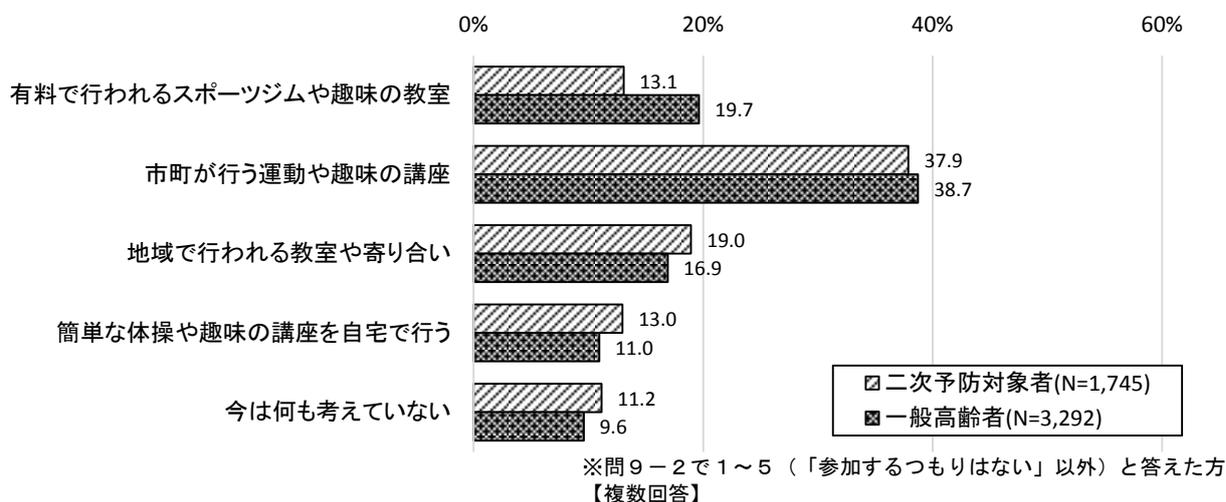
		問9 Q2 生きがいがある生活を送るために参加したいもの （複数回答）						
		総数 （人）	足腰の 運動 教室	物忘れ 防止 教室	栄養 改善 教室	口歯 に磨 きな すな ど 教 室	と人 の交 流を 目的 集まり	は参 加す るつ もり
全体		5,037	2,382	1,406	932	612	1,660	1,339
		100.0	47.3	27.9	18.5	12.2	33.0	26.6
圏 域	佐賀	229	43.7	23.6	17.5	9.6	29.7	30.1
	城南	338	49.4	29.6	18.0	10.7	29.0	27.2
	昭栄	350	42.9	24.6	17.1	12.3	38.6	27.7
	城東	351	45.3	25.9	15.1	12.8	32.2	28.8
	城西	253	50.2	28.5	20.6	14.6	33.6	29.2
	城北	342	49.1	24.6	17.8	14.3	38.0	28.4
	金泉	139	46.8	27.3	15.1	7.9	28.8	28.8
	鍋島	276	46.4	28.6	18.5	13.4	30.8	27.9
	諸富・蓮池	203	53.2	34.0	20.7	15.3	33.0	17.2
	大和	318	47.5	26.7	18.9	10.7	33.6	23.9
	富士	72	47.2	31.9	18.1	15.3	40.3	12.5
	三瀬	18	55.6	27.8	27.8	22.2	38.9	33.3
	川副	272	47.1	29.8	19.9	14.0	37.9	21.3
	東与賀	112	53.6	29.5	22.3	13.4	38.4	20.5
	久保田	116	45.7	31.0	17.2	13.8	25.9	31.0
	多久	310	42.6	24.2	18.7	9.4	27.4	29.7
	小城北	407	45.2	25.6	16.7	9.3	27.0	29.7
	小城南	246	48.4	29.7	20.7	11.0	30.9	26.8
	神埼	279	52.7	33.7	21.1	14.0	41.2	24.0
	神埼北	32	43.8	31.3	28.1	9.4	28.1	34.4
神埼南	185	49.7	34.1	20.5	14.6	36.8	23.2	
吉野ヶ里	189	45.5	27.0	16.4	10.6	30.2	25.9	

3 参加するために必要なところ

【佐賀中部広域連合の現状】

9割近くの方が運動教室などに参加したいと思っており、その参加するために必要なところでは、「市町が行う運動や趣味の講座」が最も高くなっている。年齢別にみると80歳以上では「地域で行われる教室や寄り合い」の割合が80歳未満よりも高くなっている。

図表 参加するために必要なところ



図表 参加するために必要なところ

(性別・年齢別・種別。無回答者を除く。)

(単位:%)

		問9 Q3 参加するために必要なところ (複数回答) ※問9 Q2で1~5と答えた方					
		総数 (人)	ジ有 ム料 やで 趣行 味の れ教 る室 ス ポ ー ツ	の市 講 町 が 行 う 運 動 や 趣 味	寄地 り域 合で い行 われ る 教 室 や	を簡 自単 宅な で体 行操 うや 趣 味 の 講 座	今 は 何 も 考 え て い な い
性別	男性	1,247	18.3	37.2	14.6	12.3	12.4
	女性	1,800	16.8	39.3	19.7	11.2	8.6
年齢	65~69歳	1,044	20.9	41.1	15.0	10.0	10.5
	70~74歳	762	18.6	38.6	17.5	10.2	10.2
	75~79歳	631	17.1	39.5	16.5	11.3	9.0
	80~84歳	409	10.3	35.2	21.8	17.4	10.3
	85歳以上	201	10.4	27.9	26.9	15.4	10.9
種別	二次予防対象者	1,039	13.1	37.9	19.0	13.0	11.2
	一般高齢者	2,008	19.7	38.7	16.9	11.0	9.6

【佐賀中部内の圏域の現状】

「市町が行う運動や趣味の講座」は22圏域のうち21圏域で第1位と割合が高い。

図表 参加するために必要なところ（圏域別）

（単位：％）

		問9 Q3 参加するために必要なところ（複数回答） ※問9 Q2で1～5と答えた方					
		総数 （人）	有料 ジムや 趣味の 教室	市町が 行う 運動や 趣味	寄地 域で 行われ る教室 や	を簡 単な 体操 や趣 味の 講座	今 は何 も考 えて いな い
全体		3,047 100.0	531 17.4	1,172 38.5	537 17.6	355 11.7	309 10.1
圏 域	佐賀	129	21.7	36.4	16.3	6.2	14.0
	城南	205	20.0	39.0	13.2	13.2	9.8
	昭栄	214	15.9	37.4	19.6	8.4	11.7
	城東	208	18.8	39.9	20.7	8.2	8.7
	城西	160	25.6	37.5	15.6	8.1	9.4
	城北	206	23.8	35.9	18.9	11.7	6.3
	金泉	79	11.4	34.2	20.3	17.7	12.7
	鍋島	167	19.2	35.3	18.0	10.8	10.2
	諸富・蓮池	140	17.9	36.4	17.1	12.1	12.9
	大和	197	15.7	38.6	13.7	14.7	11.7
	富士	50	8.0	40.0	28.0	14.0	8.0
	三瀬	11	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1
	川副	170	16.5	34.7	19.4	15.9	11.2
	東与賀	81	13.6	38.3	21.0	9.9	8.6
	久保田	67	10.4	38.8	20.9	10.4	14.9
	多久	172	16.9	36.0	18.0	16.3	10.5
	小城北	229	19.2	42.4	15.3	10.9	8.7
	小城南	144	10.4	36.8	15.3	15.3	14.6
	神埼	179	16.8	41.9	17.3	13.4	6.1
	神埼北	16	6.3	37.5	25.0	12.5	12.5
	神埼南	117	14.5	42.7	21.4	5.1	10.3
吉野ヶ里	106	14.2	50.9	13.2	12.3	6.6	

Ⅹ 災害時の対応【要支援者・要介護者のみ】

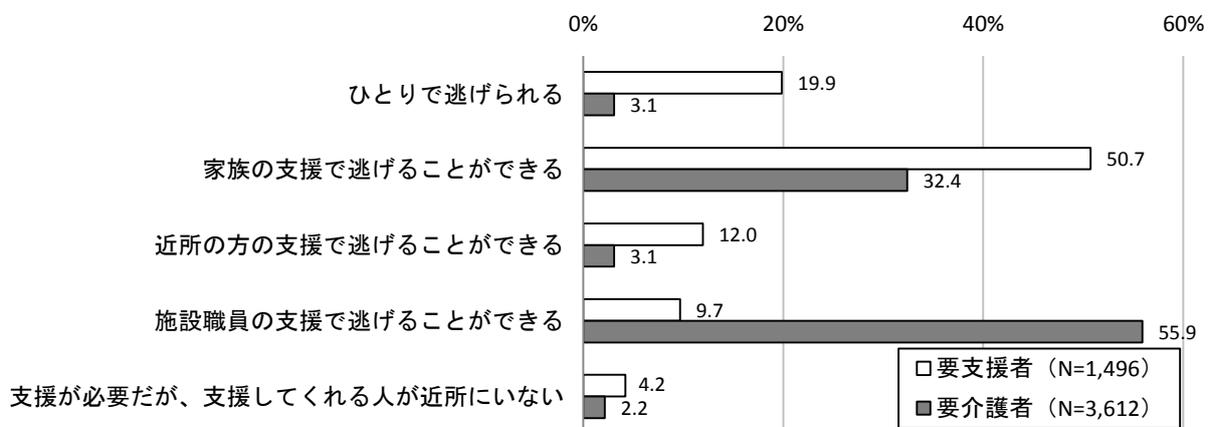
調査回答者11,398人（男性:3,904人、女性:7,393人）の内、【要支援・要介護】で、問1-Q2「普段の生活で介護・介助が必要か」との問い、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した5,108人（男性:1,292人、女性:3,816人）を分析した。

1 火災等が起きた場合の避難の仕方

【佐賀中部広域連合の現状】

火災等が起きた場合の避難の仕方では、「家族の支援で逃げる事ができる」と「施設職員の支援で逃げる事ができる」の割合が高くなっている。状態別では、要支援者の方が「家族の支援で逃げる事ができる」、「ひとりで逃げられる」と「近所の方の支援で逃げる事ができる」が要支援者よりも高くなっている。

図表 火災等が起きた場合の避難の仕方



図表 火災等が起きた場合の避難の仕方

(性別・年齢別・種別。無回答者を除く。)

(単位:%)

		問10Q1 火災等が起きた場合の避難の仕方					
		総数 (人)	ひと り で 逃 げ ら れ る	こ 家 と 族 が の で 支 援 で 逃 げ る	げ 近 る 所 こ の 方 が の で 支 援 で 逃	げ 施 る 設 こ 職 と 員 が の で 支 援 で 逃	近 支 所 援 に し て い な く い れ る 人 が
性別	男性	1,292	10.4	41.8	6.0	35.4	2.7
	女性	3,816	7.2	36.4	5.6	44.7	2.8
年齢	65～69歳	206	12.1	40.3	9.2	29.1	4.9
	70～74歳	274	8.4	49.3	5.5	31.4	2.6
	75～79歳	530	10.9	41.9	6.0	33.8	3.6
	80～84歳	1,123	10.6	40.9	7.1	34.6	3.1
	85歳以上	2,975	6.2	34.6	4.9	48.7	2.4
介護度別	要支援1	681	25.1	43.9	13.4	9.0	3.8
	要支援2	815	15.5	56.4	10.8	10.3	4.5
	要介護1	1,282	7.1	48.4	6.2	32.8	3.0
	要介護2	735	2.2	39.7	2.2	50.6	2.9
	要介護3	714	0.6	24.2	1.4	69.3	1.1
	要介護4	514	0.2	12.1	0.8	80.9	1.2
	要介護5	367	0.0	6.3	0.5	86.1	1.1

【佐賀中部内の圏域の現状】

「施設職員の支援で逃げる事ができる」と「家族の支援で逃げる事ができる」の割合が全ての圏域で高くなっている。昭栄と神埼で「近所の方の支援で逃げる事ができる」が他の圏域より特に高くなっている。

図表 火災等が起きた場合の避難の仕方（圏域別）

（単位：％）

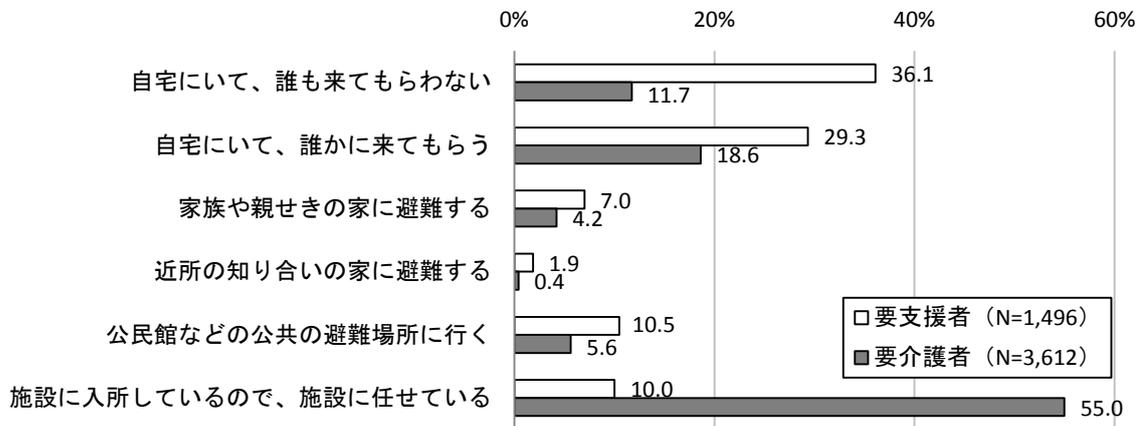
		問10Q1 火災等が起きた場合の避難の仕方					
		総数 (人)	ひとり で逃 げら れる	家 族の 支 援で 逃 げる	近 所 の 方 が 支 援 で 逃 げる	施 設 職 員 の 支 援 で 逃 げる	近 所 に い て い る 人 が 支 援 を 受 け る
全体		5,108	409	1,929	291	2,164	141
		100.0	8.0	37.8	5.7	42.4	2.8
圏 域	佐賀	261	11.5	36.0	3.1	42.1	5.0
	城南	325	6.5	34.5	8.0	42.5	4.3
	昭栄	339	7.4	35.7	14.5	36.3	2.7
	城東	350	8.3	36.0	5.1	43.1	3.1
	城西	244	10.7	40.2	5.7	37.3	4.1
	城北	334	6.3	32.9	9.3	43.4	3.9
	金泉	155	7.7	28.4	1.9	54.8	2.6
	鍋島	266	10.2	36.8	6.4	39.5	2.6
	諸富・蓮池	222	3.2	35.6	3.6	48.2	4.5
	大和	344	6.4	41.6	6.7	41.0	2.3
	富士	77	6.5	42.9	3.9	42.9	2.6
	三瀬	25	0.0	28.0	4.0	60.0	0.0
	川副	268	6.3	37.3	3.7	48.9	1.9
	東与賀	107	3.7	47.7	2.8	44.9	0.0
	久保田	112	7.1	42.9	3.6	42.0	1.8
	多久	339	11.2	41.6	3.8	38.1	0.6
	小城北	409	7.8	36.2	4.2	46.7	1.2
	小城南	256	7.8	41.8	3.1	40.6	3.5
神埼	274	12.8	38.7	4.4	37.2	4.4	
神埼北	35	5.7	22.9	14.3	54.3	0.0	
神埼南	170	4.1	45.9	3.5	42.9	1.2	
吉野ヶ里	196	10.7	39.3	6.1	38.8	1.5	

2 台風が近づいてきた場合の対応

【佐賀中部広域連合の現状】

台風が近づいてきた場合の対応では、施設入所以外では、要支援者では「自宅にいて、誰も来てもらわない」が高く、要介護者では「自宅にいて、誰かに来てもらう」が高くなっている。

図表 台風が近づいてきた場合の対応



図表 台風が近づいてきた場合の対応
(性別・年齢別・介護度別。無回答者を除く。)

(単位:%)

		問10Q2 台風が近づいてきた場合の対応						
		総数 (人)	来自 宅も らわ ない 誰 も	自 宅 に も ら う 誰 か	自 宅 に も ら う 誰 か	家 族 や 親 せ き の 家	近 所 の 知 り 合 い の 家	公 民 館 な ど の 公 共 の 場 所 に 行 く
性別	男性	1,292	23.6	22.1	4.3	0.7	9.2	35.3
	女性	3,816	17.3	21.7	5.3	0.9	6.3	44.0
年齢	65～69歳	206	26.7	24.3	4.9	0.0	8.7	29.6
	70～74歳	274	26.3	21.9	3.6	1.8	9.9	31.8
	75～79歳	530	24.2	20.8	4.9	0.6	12.1	32.8
	80～84歳	1,123	23.2	23.6	5.8	1.2	7.8	34.3
	85歳以上	2,975	15.1	21.1	4.9	0.7	5.5	48.0
介護度別	要支援1	681	35.8	28.0	6.2	2.2	12.0	9.5
	要支援2	815	36.3	30.4	7.7	1.6	9.2	10.4
	要介護1	1,282	19.7	28.5	6.3	0.6	8.8	32.6
	要介護2	735	11.7	23.7	5.0	0.4	5.7	49.1
	要介護3	714	8.3	12.5	2.9	0.1	3.6	68.5
	要介護4	514	4.1	5.8	2.5	0.4	2.7	78.8
	要介護5	367	1.6	3.8	0.3	0.3	2.5	85.3

【佐賀中部内の圏域の現状】

「施設に入所しているの、施設に任せている」が全ての圏域で最も高くなっている。富士、神埼北、三瀬の山間部では「公民館などの公共の避難場所に行く」が他圏域よりも高くなっている。

図表 台風が近づいてきた場合の対応（圏域別）

(単位:%)

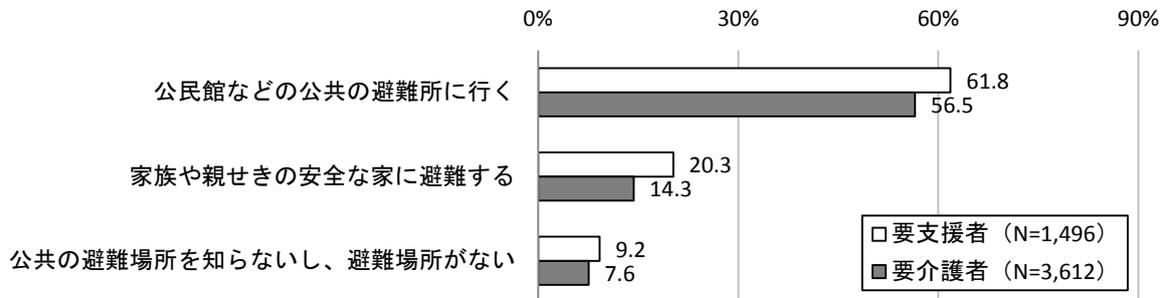
		問10Q2 台風が近づいてきた場合の対応						
		総数 (人)	来自 宅に らわ ない 誰 も	に自 来宅 に ら う 誰 か	に家 族 や 親 せ き の 家	家近 に所 に避 難 す る 合 い の	の公 民 館 な ど の 公 共	
全体		5,108	964	1,112	258	43	361	2,136
		100.0	18.9	21.8	5.1	0.8	7.1	41.8
圏 域	佐賀	261	26.1	20.7	2.7	1.1	5.0	41.4
	城南	325	21.5	19.7	4.9	0.6	5.2	42.5
	昭栄	339	21.8	20.9	3.8	1.2	10.9	36.6
	城東	350	25.4	16.6	3.4	1.4	5.7	42.6
	城西	244	25.4	23.8	5.7	0.0	5.7	36.5
	城北	334	17.7	20.4	3.9	1.8	8.7	42.8
	金泉	155	21.3	8.4	1.9	0.0	7.7	55.5
	鍋島	266	22.6	18.8	5.6	1.1	9.0	37.2
	諸富・蓮池	222	13.5	23.4	3.2	0.5	6.3	46.8
	大和	344	18.6	20.1	7.8	0.9	8.4	40.4
	富士	77	16.9	16.9	3.9	1.3	16.9	42.9
	三瀬	25	8.0	16.0	0.0	4.0	8.0	56.0
	川副	268	9.0	31.0	4.1	0.0	5.2	48.9
	東与賀	107	20.6	24.3	4.7	0.0	3.7	43.0
	久保田	112	15.2	20.5	9.8	0.0	8.0	42.0
	多久	339	15.9	28.6	4.1	0.6	7.1	37.8
	小城北	409	11.7	22.7	6.6	1.2	5.1	46.5
	小城南	256	13.3	22.7	9.0	0.0	8.2	41.4
	神埼	274	21.5	25.5	4.7	0.4	6.9	37.2
	神埼北	35	14.3	11.4	5.7	2.9	11.4	48.6
神埼南	170	18.8	20.6	8.2	1.8	7.1	40.6	
吉野ヶ里	196	23.0	25.0	4.1	1.0	4.6	37.8	

3 台風などの災害で避難が必要な場合の場所

【佐賀中部広域連合の現状】

台風などの災害で避難が必要な場合の場所では、すべての属性で「公民館などの公共の避難所に行く」が半数を超えて最も高くなっている。

図表 台風などの災害で避難が必要な場合の場所



図表 台風などの災害で避難が必要な場合の場所

(性別・年齢別・介護度別。無回答者を除く。)

(単位:%)

		問10Q3 台風などの災害で避難が必要な場合の場所			
		総数 (人)	公民館 など の 公共 の	家族 や 親 せ き の 安 全	公 共 の 避 難 所 を 知 ら な い し 、 避 難 場 所 を 場
性別	男性	1,292	61.1	15.0	7.8
	女性	3,816	57.0	16.4	8.1
年齢	65～69歳	206	57.3	18.0	10.7
	70～74歳	274	65.7	13.5	5.1
	75～79歳	530	59.6	16.4	8.5
	80～84歳	1,123	58.1	17.4	7.8
	85歳以上	2,975	57.1	15.6	8.2
介護度別	要支援1	681	63.0	20.3	7.3
	要支援2	815	60.9	20.2	10.8
	要介護1	1,282	57.4	20.4	8.0
	要介護2	735	55.5	18.1	8.7
	要介護3	714	58.5	10.5	7.7
	要介護4	514	54.5	6.6	6.8
	要介護5	367	54.2	3.5	4.9

【佐賀中部内の圏域の現状】

全ての圏域で「公民館などの公共の避難所に行く」が最も高くなっている。

図表 台風などの災害で避難が必要な場合の場所（圏域別）

(単位: %)

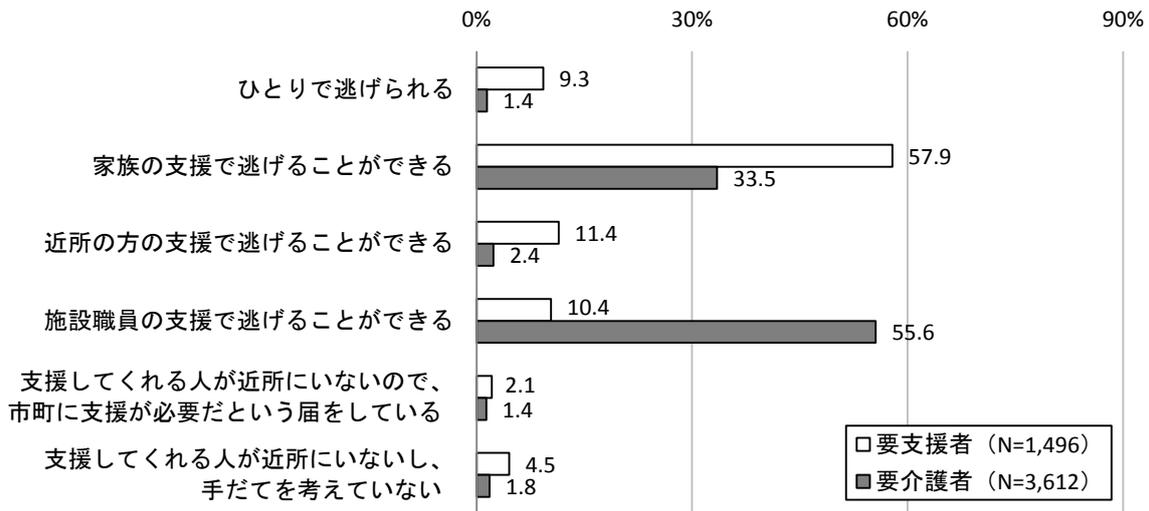
		問10Q3 台風などの災害で避難が必要な場合の場所			
		総数 (人)	避 難 所 に な る 公 共 の	な 家 族 に や 親 せ す る の 安 全	所 知 が な い し、 公 共 の 避 難 場 所 を
全体		5,108	2,966	820	412
		100.0	58.1	16.1	8.1
圏 域	佐賀	261	53.6	12.3	13.8
	城南	325	51.4	15.7	8.6
	昭栄	339	61.4	16.2	8.0
	城東	350	47.1	18.9	11.4
	城西	244	66.4	18.0	6.1
	城北	334	56.0	12.9	6.3
	金泉	155	61.9	9.0	5.8
	鍋島	266	56.4	15.4	8.6
	諸富・蓮池	222	59.5	17.1	11.3
	大和	344	65.7	14.5	6.1
	富士	77	68.8	14.3	3.9
	三瀬	25	76.0	4.0	16.0
	川副	268	60.8	17.9	2.6
	東与賀	107	65.4	24.3	3.7
	久保田	112	54.5	17.9	4.5
	多久	339	58.1	13.6	10.3
	小城北	409	58.7	17.6	7.1
	小城南	256	58.6	18.8	12.5
神埼	274	60.6	13.9	6.6	
神埼北	35	40.0	17.1	17.1	
神埼南	170	64.1	15.9	4.1	
吉野ヶ里	196	46.4	21.9	8.7	

4 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方

【佐賀中部広域連合の現状】

台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方では「家族の支援で逃げることができる」、「施設職員の支援で逃げることができる」がほとんどを占めている。要支援者では、他の属性よりも「ひとりで逃げられる」、「近所の方の支援で逃げられる」の割合が高くなっている。

図表 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方



図表 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方

(性別・年齢別・介護度別。無回答者を除く。)

(単位:%)

		問10Q4 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方						
		総数 (人)	ひと りで 逃 げ ら れ る	こ 家 と 族 が の 支 援 で 逃 げ る	げ 近 所 の 方 が の 支 援 で 逃 げ る	げ 施 設 職 員 の 支 援 で 逃 げ る	と 市 町 に 支 援 を 要 す る だ	だ 近 所 に 支 援 を し て い れ な い し 、 手 だ て を 考 え て い な い
性別	男性	1,292	6.3	43.7	5.3	35.5	2.3	2.9
	女性	3,816	2.9	39.6	4.9	44.6	1.3	2.5
年齢	65～69歳	206	7.8	43.7	6.8	30.1	1.9	4.4
	70～74歳	274	4.4	51.1	6.2	30.7	1.8	3.3
	75～79歳	530	6.0	45.7	5.1	34.0	1.9	3.6
	80～84歳	1,123	4.1	44.1	7.2	34.6	1.7	3.7
	85歳以上	2,975	2.9	37.3	3.9	48.7	1.4	1.8
介護度別	要支援1	681	12.2	52.4	13.7	9.7	1.8	5.6
	要支援2	815	6.9	62.5	9.6	10.9	2.5	3.7
	要介護1	1,282	3.6	51.8	4.4	33.0	2.0	2.5
	要介護2	735	0.4	40.3	2.3	50.2	1.5	1.9
	要介護3	714	0.4	23.7	0.8	68.2	1.4	1.7
	要介護4	514	0.0	11.3	1.0	80.9	0.2	1.2
	要介護5	367	0.0	6.3	0.3	85.0	0.5	0.5

【佐賀中部内の圏域の現状】

全ての圏域で、「施設職員の支援で逃げることができる」、「家族の支援で逃げることができる」がほとんどを占めている。昭栄、神埼北では、「近所の方の支援で逃げられる」割合が1割を超し、他圏域よりも特に高くなっている。

図表 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方（圏域別）

(単位:%)

		問10Q4 台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方						
		総数 (人)	ひとり で逃 げら れる	家 族 の 支 援 で 逃 げ る	近 所 の 方 が 支 援 で 逃 げ る	施 設 職 員 の 支 援 で 逃 げ る	近 所 に し て 支 援 を 受 け る 必 要 が あ る	近 所 に し て 支 援 を 受 け る 必 要 が あ る
全体		5,108	191	2,076	256	2,162	81	134
		100.0	3.7	40.6	5.0	42.3	1.6	2.6
圏 域	佐賀	261	5.0	39.5	3.8	42.1	2.7	4.2
	城南	325	1.8	35.7	6.2	44.3	2.8	4.3
	昭栄	339	4.7	36.9	12.1	36.0	2.9	3.8
	城東	350	3.1	39.7	3.4	43.7	0.3	4.6
	城西	244	7.4	43.0	4.9	36.9	1.6	3.7
	城北	334	3.6	33.5	7.8	44.0	3.6	2.4
	金泉	155	2.6	29.7	4.5	56.8	1.3	0.6
	鍋島	266	4.9	38.7	7.5	39.8	1.1	2.3
	諸富・蓮池	222	0.5	41.9	2.3	48.2	0.9	1.4
	大和	344	5.2	43.0	5.5	41.0	0.9	1.7
	富士	77	3.9	41.6	5.2	45.5	1.3	1.3
	三瀬	25	0.0	28.0	4.0	60.0	0.0	0.0
	川副	268	2.2	39.6	3.0	49.6	1.9	2.2
	東与賀	107	2.8	48.6	0.9	44.9	0.0	0.9
	久保田	112	1.8	45.5	2.7	42.0	3.6	1.8
	多久	339	5.9	44.2	3.8	36.0	0.6	2.9
	小城北	409	3.7	39.1	3.9	47.2	0.7	1.5
	小城南	256	3.5	47.3	2.3	39.8	0.8	2.0
	神埼	274	4.7	43.8	5.5	36.5	2.2	4.0
神埼北	35	2.9	25.7	11.4	48.6	2.9	0.0	
神埼南	170	1.2	50.6	3.5	40.0	0.6	0.0	
吉野ヶ里	196	2.6	46.9	3.6	37.8	1.5	2.6	

X 資料編

○用語説明

※1 ○基本チェックリスト

65歳以上の男女を対象に、厚生労働省が作成した介護予防のためのチェックリスト。介護の原因となりやすい生活機能の低下の危険性はないかという視点で、運動、閉じこもり、栄養、口腔、うつなど25項目の間に、「はい」、「いいえ」などで回答を記入していく。

※厚労省「地域支援事業実施要綱」から

※2 ○日常生活動作（ADL）と手段的日常生活動作（IADL）

ADLとは、日常生活動作（Activities of Daily Living）の略で、食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常の生活を送るために必要な基本動作のことで、高齢者の身体活動能力や障害の程度をはかる上で重要な指標の一つとなっている。

一方IADLとは、手段的日常生活動作（Instrumental Activity of Daily Living）の略で、ADLを基本にした日常生活上の複雑な動作のことをいう。具体的には、買い物や洗濯、電話、薬の管理、金銭管理、乗り物等で、最近では趣味活動も含めるようになっている。

※公益財団法人長寿科学振興財団のホームページから

※3 ○老研式活動能力指標

老研式活動能力指標は、ADLの測定ではとらえられない次の生活能力を評価するために開発された13項目の多次元尺度である。これらの尺度は、「手段的自立」「知的能動性（状況対応の語を内容に即して改変）」「社会的役割」の3つの活動能力を測定するもので、各質問項目の因子所属は、項番1～5が「手段的自立」、項番6～9が「知的能動性」、項番10～13が「社会的役割」である。

またこの尺度は、「手段的自立」より上位の水準の活動能力を評価できる測度がほとんどないなかで、「社会的役割」の水準を含む貴重な測度であって、在宅老人の生活機能の評価に適したものと考えられる。

老研式活動能力指標は、自記式の尺度として開発されたもので、知的機能の著しく低下した高齢者でなければ、調査票への記入が可能である。家族など日常をよく知っている者による評定も可能である。面接にて聴き取る場合には、回答者が本人であっても他の者による回答であっても、調査員が自分の判断で説明を加えたり、誘導したりすることのないよう十分に注意する必要がある。

※東京都健康長寿医療センターのホームページから

※4 ○認知機能障害程度（CPS）

認知機能障害程度（Cognitive Performance Scale）とは、理解力、判断力、計算力、見当識などの認知機能に、どの程度の障害がみられるかを判断するための指標。「その日の活動を自分で判断できるか」や、「人に自分の考えをうまく伝えられるか」など、日常生活や社会活動などに関する設問に回答してもらい、0レベルから6レベルまでの7段階で評価する。

※認知症介護研究・研修センターのホームページから

※5 ○知的能動性、社会的役割

老研式活動能力指標で設定された項目。老研式では、IADL（手段的日常生活動作。電話の応対や金銭管理など、ADLより複雑な日常生活動作を含む）に知的能動性、社会的役割の2項目を追加。より広範囲で対象者の生活機能を把握することが目的である。知的能動性の設問で状況に対応する能力等を、社会的役割で社会への関わり方等を評価する。

※東京都健康長寿医療センターのホームページから

※6 ○バーセルインデックス

高齢者や障がい者が日常生活で行っている動作について、その機能を数値で示したもの。食事、入浴、トイレ、階段昇降、更衣など10項目に渡る動作を評価。各項目で自立、部分介助など2から4段階までの評価基準を設置、100点満点で採点する。バーセル指数ともいい、ADL（日常生活動作）の評価指標としてよく使用される。

※財団法人パブリックヘルスリサーチセンターのホームページから

○資料説明

(注1) 基本チェックリスト25項目の設問

項番	生活機能別	設 問 内 容	選 択 肢
1	虚弱 (5問)	問6 Q1. バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でもかまいません)	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
2		問6 Q2. 日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
3		問6 Q5. 預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
4		問7 Q5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
5		問7 Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ
6	運動器 (5問)	問2 Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい 2. いいえ
7		問2 Q2. いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい 2. いいえ
8		問2 Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい 2. いいえ
9		問3 Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい 2. いいえ
10		問3 Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい 2. いいえ
11	栄養 (2問)	問4 Q1. 6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ
12		問4 Q2. 身長(cm)、体重(kg)をご記入ください 18.5未満	1. はい 2. いいえ
13	口腔 (3問)	問4 Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
14		問4 Q4. お茶や汁物等を飲んだときにむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
15		問4 Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
16	閉じこもり (2問)	問2 Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい 2. いいえ
17		問2 Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい 2. いいえ
18	認知症予防 (3問)	問5 Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1. はい 2. いいえ
19		問5 Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい 2. いいえ
20		問5 Q3. 今日が何月何日かわからないときがありますか	1. はい 2. いいえ
21	うつ予防 (5問)	問8 Q10. (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1. はい 2. いいえ
22		問8 Q11. (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい 2. いいえ
23		問8 Q12. (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1. はい 2. いいえ
24		問8 Q13. (ここ2週間)自分が役に立つ人間だとは思えない	1. はい 2. いいえ
25		問8 Q14. (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 2. いいえ

※太字：リスクなし 細字：リスクあり

<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱(介護予防) ・運動器 ・栄養 ・口腔 	項番1~20 細字に10個以上回答、リスクあり(二次予防該当者) 項番6~10 細字に3個以上回答、リスクあり(二次予防該当者) 項番11~12 細字に2個回答、リスクあり(二次予防該当者) 項番13~15 細字に2個以上回答、リスクあり(二次予防該当者)	※一つでも該当すれば、二次予防対象者
<ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもり ・転倒 ・認知症予防 ・うつ予防 	項番16 細字に1個回答、リスクあり(該当者) 項番9 細字に1個回答、リスクあり(該当者) 項番18~20 細字に1個以上回答、リスクあり(該当者) 項番21~25 細字に2個以上回答、リスクあり(該当者)	

(注2) 老研式活動能力指標 (I A D L) の13項目による、生活機能総合評価

項番	設 問 内 容	選 択 肢		判定内容	生活機能総合評価
1	問6 Q1. バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でもかまいません)	1. できるし、している 2. できるけど、していない	3. できない	①手段的自立度 (5問で、各1点で満点を5点)	
2	問6 Q2. 日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない	3. できない		
3	問6 Q3. 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない	3. できない		
4	問6 Q4. 請求書の支払をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない	3. できない		
5	問6 Q5. 預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない	3. できない		
6	問7 Q1. 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか	1. はい	2. いいえ	②知的能動性 (4問で、各1点で満点を4点)	
7	問7 Q2. 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ		
8	問7 Q3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ		
9	問7 Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ		
10	問7 Q5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ	③社会的役割 (4問で、各1点で満点を4点)	
11	問7 Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ		
12	問7 Q7. 病院を見舞うことができますか	1. はい	2. いいえ		
13	問7 Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ		

※太字 (リスクなし) に回答の場合1点。最高得点は13点

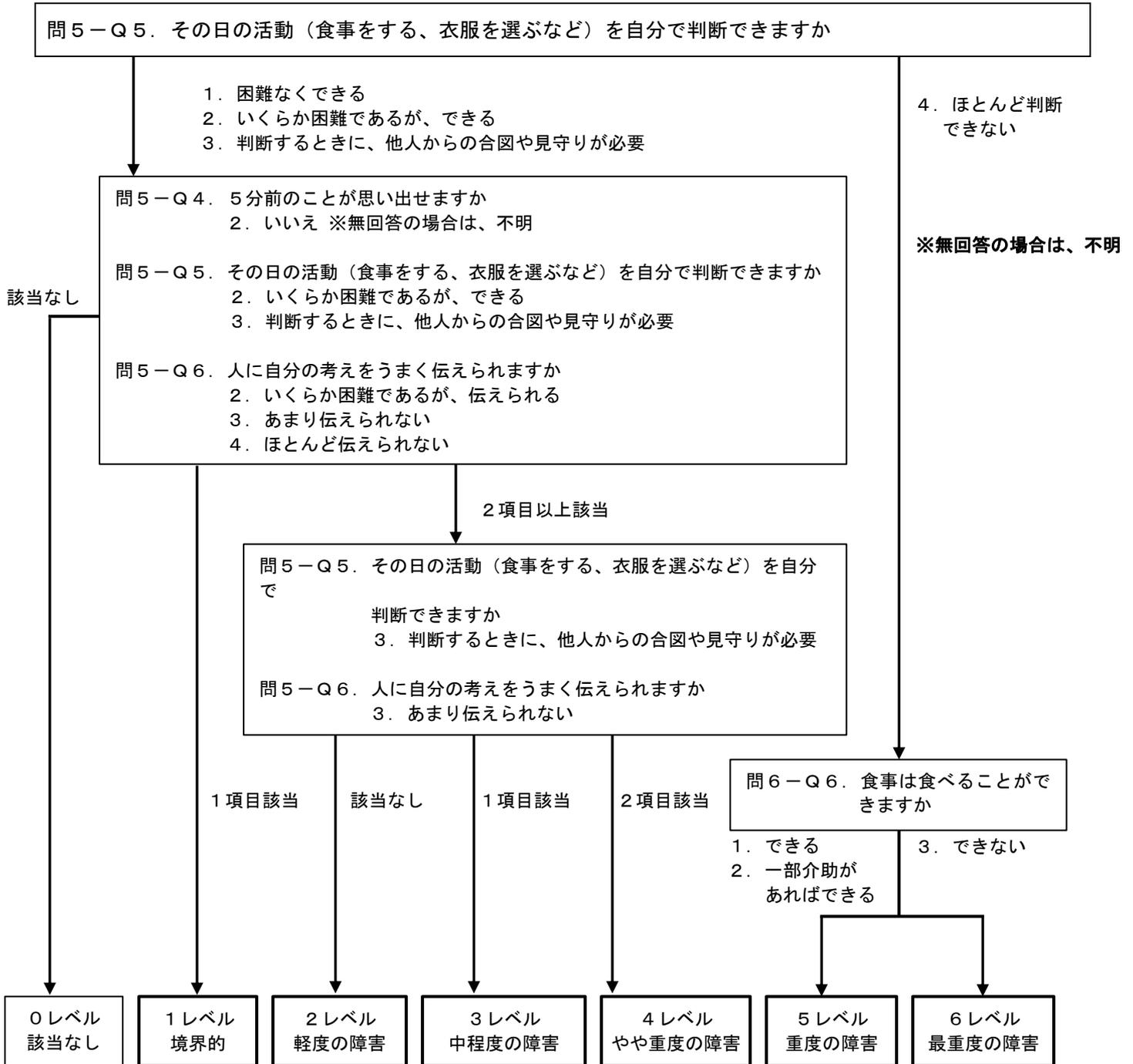
※太字 : リスクなし 細字 : リスクあり

(注3) 日常生活動作 (A D L) の自立者の算出方法

	問番号及び設問内容	選 択 肢	
		「自立」該当者	「自立」非該当者
1 食事	問6 Q6. 食事は自分で食べることができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる 3. できない
2 移動	問6 Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	1. 受けない	2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要
3 整容	問6 Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる 3. できない
4 トイレ	問6 Q10. 自分でトイレができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる 3. できない
5 入浴	問6 Q11. 自分で入浴ができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる 3. できない
6 歩行	問6 Q12. 50m以上歩けますか	1. できる	2. 一部介助があればできる 3. できない
7 階段昇降	問6 Q13. 階段を昇り降りできますか	1. できる	2. 介助があればできる 3. できない
8 着替え	問6 Q14. 自分で着替えができますか	1. できる	2. 介助があればできる 3. できない
9 排便	問6 Q15. 大便の失敗がありますか	1. ない	2. ときどきある 3. よくある
10 排尿	問6 Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	1. ない	2. ときどきある 3. よくある
総 合		1~10全て該当	

(注4) 認知機能の障害程度の評価方法 (CPS)

設問に対する回答内容により、0レベル (障害なし) から6レベル (最重度の障害がある) までに評価が可能となっている。



(注5) 日常生活動作 (ADL) の評価方法

問番号及び設問内容			
1 食事	問6 Q6. 食事は自分で食べることができますか	10 :	1. できる
		5 :	2. 一部介助があればできる
		0 :	3. できない
2 ベッドでの移動	問6 Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	15 :	1. 受けない
		10 :	2. 一部介助があればできる
		5 :	3. 全面的な介助が必要 (問6 Q8. 座っていることができますか) 1. できる 2. 支えが必要
3 整容	問6 Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか	5 :	1. できる
		0 :	2. 一部介助があればできる
		0 :	3. できない
4 トイレ	問6 Q10. 自分でトイレができますか	10 :	1. できる
		5 :	2. 一部介助があればできる
		0 :	3. できない
5 入浴	問6 Q11. 自分で入浴ができますか	5 :	1. できる
		0 :	2. 一部介助があればできる
		0 :	3. できない
6 歩行	問6 Q12. 50m以上歩けますか	15 :	1. できる
		10 :	2. 一部介助があればできる
		0 :	3. できない
7 階段昇降	問6 Q13. 階段を昇り降りできますか	10 :	1. できる
		5 :	2. 介助があればできる
		0 :	3. できない
8 着替え	問6 Q14. 自分で着替えができますか	10 :	1. できる
		5 :	2. 介助があればできる
		0 :	3. できない
9 排便	問6 Q15. 大便の失敗がありますか	10 :	1. ない
		5 :	2. ときどきある
		0 :	3. よくある
10 排尿	問6 Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	10 :	1. ない
		5 :	2. ときどきある
		0 :	3. よくある

※総合は、1 (食事) ~10 (排尿) の得点の合計

※太字 : 自立

※バーセル指数

完全自立 (100点)
 一部介助 (65~90点)
 起居移動中心介助 (45~60点)
 介助 (40点以下)